

# 南相馬市 ~ 工事等設計書 ~

起工月	令和 7 年 7 月			施工延長 L=257.5m
契約番号	2025000677			管渠布設工 (PRP 200) L=203.9m
路線名				管渠布設工 (VU 200) L=49.4m
工事等名	原町区下水管渠築造第3工区工事			0号マンホール設置工 N=1.0箇所
				1号マンホール設置工 N=2.0箇所
工事等場所	南相馬市 原町区小川町 地内外		小口型マンホール設置工 N=4.0箇所	
			汚水桝及び取付管設置工 N=25.0箇所	
総工事費	当初請負		仕様概要	付帯工 (舗装復旧工) A=241.2m <sup>2</sup>
	当初設計			仮設工 (建込簡易土留工) L=270.0m
	変更請負			(H=1.50 ~ 2.50m)
	変更設計			

## 工 事 費 総 括 表

費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要
本工事費				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
工事費				
事務費				
事業費				

# 工事費内訳書

契約番号( 2025000677 )

原町区下水管渠築造第3工区工事

種 別	金 額 ( 円 )	備 考
管渠工(開削)		
マンホール工		
取付管およびます工		
付帯工		
安全管理費		
直接工事費		
諸経費		運搬費、工事版加算額、技術管理費
工事費計(税抜き)		

諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で( )の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名

# 最低制限価格の設定(算定)について

## 原町区下水管渠築造第3工区工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。  
該当工事には のチェック表示をしております。

### 工事に伴う最低限必要な費用 = 最低制限価格(P)

最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75% ~ 92% + 消費税額

予定価格(入札書比較価格)の75% ~ 92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

### 算定式

**一般土木工事(橋製作・架設工を含む)**

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

**建築工事(一般・解体工事共通)**

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

**舗装工事**

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

**水道工事**

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

**暖冷房衛生設備工事**

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費68%

**電気・通信設備工事(製作・据付共通)**

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 機器間接費) × 90% + 一般管理費(製作分 + 据付分) × 68%

**機械設備工事(製作・据付共通)**

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 据付間接費 + 設計技術費) × 90% + 一般管理費 × 68%

直接製作費: 製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

直接工事費: 据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

# 原町市管内図



凡 例	

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	00市町村 実施設計書 当初 00000000000 0  1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.06.15(0)  1 土木工事 20250000003当初原町区下水管渠築造第3工区工事 (小川町)		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 ICT施工補正 スライド種類	50 23 下水道(2) 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上(月単位) 00 ICT補正なし 01 インフレスライド		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
管路					Y1010005936
管きょ工（開削） A=0, B=0					Y213W005937
管路土工 A=0, B=0	1	式			Y32DV005938
管路掘削 A=0, B=0, F=1	323.3	m3			Y451I005939
機械掘削工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻（管防御含む） A=0, B=0, F=1	239.5	m3			Y451J005940
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表
再生骨材（骨材）クラッシュラン RC - 40	1.2	m 3			T8454 00
発生土処理 A=0, B=0, F=1	323.3	m3			Y451K005941
発生土処分工（機械積込み） 運搬距離 L = 8.5km ダンプトラック 4 t 積	1	m3			SG015 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m3			SPA109 00 施工 第0 -0008号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工 A=0,B=0	1	式			Y32DW005942
リップ付硬質塩化ビニル管 A=0,B=0,F=1	203.9	m			Y44T8005943
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			SG702 00 施工 第0 -0009号表
伸縮可とう継手(管) A=0,B=0,F=1	1	式			Y451S005952
マンホール可とう継手 リップ管 200用(県農林単価)	7	個			F0003 00
管基礎工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32DX005957
砕石基礎 A=0,B=0,F=1	19.7	m <sup>3</sup>			Y451Y005959
砕石基礎工 機械施工 S0(10m <sup>3</sup> 以上)	1	m <sup>3</sup>			SG704 00 施工 第0 -0010号表
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC - 4 0	1.2	m <sup>3</sup>			T8454 00
管路土留工 A=0,B=0,F=1					Y32E0005979
建て込み簡易土留 A=0,B=0,F=1	1	式			Y452D005981
たて込み簡易土留 建込工 1.5m以下	63.0	m			SG035 00 施工 第0 -0011号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留 建込工 2.0m以下	91.0	m			SG035 00 施工 第0 -0012号表
たて込み簡易土留 建込工 2.5m以下	53.5	m			SG035 00 施工 第0 -0013号表
たて込み簡易土留 引抜工 1.5m以下	63.0	m			SG036 00 施工 第0 -0014号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.0m以下	91.0	m			SG036 00 施工 第0 -0015号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.5m以下	53.5	m			SG036 00 施工 第0 -0016号表
建て込み簡易土留 (賃料・整備費) A=0, B=0, F=1	1	式			Y452D005981
管路部建込簡易土留 (賃料・整備費)	1	式			F0001 00
マンホール工 A=0, B=0, F=1					Y21K1006171
組立マンホール工 A=0, B=0, F=1					Y32K9006181
組立1号マンホール A=0, B=0, F=1	1	式			Y45LG006183
マンホール蓋 T-25 600 浮上防止・転落防止兼用梯子無し	2	個			TG236 00
調整金具 2.5mmまで	2	組			TG834 00

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール 調整リング H100 600×100	2	個			TG222 00
マンホール(ステップ垂直型)斜壁塊 600A 600×900×300	1	個			TG146 00
マンホール(ステップ垂直型)斜壁塊 600B 600×900×450	1	個			TG147 00
マンホール(ステップ垂直型)直壁塊 900A 900×300	1	個			TG127 00
マンホール 底塊(底なし) 1号-a1 900×600	2	個			TG185 00
マンホール 底版塊 900用 1200	2	個			TG203 00
組立マンホール設置工 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 S0(4箇所以上)	2	箇所			SG705 00 施工 第0 -0017号表
マンホール底部工  A=0,B=0,F=1	2	箇所			Y45LG006183
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.13	m3			SPB401 00 施工 第0 -0018号表
モルタル練 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入	0.015	m3			SPB405 00 施工 第0 -0019号表
モルタル上塗り t=20mm	0.74	m <sup>2</sup>			V0001 00 施工 第0 -0020号表
マンホール基礎工  A=0,B=0,F=1	2	ヶ所			Y45LG006183

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎工 RC40	0.23	m <sup>3</sup>			V0002 00 施工 第0 -0021号表
マンホール削孔  A=0,B=0,F=1	1	式			Y45LG006183
削孔費 第1号人孔 塩ビ 呼径200	6	ヶ所			TG842 00
小口径マンホール工  A=0,B=0,F=1	1	式			Y32K9006181
小口径マンホール工  A=0,B=0,F=1	1	式			Y45LG006183
小型マンホール設置工 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm	3	箇所			SG706 00 施工 第0 -0023号表
取付管およびます工  A=0,B=0,F=1					Y2142006235
取付管路土工  A=0,B=0,F=1	1	式			Y32DV006236
取付管路掘削  A=0,B=0,F=1	51.3	m <sup>3</sup>			Y451J006237
機械掘削工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )	1	m <sup>3</sup>			SG002 00 施工 第0 -0001号表
取付管路埋戻(防護部含む)  A=0,B=0,F=1	36.5	m <sup>3</sup>			Y451J006238
機械投入埋戻工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )	1	m <sup>3</sup>			SG012 00 施工 第0 -0003号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0 t/m <sup>3</sup> )	1.26	t			TU360 00
取付管路発生土処理  A=0,B=0,F=1	51.3	m <sup>3</sup>			Y451K006239
発生土運搬工(4t積級、機械積込み) 運搬距離 L=8.5km バックホウ加圧型 山0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )	1	m <sup>3</sup>			SG017 00 施工 第0-0024号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m <sup>3</sup>			SPA109 00 施工 第0-0008号表
水替工  A=0,B=0,F=1					Y3200002678
釜場排水  A=0,B=0,F=1	1	式			Y4020
仮設商用電源設置	1	式			F0008 00
ポンプ運転工 据付・撤去工	1	現場			SG081 00 施工 第0-0025号表
ポンプ運転工 作業時排水 商用電源 1台	12.0	日			SG080 00 施工 第0-0026号表
ます設置工  A=0,B=0,F=1					Y32EW006240
ます  A=0,B=0,F=1	1	式			Y454H006241
鋳鉄製防護蓋 T8 200	13	個			F0004 00

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工（塩化ビニル製） 材工共 ます径200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	21	箇所			TGS02 00
取付管布設工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EX006242
取付管(3.0m未満) A=0,B=0	1	式			Y4541006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S0(5箇所以上)	14	箇所			SG708 00 施工 第0 -0027号表
取付管 (3.0~5.0m) A=0,B=0,F=1	1	式			Y4541006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S0(5箇所以上)	5	箇所			SG708 00 施工 第0 -0028号表
取付管 (5.0m以上) A=0,B=0,F=1	1	式			Y4541006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S1(5箇所未満)	2	箇所			SG708 00 施工 第0 -0029号表
付帯工 A=0,B=0,F=1					Y2143006254
舗装撤去工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EY006255
舗装版切断 アスファルト版 A=0,B=0,F=1	482.0	m			Y4485006256
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	m			SPD321 00 施工 第0 -0030号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 コンクリート版 A=0, B=0, C=1	27.0	m			Y4485006256
舗装版切断 コンクリート舗装版 15cm以下	1	m			SPD321 00 施工 第0 -0031号表
廃材運搬（汚泥） A=0, B=0, F=1	3.20	m <sup>3</sup>			Y4485006256
側溝清掃車運搬 運搬距離 7.8km	1	m <sup>3</sup>			S5200 00 施工 第0 -0032号表
*調整データ*	1	調整式			#0040 C=7
廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	1.4	t			F0006 00
舗装版破碎 アスファルト舗装版 A=0, B=0, F=1	223.9	m <sup>2</sup>			Y4486006257
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1	m <sup>2</sup>			SPD311 00 施工 第0 -0034号表
殻運搬処理 アスファルト殻 A=0, B=0, F=1	8.95	m <sup>3</sup>			Y4448006259
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	1	m <sup>3</sup>			SPA961 00 施工 第0 -0035号表
*調整データ*	1	調整式			#0040 A=1, B=1, C=7
アスファルト廃材処理費 県建設副産物処理料金	2.35	t			F0007 00

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 コンクリート版 A=0,B=0	10.1	m2			Y4486006257
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等なし	1	m2			SPD311 00 施工 第0 -0036号表
殻運搬処理 コンクリート殻 A=0,B=0,F=1	1.03	m3			Y4448006259
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	1	m3			SPA961 00 施工 第0 -0037号表
*調整データ*	1	調整式			#0040 A=1,C=7
無筋コンクリート処理費	2.35	t			F0009 00
舗装復旧工 A=0,B=0,F=1	1	式			Y32EZ006264
下層路盤 A=0,B=0,F=1	1	式			Y4438006266
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚190mm 1層施工	220.5	m2			SPD006 00 施工 第0 -0038号表
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工	17.8	m2			SPD006 00 施工 第0 -0039号表
上層路盤 A=0,B=0,F=1	221.2	m2			Y4439006267
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚110mm 1層施工	1	m2			SPD010 00 施工 第0 -0040号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装復旧工 A=0, B=0, F=1	1	式			Y32EZ006264
表層 A=0, B=0, F=1	1	式			Y443B006269
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	212.4	m2			SPD023 00 施工 第0 -0041号表
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚40mm	2.52	m2			SPD023 00 施工 第0 -0042号表
コンクリート 小型構造物 人力打設	1.03	m3			SPB401 00 施工 第0 -0043号表
安全管理費 A=0, B=0, F=1					Y2143006254
安全管理費 A=0, B=0, F=1	1	式			Y32EY006255
交通誘導員 A=0, B=0, F=1	46.0	人			Y4485006256
交通誘導警備員B [ 0.908 ]	1	人			R0900 00
直接工事費					
運搬費		式			Z0004
仮設材の運搬費 運搬質量 9t 運搬距離（片道）70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0044号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬費 運搬質量 9 t 運搬距離(片道) 70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0044号表
仮設材の運搬費 運搬質量 12 t 運搬距離(片道) 70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0045号表
仮設材の運搬費 運搬質量 12 t 運搬距離(片道) 70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0045号表
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離(片道) 70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0046号表
仮設材の運搬費 運搬質量 14.6 t 運搬距離(片道) 70km	1	式			S0070 00 施工 第0 -0046号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し(往復分)	35.6	t			S0072 00 施工 第0 -0047号表
安全費		式			Z0008
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 施工 第0 -0048号表
技術管理費		式			Z0006
本管カメラ調査 200以上 800未満 下水道管路管理積算資料	203.9	m			V0003 00 施工 第0 -0049号表
共通仮設費(率)		式			Z0009
共通仮設費計					

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費					
現場管理費		式			
工事原価					
一般管理費		式			
工事価格					
工事価格 (まるめ)					
消費税等相当額		式			
工事費計					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械掘削工 (バックホウ)</b> SG002 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0-0001号表
土木一般世話役 [ 0.775]	1.900	人			R0010
普通作業員 [ 0.828]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平積0.2m3)	11.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3) B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 5					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>バックホウ運転</b> S8020 機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	1	h			施工 第0 -0002号表
運転手(特殊) [0.778]	0.170	人			R0120
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	5.900	L			T0250
バックホウ(クローラ型)[標準型] 山積0.28m <sup>3</sup> 平積0.2m <sup>3</sup> 排ガス型 (第2次基準値)	1.000	h			MOBA1
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> ) B=1 補正なし C=3 排出ガス対策型(第2次基準値) 使用					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械投入埋戻工 (バックホウ)</b> SG012 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0-0003号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平積0.2m3)	7.600	h			S8020 施工 第0-0002号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0004号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 ｸｰﾗ型 山0.28m3 (平0.2m3) B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 10					

## 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>タンパ締固め</b> SPA185			施工 第0 -0004号表 1	m3
標準単価：      1,564.3                      機械構成比：      1.24%      労務構成比：      97.05%      材料構成比：      1.71%      市場単価構成比：      0.00%				
タンパ及びランマ 60～80kg                      K2620		1.24%	タンパ賃料                      TPK2620	
特殊作業員 [0.769]                      R0020		51.22%	特殊作業員                      TPR0020	
普通作業員 [0.828]                      R0030		45.83%	普通作業員                      TPR0030	
レギュラーガソリン スタンド                      T0240		1.71%	ガソリン レギュラー スタンド                      TPT0240	
*** 単位当たり ***				
A=1                      全ての費用 B=1                      土木工事標準積算基準      - 1      - 1 4				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>発生土処分工 (機械積込み)</b> SG015 運搬距離 L = 8.5km ダンプトラック 4 t積	1	m3			施工 第0 -0005号表
発生土運搬工 運搬距離 L = 8.5km バックホウ型 山0.28m3(平0.2m3)	1.000	m3			SG017 施工 第0-0006号表
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.5 運搬距離(km) B=2 ダンプトラック 4 t積 C=3 バックホウ型 山0.28m3(平0.2m3) D=1 D I D区間無し E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>発生土運搬工</b> <small>SG017            運搬距離 L = 8.5km            バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)</small>	10	m3			施工 第0 -0006号表
ダンプトラック運転 <small>機 - 2 2            オンロード・ディーゼル4 t 積級</small>	0.800	日			SK506  施工 第0-0007号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
<small>A=8.5      運搬距離 (km)            B=1        ダンプトラック 4 t 積級            C=2        バックホウ 加圧型 山0.28m3(平0.2m3)            D=1        D I D 区間無し            E=1        良 好</small>					
<small>F=1        下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3</small>					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ダンプトラック運転</b> SK506 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	1	日			施工 第0 -0007号表
運転手 (一般) [ 0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	32.000	L			T0250
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好  【 損料表 】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2      オンロード・ディーゼル4 t 積級 B=1      補正なし C=1      タイヤの損耗状態 良好 D=1      運転労務数量 E=32     燃料消費量					
F=1.29    機械損料数量					

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0021

標準単価：                    機械構成比：                    労務構成比：                    材料構成比：                    市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>整地</b> SPA109 残土受け入れ地での処理 標準単価： 123.38          機械構成比： 23.13%          労務構成比： 51.64%          材料構成比： 25.23%          市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0008号表 1	m3
K9203 バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)		23.13%	TPK9203 バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		51.64%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		25.23%	TPT0250 軽油 1 . 2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1          残土受け入れ地での処理 D=1          土木工事標準積算基準          - 1          - 2 0				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>リブ付硬質塩化ビニル管設置工</b> SG702 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			施工 第0 -0009号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置 材工共 呼び径 200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	m			TGC12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 呼び径 200mm B=1 S0(20m以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 0					
*****					
<b>砕石基礎工</b> SG704 機械施工 S0(10m3以上)	1	m3			施工 第0 -0010号表
砕石基礎設置 手間のみ 機械施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 機械施工 B=2 S0(10m3以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 建込工</b> SG035 1.5m以下	10	m			施工 第0-0011号表
土木一般世話役 [0.775]	0.170	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.170	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.350	人			R0030
バックホウ運転機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	0.900	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 1.5m以下 B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A-1-27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 建込工</b> SG035 2.0m以下	10	m			施工 第0-0012号表
土木一般世話役 [0.775]	0.200	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.200	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.400	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	1.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2      2.0m以下 B=1      下水道標準歩掛 第1巻 A-1-27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 建込工</b> SG035 2.5m以下	10	m			施工 第0-0013号表
土木一般世話役 [0.775]	0.230	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.230	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.470	人			R0030
バックホウ運転機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	1.300	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2.5m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A-1-27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 引抜工</b> SG036 1.5m以下	10	m			施工 第0 -0014号表
土木一般世話役 [ 0.775]	0.100	人			R0010
特殊作業員 [ 0.769]	0.100	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	0.200	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	0.100	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1            1.5m以下 B=1            下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 引抜工</b> SG036 2.0m以下	10	m			施工 第0 -0015号表
土木一般世話役 [0.775]	0.120	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.120	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.230	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	0.120	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2            2.0m以下 B=1            下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 引抜工</b> SG036 2.5m以下	10	m			施工 第0 -0016号表
土木一般世話役 [0.775]	0.140	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.140	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.270	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	0.140	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3            2.5m以下 B=1            下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>組立マンホール設置工</b> SG705 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 S0(4箇所以上)	1	箇所			施工 第0 -0017号表
組立マンホール設置 手間のみ 1号(内径 900mm) 深さ3m以下  週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.03	1.000	箇所			TGM11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=4 1号(内径 900mm) 深さ3m以下 B=1 S0(4箇所以上) C=2 時間の制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 0					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>コンクリート</b> SPB401 無筋・鉄筋構造物 標準単価： 28,051                      機械構成比：	0.00%	29.40%	施工 第0 -0018号表 1 材料構成比： 70.60%                      市場単価構成比：	m3 0.00%
R0030 普通作業員 [0.828]		13.20%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.769]		7.51%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		6.69%	TPR0010 土木一般世話役	
T8600 生コンクリート 18 - 8 - 40 - 60%		70.60%	TPTC618 生コンクリート 24 - 12 - 25 高炉 W / C 55%	
*** 単位当たり ***				
A=1      無筋・鉄筋構造物 B=4      人力打設 E=2      一般養生 G=2      現場内小運搬なし K=2      高炉				
L=13      18 - 8 - 40 - 60% M=1      小型車割増なし N=1      冬期割増なし O=1      全ての費用 P=1      土木工事標準積算基準      - 4      - 4				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>モルタル練</b> SPB405 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 標準単価： 94,888                      機械構成比：	0.00%	83.30%	施工 第0 -0019号表 1 材料構成比： 16.70%                      市場単価構成比：	m3 0.00%
R0030 普通作業員 [0.828]		55.43%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		27.71%	TPR0010 土木一般世話役	
T0010 セメント 普通ポルトランド(袋物)25kg/袋		11.28%	TPT0016 セメント(高炉B) 25kg袋入	
T8300 コンクリート用骨材 砂(洗)		5.42%	TPT8300 コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)	
*** 単位当たり ***				
B=3                      セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 C=1                      全ての費用 D=1                      土木工事標準積算基準                      - 4                      - 8				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>モルタル上塗り</b> V0001 t=20mm	1	m <sup>2</sup>			施工 第0 -0020号表 特単単価適用日：07年06月15日
左官 [ 0.835 ]	0.33	人			R0290
普通作業員 [ 0.828 ]	0.33	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
*****					
<b>砕石基礎工</b> V0002 RC40	1	m <sup>3</sup>			施工 第0 -0021号表 特単単価適用日：07年06月15日
砕石基礎工 人力施工 なし(人力施工)	1	m <sup>3</sup>			SG704 施工 第0-0022号表
再生骨材(骨材)クラッシュラン RC - 40	1.2	m <sup>3</sup>			T8454
*** 単位当たり ***	1	m <sup>3</sup>			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>砕石基礎工</b> SG704 人力施工 なし(人力施工)	1	m3			施工 第0 -0022号表
砕石基礎設置 手間のみ 人力施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 人力施工 B=1 なし(人力施工) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					
*****					
<b>小型マンホール設置工</b> SG706 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm	1	箇所			施工 第0 -0023号表
小型マンホール工(塩化ビニル製)起点・中間 材工共 深さ2.0m以下 本管径150mm～200mm マンホール径300mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGN01
鋳鉄製防護蓋設置費 手間のみ(小型マンホール工) 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	個			TG777
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 B=1 深さ2.0m以下 C=1 本管径150mm及び200mm D=2 S1(5箇所未満) E=2 時間的制約を受けない					
F=2 夜間作業 無 G=1 防護蓋設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 1					

# 施 工 内 訳 表

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>発生土運搬工 ( 4 t 積級、機械積込み)</b> SG017 運搬距離 L = 8.5km バックホウ加型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0-0024号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	0.800	日			SK506  施工 第0-0007号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=8.5 運搬距離 ( km ) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ加型 山0.28m3(平0.2m3) D=1 D I D 区間無し E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 3					
*****					
<b>ポンプ運転工 据付・撤去工</b> SG081	1	現場			施工 第0-0025号表
普通作業員 [ 0.828 ]	0.080	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ポンプ運転工</b> SG080 作業時排水 商用電源 1台	1	日			施工 第0 -0026号表
特殊作業員 [ 0.769]	0.070	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	0.050	人			R0030
工事中水中モータポンプ(潜水ポンプ) 口径50mm 揚程5m	1.000	日			M4051
諸雑費	2.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 商用電源 B=1 ポンプ台数 1台 C=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 66					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>取付管布設工および支管取付工</b> SG708 管径 150mm S0(5箇所以上)	1	箇所			施工 第0-0027号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=1 S0(5箇所以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=2.9 取付管長 (m)					
F=2 本管材質がコンクリート製 (補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 4					



# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>取付管布設工および支管取付工</b> SG708 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0029号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm  週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=5 取付管長 ( m )					
F=2 本管材質がコンクリート製(補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 4					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26                      機械構成比：	15cm以下		施工 第0 -0030号表 1	m 0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      15cm以下 E=1      全ての費用 F=1      土木工事標準積算基準      - 3      - 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 コンクリート舗装版 標準単価： 1,222                      機械構成比：	15cm以下 13.36%		施工 第0 -0031号表 1 材料構成比： 37.08%                      市場単価構成比：	m 0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		9.09%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		16.98%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		9.17%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		7.58%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		33.48%	TPTS005 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.45%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=2      コンクリート舗装版 C=1      15cm以下 E=1      全ての費用 F=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 1				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 7.8km	100	m3			施工 第0 -0032号表
普通作業員 [0.828]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機 - 1 9 プロワ式 9 . 0 m 3	10.417	日			SK921 100/9.6 施工 第0-0033号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=7.8      運搬距離 ( km ) C=1        土木工事標準積算基準    - 3    - 2					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機 - 19 ブロワ式 9.0m3	1	日			施工 第0 -0033号表
運転手(一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      ブロワ式 9.0m3 B=1      運転労務数量 C=84     燃料消費量 D=1      機械損料数量					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版破碎</b> SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 590.65                      機械構成比：	障害等なし 31.76%	労務構成比： 62.64%	施工 第0 -0034号表 1 材料構成比： 5.60%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC345 コンクリート圧砕装置 [ 大割機 ]		21.93%	TPMC345 コンクリート圧砕装置 [ 大割機 ]	
KQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料		9.83%	TPKQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		28.07%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		24.15%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		10.42%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		5.60%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      障害等なし C=2      騒音振動対策必要 D=1      15cm以下 F=1      積込作業あり				
G=1      全ての費用 H=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 2				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 舗装版破碎 標準単価： 1,793.4                      機械構成比：			施工 第0 -0035号表 1 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) 材料構成比： 16.08%                      市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		44.95%	TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手 (一般) [ 0.793 ]		38.97%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=2 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) C=1 DID区間なし D=16 6.0km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版破碎</b> SPD311 コンクリート舗装版 標準単価：        828.88                      機械構成比：	障害等なし 31.25%	労務構成比：    63.16%	施工 第0 -0036号表 1 材料構成比：    5.59%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC345 コンクリート圧砕装置 [ 大割機 ]		21.35%	TPMC345 コンクリート圧砕装置 [ 大割機 ]	
KQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料		9.90%	TPKQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		28.06%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		24.19%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		10.91%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		5.59%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2      コンクリート舗装版 B=1      障害等なし C=2      騒音振動対策必要 D=1      15cm以下 F=1      積込作業あり				
G=1      全ての費用 H=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 2				

## 施工パッケージ内訳表

標準単価：    機械構成比：    労務構成比：    材料構成比：    市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>殻運搬</b> SPA961 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,276.4                      機械構成比：	機械積込 41.69%	43.88%	施工 第0 -0037号表 1 材料構成比： 14.43%	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		41.69%	TPMA404 ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	
R0130 運転手 (一般) [ 0.793 ]		43.88%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.43%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1    コンクリート(無筋)構造物とりこわし B=1    機械積込 C=1    DID区間なし D=15   5.7km以下 E=1    全ての費用				
F=1    土木工事標準積算基準    - 2	2 5 - 1			

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (歩道部)</b> SPD006 全仕上り厚190mm 標準単価：        784.89                      機械構成比：	1層施工	5.62%	施工 第0 -0038号表 1 材料構成比：    21.50%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
K9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 1 1 m3 ( 平積 0 . 0 8 m3 )		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
K2610 振動ローラ ( 舗装用・搭乗式コンパインド型 ) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [ 搭乗式・コンパインド型 ] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		26.32%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 ( 骨材 ) クラッシュラン R C - 4 0		19.41%	TPT8454 再生クラッシュラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		2.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=190      全仕上り厚(mm) B=1        1層施工 D=2        再生クラッシュラン R C - 4 0 E=1        全ての費用 F=1        土木工事標準積算基準    - 1 -    - 5				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (歩道部)</b> SPD006 全仕上り厚100mm 標準単価： 784.89                      機械構成比：	1層施工	5.62%	施工 第0 -0039号表 1 材料構成比： 21.50%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
K9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 1 1 m3 ( 平積 0 . 0 8 m3 )		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
K2610 振動ローラ ( 舗装用・搭乗式コンパインド型 ) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [ 搭乗式・コンパインド型 ] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		26.32%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 ( 骨材 ) クラッシュラン R C - 4 0		19.41%	TPT8454 再生クラッシュラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		2.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=100                      全仕上り厚(mm) B=1                      1層施工 D=2                      再生クラッシュラン R C - 4 0 E=1                      全ての費用 F=1                      土木工事標準積算基準                      - 1 -                      - 5				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>上層路盤 (歩道部)</b> SPD010 全仕上り厚110mm 標準単価： 848.39                      機械構成比：	1層施工		施工 第0 -0040号表 1	m2
	5.20%	67.43%	材料構成比： 27.37%	市場単価構成比： 0.00%
K9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 1 1 m3 ( 平積 0 . 0 8 m3 )		2.69%	TPK9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
K2610 振動ローラ ( 舗装用・搭乗式コンパインド型 ) 3 - 4 t		2.36%	TPK2610 振動ローラ [ 搭乗式・コンパインド型 ] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		28.22%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		24.35%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		12.90%	TPR0020 特殊作業員	
T8344 粒度調整砕石 M - 4 0    4 0 ~ 0 mm		25.44%	TPT8346 再生粒度調整砕石 R M - 3 0	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		1.88%	TPT0250 軽油 1 . 2 号    パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=110    全仕上り厚(mm) B=1       1層施工 D=3       粒度調整砕石 M - 4 0 E=1       全ての費用 F=1       土木工事標準積算基準    - 1    - 1 1				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,852.9                      機械構成比：	平均仕上り厚30mm	0.43%	施工 第0 -0041号表 1 材料構成比： 57.27%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC246 振動ローラ [ 舗装用・ハンドガイド式 ]		0.24%	TPMC246 振動ローラ ( 舗装用 ) [ ハンドガイド式 ]	
MC274 振動コンパクト [ 前進型 ]		0.13%	TPMC274 振動コンパクト [ 前進型 ]	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		18.71%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		13.40%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		4.05%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度 ( 1 3 ) 最大粒径 1 3 mm		52.51%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		4.54%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.16%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		0.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                                      機械構成比：                                      労務構成比：                                      材料構成比：                                      市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)		単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)		単価(東京地区)
A=1	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)					
B=30	1層当り平均仕上り厚(mm)					
C=1	2.35t/m3					
D=2	プレキャスト					
E=12	再生 密粒度(13)					
F=1	全ての費用					
G=1	土木工事標準積算基準     - 1     - 2					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,852.9                      機械構成比：	平均仕上り厚40mm	0.43%	施工 第0 -0042号表 1 材料構成比： 57.27%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC246 振動ローラ [ 舗装用・ハンドガイド式 ]		0.24%	TPMC246 振動ローラ ( 舗装用 ) [ ハンドガイド式 ]	
MC274 振動コンパクト [ 前進型 ]		0.13%	TPMC274 振動コンパクト [ 前進型 ]	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		18.71%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		13.40%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		4.05%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度 ( 1 3 ) 最大粒径 1 3 mm		52.51%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		4.54%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.16%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		0.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1      1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) B=40      1層当り平均仕上り厚(mm) C=1      2.35t/m3 D=2      プライムコート E=12      再生 密粒度(13)				
F=1      全ての費用 G=1      土木工事標準積算基準    - 1    - 2				
*****				
<b>コンクリート</b>			施工 第0 -0043号表	
SPB401 小型構造物 標準単価： 37,056                      機械構成比：	人力打設		1	m3
	0.00%    労務構成比： 47.07%		材料構成比： 52.93%	市場単価構成比： 0.00%
普通作業員 [0.828]                                      R0030		29.15%	普通作業員                                      TPR0030	
土木一般世話役 [0.775]                                      R0010		8.50%	土木一般世話役                                      TPR0010	
特殊作業員 [0.769]                                      R0020		7.20%	特殊作業員                                      TPR0020	
生コンクリート 18 - 8 - 40 - 60%	T8600	52.93%	生コンクリート 24 - 12 - 25 高炉 W/C 55%	TPTC618
*** 単位当たり ***				
A=2      小型構造物 B=4      人力打設 E=2      一般養生 G=1      現場内小運搬あり K=2      高炉				
L=13      18 - 8 - 40 - 60% M=2      小型車割増あり N=1      冬期割増なし O=1      全ての費用 P=1      土木工事標準積算基準    - 4    - 4				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>仮設材の運搬費</b> S0070 運搬質量 9 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0044号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離: km) B=1 製品長 1.2 m以内 C=9 運搬質量 ( t ) D=0 運賃割増率 ( F 1 ~ F 2 ) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					
*****					
<b>仮設材の運搬費</b> S0070 運搬質量 12 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0045号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離: km) B=1 製品長 1.2 m以内 C=12 運搬質量 ( t ) D=0 運賃割増率 ( F 1 ~ F 2 ) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>仮設材の運搬費</b> S0070 運搬質量 14.6 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0046号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離 : km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=14.6 運搬質量 ( t ) D=0 運賃割増率 ( F 1 ~ F 2 ) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					
*****					
<b>仮設材等の積込み、取卸し費</b> S0072 積込み取卸し (往復分)	1	t			施工 第0 -0047号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し (往復分) B=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 7					

## 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>工事名標示板加算額</b> S9990	1	基			施工 第0 -0048号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1      土木工事標準積算基準      - 2 -      - 2 4					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>本管カメラ調査</b> V0003 200以上 800未満 下水道管路管理積算資料	280	m			施工 第0 -0049号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1030
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1040
交通誘導警備員B [ 0.908 ]	1	人			R0900
運転手 (一般) [ 0.793 ]	1	人			R0130
本管テレビカメラ搭載車損料 展開図化式、小中口径管 建設機械損料表 (日本建設機械施工協会)	6	時			F0010
*** 合 計 ***	280	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 登録単価一覧表

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単 位	単 価	管 理 費 区 分
F0003	マンホール可とう継手 リップ管 200用(県農林単価)	個		全間接費対象額
F0001	管路部建込簡易土留(賃料・整備費)	式		全間接費対象額
F0008	仮設商用電源設置	式		全間接費対象額
F0004	鑄鉄製防護蓋 T8 200	個		全間接費対象額
F0006	廃材処理費(汚泥) 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費
F0007	アスファルト廃材処理費 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費
F0009	無筋コンクリート処理費	t		直接工事費内の処分費

# 総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系 ファイル名	00市町村 実施設計書 当初 00000000000 0  1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.06.15(0)  1 土木工事 20250000003当初原町区下水管渠築造第3工区工事 (本陣前・大木戸)		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 ICT施工補正	50 23 下水道(2) 00 冬期割増なし 01 金銭的保証 06 (土木)一般交通影響有り2 00 必要無し 02 4週8休以上(月単位) 00 ICT補正なし		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
管路（本陣前工区）					Y1010005936
管きょ工（開削）					Y213W005937
管路土工					Y32DV005938
管路掘削					Y451I005939
	80	m3			
機械掘削工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻					Y451J005940
	66.3	m3			
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m3（平0.2m3）	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表
クリンカアッシュ（土質改良材） （単位容積重量 1.0 t / m3）	1.26	t			TU360 00
発生土処理					Y451K005941
	80	m3			
発生土運搬工（4 t 積級、機械積込み） 運搬距離 L = 12km バックホウ 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1	m3			SG017 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受け入れ地での処理					SPA109 00 施工 第0 -0007号表
	1	m3			

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工					Y32DW005942
硬質塩化ビニル管	49.4	m			Y44T8005943
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			SG702 00 施工 第0 -0008号表
管基礎工					Y32DX005957
クリンカ基礎	4.8	m <sup>3</sup>			Y451Y005959
砕石基礎工 機械施工 S1(10m <sup>3</sup> 未満)	1	m <sup>3</sup>			SG704 00 施工 第0 -0009号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0 t/m <sup>3</sup> )	1.26	t			TU360 00
管路土留工					Y32E0005979
建て込み簡易土留	50.0	m			Y452D005981
建込簡易土留工 建込・引抜(H=2.0m)	1	m			V0902 00 施工 第0 -0010号表
建て込み簡易土留(賃料)	1	式			Y452D005981
建込簡易土留(賃料・整備費)	1	式			F0006 00

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
開削水替工					Y32E4005993
開削水替	1	式			Y452M005994
ポンプ運転工 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	2	日			SG080 00 施工 第0 -0013号表
ポンプ運転工 据付・撤去工	1	現場			SG081 00 施工 第0 -0014号表
マンホール工					Y21K1006171
小型マンホール工					Y32K9006181
小型マンホール(塩化ビニル製)	1	式			Y45LG006183
小型マンホール設置工 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm	1	箇所			SG706 00 施工 第0 -0015号表
防護蓋( 300) T25口ツク式市草有り	1				F0005 00
マンホール工					Y32K9006181
副管工	1	式			Y45LG006183
内副管取付工 段差 1.0m未満 内径 100~300mm	1	箇所			SG089 00 施工 第0 -0016号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内副管マンホール継手(スリム) 1号 200×150金具付き	1	個			F0001 00
内副管マンホール接手用立て管(スリム) 150 L=1000	1	本			F0002 00
内副管マンホール接手用エルボ(スリム) 150	1	個			F0003 00
内副管用固定バンド	1	個			F0004 00
マンホール削孔	1	式			Y45LG006183
削孔費 第1号人孔 塩ビ 呼径200	1	基			TG842 00
取付管およびます工					Y2142006235
管路土工					Y32DV006236
管路掘削	6.61	m3			Y451I006237
機械掘削工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻	4.99	m3			Y451J006238
機械投入埋戻工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0 t/m <sup>3</sup> )	1.26	t			TU360 00
発生土処理	6.61	m <sup>3</sup>			Y451K006239
発生土運搬工(4 t積級、機械積込み) 運搬距離 L = 12km ハツ納 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )	1	m <sup>3</sup>			SG017 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m <sup>3</sup>			SPA109 00 施工 第0 -0007号表
ます設置工					Y32EW006240
ます(塩ビ製蓋 T - 2)	2	箇所			Y454H006241
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG707 00 施工 第0 -0017号表
ます(塩ビ製蓋 T - 8)	2	箇所			Y454H006241
防護蓋(200) T-8 袋穴式 市章入り	1	枚			F2211 00
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG707 00 施工 第0 -0018号表
取付管布設工					Y32EX006242
取付管	4	箇所			Y454I006243

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG708 00 施工 第0 -0019号表
付帯工					Y2143006254
舗装撤去工 (仮復旧)					Y32EY006255
舗装版切断	24.0	m			Y4485006256
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	m			SPD321 00 施工 第0 -0020号表
舗装版切断汚泥運搬	0.1	m <sup>3</sup>			Y4485006256
側溝清掃車運搬 運搬距離 5.3km	1.0	m <sup>3</sup>			S5200 00 施工 第0 -0021号表
*調整データ*		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
廃材処理費(汚泥) 県建設副産物処理料金	1.4	t			F0010 00
舗装版破碎	11.4	m <sup>2</sup>			Y4486006257
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1.0	m <sup>2</sup>			SPD311 00 施工 第0 -0023号表
殻運搬処理	0.5	m <sup>3</sup>			Y4448006259

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
搬運機 舗装版破碎 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	1	m3			SPA961 00 施工 第0 -0024号表
*調整データ*		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
産業廃棄物処理(中間処理) Asガラ 加藤道路側	2.35	t			F9000 00
舗装復旧工					Y32EZ006264
砂利道路盤工	39.1	m2			Y4438006266
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工	1	m2			SPD006 00 施工 第0 -0025号表
下層路盤工	11.4	m2			Y4438006266
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚200mm 1層施工	1	m2			SPD005 00 施工 第0 -0026号表
上層路盤工	11.4	m2			Y4438006266
上層路盤(車道・路肩部) 粒度調整碎石 全仕上り厚170mm	1	m2			SPD009 00 施工 第0 -0027号表
表層工	11.4	m2			Y4438006266
表層(車道・路肩部) 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	1	m2			SPD023 00 施工 第0 -0028号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全費					Y2143006254
安全費					Y32EY006255
交通誘導員	7	日			Y4485006256
交通誘導警備員 B [0.908]	2	人			R0900 00
管路（大木戸工区）					Y1010005936
取付管およびます工					Y2142006235
取付管布設土工（本管部）					Y32DV006236
管路掘削	3.3	m <sup>3</sup>			Y4511006237
機械掘削工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> （平0.2m <sup>3</sup> ）	1	m <sup>3</sup>			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻	2.8	m <sup>3</sup>			Y451J006238
機械投入埋戻工（バックホウ） 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> （平0.2m <sup>3</sup> ）	1	m <sup>3</sup>			SG012 00 施工 第0 -0003号表
クリカアッシュ（土質改良材） （単位容積重量 1.0 t / m <sup>3</sup> ）	1.26	t			TU360 00

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土処理	3.3	m <sup>3</sup>			Y451K006239
発生土運搬工（4 t 積級、機械積込み） 運搬距離 L = 12km ハ ック 加-ラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平0.2m <sup>3</sup> )	1	m <sup>3</sup>			SG017 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m <sup>3</sup>			SPA109 00 施工 第0 -0007号表
管路土留工（本管部）					Y32E0005979
軽量鋼矢板土留	4.0	m			Y452D005981
軽量鋼矢板建込工（両側分） 3.5m以下 加-ラ型 山0.45m <sup>3</sup> （平0.35m <sup>3</sup> ）吊能力2.9t	1	m			SG040 00 施工 第0 -0029号表
軽量鋼矢板引抜工（両側分） 3.5m以下 ハ ック 吊能力2.9t 山0.45m <sup>3</sup> （平0.35m <sup>3</sup> ）	1	m			SG041 00 施工 第0 -0031号表
土留支保工（軽量金属支保工） 設置・撤去 2段 水圧式パイプサポート	0.5	m			SG050 00 施工 第0 -0032号表
土留工（賃料・整備費）	1	式			Y452D005981
軽量鋼矢板土留（賃料・整備費）	1	式			F0007 00
建込簡易土留（賃料・整備費）	1	式			F0008 00
汚水樹・マンホール工（取付管部）					Y32EW006240

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立0号マンホール工 (資材費)					Y454H006241
	1	箇所			
マンホール蓋 T-14 600 浮上防止・転落防止兼用梯子無し					TG238 00
	1	個			
マンホール 調整リング H150 600×150					TG225 00
	1	個			
マンホール (ステップ垂直型) 斜壁塊 600 0-B 600×750×450					TG142 00
	1	個			
管取付壁 (底ナシ) 0号 H=1200					F0009 00
	1	個			
マンホール 底版塊 径750用 外径900					TG201 00
	1	個			
組立0号マンホール工 (施工費)					Y454H006241
	1	箇所			
特殊調整モルタル					F2103 00
	1	ヶ所			
組立マンホール設置工 0号 (内径 750mm) or 楕円 深さ2m以下 S1(4箇所未満)					SG705 00 施工 第0 -0033号表
	1	箇所			
組立0号マンホール底部工					Y454H006241
	1	箇所			
コンクリート 小型構造物 人力打設					SPB401 00 施工 第0 -0034号表
	0.07	m3			
モルタル上塗り					VG095 00 施工 第0 -0035号表
	0.79	m2			

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル(材料費) セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 1:3	0.02	m3			S1935 00 施工 第0 -0037号表
基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン RC - 40	0.79	m2			SPA391 00 施工 第0 -0038号表
取付管布設工					Y32EX006242
取付管	1	箇所			Y4541006243
取付管布設工および支管取付工 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			SG708 00 施工 第0 -0039号表
取付管土工(取付管部)					Y32DV006236
管路掘削	26.1	m3			Y4511006237
機械掘削工(バックホウ) 加-ラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1	m3			SG002 00 施工 第0 -0001号表
管路埋戻(管防護含む)	15.4	m3			Y451J006238
機械投入埋戻工(バックホウ) 加-ラ型 山0.45m3(平0.35m3)吊能力2.9t	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0040号表
クリカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m3)	1.26	t			TU360 00
管路埋戻(発生土)	6.3	m3			Y451J006238

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入埋戻工 (バックホウ) 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)	1	m3			SG012 00 施工 第0 -0003号表
発生土処理	19.2	m3			Y451K006239
発生土運搬工 (4 t 積級、機械積込み) 運搬距離 L = 12km バックホウ 加-5型 山0.28m3(平0.2m3)	1	m3			SG017 00 施工 第0 -0005号表
整地 残土受け入れ地での処理	1	m3			SPA109 00 施工 第0 -0007号表
管路土留工					Y32E0005979
建て込み簡易土留	12.5	m			Y452D005981
建込簡易土留工 建込・引抜 (H=2.5m)	1	m			V0904 00 施工 第0 -0041号表
付帯工					Y2143006254
舗装撤去工 (仮復旧)					Y32EY006255
舗装版切断	18.5	m			Y4485006256
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	1	m			SPD321 00 施工 第0 -0020号表
舗装版切断汚泥運搬	0.1	m3			Y4485006256

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 運搬距離 5.3km	1.0	m3			S5200 00 施工 第0 -0021号表
*調整データ*		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	1.4	t			F0010 00
舗装版破碎	8.4	m2			Y4486006257
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1.0	m2			SPD311 00 施工 第0 -0023号表
殻運搬処理	0.4	m3			Y4448006259
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	1	m3			SPA961 00 施工 第0 -0024号表
*調整データ*		調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
産業廃棄物処理（中間処理） Asガラ 加藤道路株	2.35	t			F9000 00
舗装復旧工（仮復旧）					Y32EZ006264
下層路盤工	1	式			Y4438006266
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚350mm 2層施工	5.8	m2			SPD005 00 施工 第0 -0044号表

# 本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚160mm 1層施工	2.6	m2			SPD005 00 施工 第0 -0045号表
上層路盤工	5.8	m2			Y4438006266
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚170mm	1	m2			SPD009 00 施工 第0 -0027号表
表層工	2.6	m2			Y4438006266
表層（歩道部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	1	m2			SPD027 00 施工 第0 -0046号表
表層工	5.8	m <sup>2</sup>			Y4438006266
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚30mm	1	m2			SPD023 00 施工 第0 -0047号表
安全費					Y2143006254
安全費					Y32EY006255
交通誘導員	8	日			Y4485006256
交通誘導警備員B [0.908]	2	人			R0900 00
直接工事費					

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬費					Z0004
		式			
仮設材の運搬費 運搬質量 18.98 t 運搬距離(片道) 70km	2	式			S0070 00 施工 第0 -0048号表
仮設材等の積込み、取卸し費 積込み取卸し(往復分)	19.98	t			S0072 00 施工 第0 -0049号表
安全費					Z0008
		式			
工事名標示板加算額	2	基			S9990 00 施工 第0 -0050号表
技術管理費					Z0006
		式			
本管テレビ調査 200以上 800未満	49.4	m			V0003 00 施工 第0 -0051号表
共通仮設費(率)					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					

# 本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費					
		式			
工事価格					
工事価格 (まるめ)					
消費税等相当額					
		式			
工事費計					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械掘削工 (バックホウ)</b> SG002 クロー型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0 -0001号表
土木一般世話役 [ 0.775]	1.900	人			R0010
普通作業員 [ 0.828]	5.000	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	11.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1      クロー型 山0.28m3 (平0.2m3) B=1      下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 5					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>バックホウ運転</b> S8020 機 - 1 クローラ型 山 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> )	1	h			施工 第0 -0002号表
運転手 (特殊) [ 0.778]	0.170	人			R0120
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	5.900	L			T0250
バックホウ (クローラ型) [標準型] 山積 0.28m <sup>3</sup> 平積 0.2m <sup>3</sup> 排ガス型 (第2次基準値)	1.000	h			MOBA1
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=1 クローラ型 山 0.28m <sup>3</sup> (平積 0.2m <sup>3</sup> ) B=1 補正なし C=3 排出ガス対策型 (第2次基準値) 使用					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械投入埋戻工 (バックホウ)</b> SG012 クロー型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0-0003号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クロー型 山0.28m3 (平積0.2m3)	7.600	h			S8020 施工 第0-0002号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0004号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1      クロー型 山0.28m3 (平0.2m3) B=1      下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 10					

## 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>タンパ締め</b> SPA185 標準単価： 1,564.3      機械構成比： 1.24%      労務構成比： 97.05%      材料構成比： 1.71%      市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0004号表 1 m3	
K2620		1.24%	TPK2620	
タンパ及びランマ 60～80kg			タンパ賃料	
R0020		51.22%	TPR0020	
特殊作業員 [0.769]			特殊作業員	
R0030		45.83%	TPR0030	
普通作業員 [0.828]			普通作業員	
T0240		1.71%	TPT0240	
レギュラーガソリン スタンド			ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1      全ての費用 B=1      土木工事標準積算基準	- 1	- 14		

# 施 工 内 訳 表

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生土運搬工 ( 4 t 積級、機械積込み) SG017 運搬距離 L = 12km バックホウ加型 山0.28m3(平0.2m3)	10	m3			施工 第0 -0005号表
ダンプトラック運転 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	0.900	日			SK506 施工 第0-0006号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=12 運搬距離 ( km ) B=1 ダンプトラック 4 t 積級 C=2 バックホウ加型 山0.28m3(平0.2m3) D=1 D I D 区間無し E=1 良 好					
F=1 下水道標準歩掛 第 1 巻 A - 1 - 1 3					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ダンプトラック運転</b> SK506 機 - 2 2 オンロード・ディーゼル4 t 積級	1	日			施工 第0 -0006号表
運転手 (一般) [ 0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	32.000	L			T0250
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	1.290	供用日			MA302
ダンプトラックタイヤ損耗 4 t 路面状況 良好  【 損料表 】	1.290	供用日			K1013
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2      オンロード・ディーゼル4 t 積級 B=1      補正なし C=1      タイヤの損耗状態 良好 D=1      運転労務数量 E=32     燃料消費量					
F=1.29    機械損料数量					

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>整地</b> SPA109 残土受け入れ地での処理 標準単価： 123.38      機械構成比： 23.13%      労務構成比： 51.64%      材料構成比： 25.23%      市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0007号表 1 m3	
K9203 バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 8 m3 ( 平積 0 . 6 m3 )		23.13%	TPK9203 バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		51.64%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		25.23%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1      残土受け入れ地での処理 D=1      土木工事標準積算基準      - 1 -      - 2 0				

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>リブ付硬質塩化ビニル管設置工</b> SG702 呼び径 200mm S0(20m以上)	1	m			施工 第0 -0008号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置 材工共 呼び径 200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	m			TGC12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 呼び径 200mm B=1 S0(20m以上) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 0					
*****					
<b>砕石基礎工</b> SG704 機械施工 S1(10m3未満)	1	m3			施工 第0 -0009号表
砕石基礎設置 手間のみ 機械施工 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.04	1.000	m 3			TGD12
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 機械施工 B=3 S1(10m3未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 2 2					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0026

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>建込簡易土留工</b> V0902 建込・引抜(H=2.0m)	1	m			施工 第0 -0010号表 特単単価適用日：07年06月15日
たて込み簡易土留 建込工 2.0m以下	1	m			SG035 施工 第0-0011号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.0m以下	1	m			SG036 施工 第0-0012号表
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 建込工</b> SG035 2.0m以下	10	m			施工 第0-0011号表
土木一般世話役 [0.775]	0.200	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.200	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.400	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	1.100	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2      2.0m以下 B=1      下水道標準歩掛 第1巻 A-1-27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 引抜工</b> SG036 2.0m以下	10	m			施工 第0 -0012号表
土木一般世話役 [0.775]	0.120	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.120	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.230	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	0.120	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2            2.0m以下 B=1            下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ポンプ運転工</b> SG080 作業時排水 発動発電機 ポンプ台数 1台	1	日			施工 第0 -0013号表
特殊作業員 [ 0.769]	0.110	人			R0020
普通作業員 [ 0.828]	0.050	人			R0030
工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) 口径50mm 揚程5m	1.000	日			M4051
発動発電機 [ ガソリンエンジン駆動 ] 3kVA	1.000	日			M4302
諸雑費	18.000	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 作業時排水 発動発電機 B=1 ポンプ台数 1台 C=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ポンプ運転工 据付・撤去工</b> SG081	1	現場			施工 第0 -0014号表
普通作業員 [ 0.828]	0.080	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 6 6					
*****					
<b>小型マンホール設置工</b> SG706	1	箇所			施工 第0 -0015号表
マンホール径 300mm 起点及び中間形式 深さ2.0m以下 本管径150mm及び200mm					
小型マンホール工(塩化ビニル製)起点・中間 材工共 深さ2.0m以下 本管径150mm～200mm マンホール径300mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGN01
鋳鉄製防護蓋設置費 手間のみ(小型マンホール工) 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	個			TG777
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 マンホール径 300mm 起点及び中間形式 B=1 深さ2.0m以下 C=1 本管径150mm及び200mm D=2 S1(5箇所未満) E=2 時間的制約を受けない					
F=2 夜間作業 無 G=1 防護蓋設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 1					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>内副管取付工</b> SG089 段差 1.0m未満 内径 100~300mm	1	箇所			施工 第0 -0016号表
土木一般世話役 [0.775]	0.150	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.150	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.150	人			R0030
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 段差 1.0m未満 B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 9					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ます設置工 (塩化ビニル製)</b> SG707 ます径 200mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0017号表
ます設置工 (塩化ビニル製) 材工共 ます径200mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGS02
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 ます径 200mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間の制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=2 防護蓋設置費加算 無					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 1					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>ます設置工 (塩化ビニル製)</b> SG707 ます径 200mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0018号表
ます設置工 (塩化ビニル製) 材工共 ます径200mm  週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	箇所			TGS02
鋳鉄製防護蓋設置費 手間のみ  週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.01	1.000	個			TG776
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 ます径 200mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=1 防護蓋設置費加算 有					
F=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 1					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>取付管布設工および支管取付工</b> SG708 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0019号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm  週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=2.03 取付管長 ( m )					
F=2 本管材質がコンクリート製(補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 4					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版切断</b> SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26                      機械構成比：	15cm以下		施工 第0 -0020号表 1	m
	15.42%	57.13%	材料構成比： 27.45%	市場単価構成比： 0.00%
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 45cm (18インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 18インチ (45cm)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      15cm以下 E=1      全ての費用 F=1      土木工事標準積算基準      - 3      - 1				



# 施 工 内 訳 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
側溝清掃車運転 SK921 機-19 ブロワ式 9.0m3	1	日			施工 第0-0022号表
運転手(一般) [0.793]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車[ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1       ブロワ式 9.0m3 B=1       運転労務数量 C=84       燃料消費量 D=1       機械損料数量					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>舗装版破碎</b> SPD311 アスファルト舗装版 標準単価：        207.06                      機械構成比：	障害等なし 13.49%	80.49%	施工 第0 -0023号表 1 材料構成比：        6.02%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
KQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	13.49%	13.49%	TPKQ049 バックホウ [ クローラ・後方超小旋回 ] 賃料	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		28.91%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		27.69%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		23.89%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		6.02%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1      アスファルト舗装版 B=1      障害等なし C=1      騒音振動対策不要 D=1      15cm以下 F=1      積込作業あり				
G=1      全ての費用 H=1      土木工事標準積算基準    - 3    - 2				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<p><b>殻運搬</b></p> <p>SPA961 舗装版破碎</p> <p>標準単価：    2,316.4                      機械構成比：</p>			<p>施工 第0 -0024号表</p> <p style="text-align: center;">1</p> <p>機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)</p> <p>材料構成比：    16.08%                      市場単価構成比：</p>	m3
<p style="text-align: center;">MA404</p> <p>ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]</p>		44.95%	<p style="text-align: center;">TPMA404</p> <p>ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]</p>	
<p>運転手(一般)</p> <p>[ 0.793 ]</p> <p style="text-align: center;">R0130</p>		38.97%	<p>運転手(一般)</p> <p style="text-align: center;">TPR0130</p>	
<p>軽油</p> <p>ミニローリー (パトロール給油)</p> <p style="text-align: center;">T0250</p>		16.08%	<p>軽油</p> <p>1.2号 パトロール給油</p> <p style="text-align: center;">TPT0250</p>	
*** 単位当たり ***				
<p>A=3    舗装版破碎</p> <p>B=2    機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)</p> <p>C=1    DID区間なし</p> <p>D=23  10.0km以下</p> <p>E=1    全ての費用</p>				
<p>F=1    土木工事標準積算基準    - 2 - 2 5 - 1</p>				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (歩道部)</b> SPD006 全仕上り厚100mm 標準単価： 784.89                      機械構成比：	1層施工	5.62%	施工 第0 -0025号表 1 材料構成比： 21.50%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
K9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 1 1 m3 ( 平積 0 . 0 8 m3 )		2.91%	TPK9220 小型バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
K2610 振動ローラ ( 舗装用・搭乗式コンパインド型 ) 3 - 4 t		2.55%	TPK2610 振動ローラ [ 搭乗式・コンパインド型 ] 賃料	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		30.50%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 ( 特殊 ) [ 0.778 ]		26.32%	TPR0120 運転手 ( 特殊 )	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		13.94%	TPR0020 特殊作業員	
T8454 再生骨材 ( 骨材 ) クラッシュラン R C - 4 0		19.41%	TPT8454 再生クラッシュラン R C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		2.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=100                      全仕上り厚(mm) B=1                      1層施工 D=2                      再生クラッシュラン R C - 4 0 E=1                      全ての費用 F=1                      土木工事標準積算基準                      - 1 -                      - 5				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (車道・路肩部)</b> SPD005 全仕上り厚200mm 標準単価： 1,202.1                      機械構成比：	1層施工 4.67%	15.69%	施工 第0 -0026号表 1 材料構成比： 79.64%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      MC219		1.87%	モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      TPMC219	
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      MC230		1.48%	ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      TPMC230	
タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t                      K2630		0.48%	タイヤローラ賃料                      TPK2630	
運転手 (特殊) [ 0.778]                      R0120		7.32%	運転手 (特殊)                      TPR0120	
特殊作業員 [ 0.769]                      R0020		2.44%	特殊作業員                      TPR0020	
普通作業員 [ 0.828]                      R0030		2.38%	普通作業員                      TPR0030	
土木一般世話役 [ 0.775]                      R0010		0.72%	土木一般世話役                      TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0                      T8454		78.02%	クラッシュラン C - 4 0                      TPT8321	
軽油 ミニローリー (パトロール給油)                      T0250		1.33%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油                      TPT0250	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                    機械構成比：                    労務構成比：                    材料構成比：                    市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=200          全仕上り厚(mm) B=1            1層施工 D=2          再生クラッシュラン    RC - 40 E=1          全ての費用 F=1          土木工事標準積算基準    - 1    - 4				

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤(車道・路肩部) SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 937.87	全仕上り厚170mm 機械構成比： 12.07%	労務構成比： 40.36%	施工 第0-0027号表 1 材料構成比： 47.57%	m2 市場単価構成比： 0.00%
モータグレーダ[土工用] 排ガス2次	MC219	4.83%	モータグレーダ[土工用] 排ガス2次	TPMC219
ロードローラ[マカダム] 排ガス2次	MC230	3.83%	ロードローラ[マカダム] 排ガス2次	TPMC230
タイヤローラ 質量 8t~20t	K2630	1.24%	タイヤローラ賃料	TPK2630
運転手(特殊) [0.778]	R0120	18.87%	運転手(特殊)	TPR0120
特殊作業員 [0.769]	R0020	6.26%	特殊作業員	TPR0020
普通作業員 [0.828]	R0030	6.11%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.775]	R0010	1.84%	土木一般世話役	TPR0010
粒度調整碎石 M-40 40~0mm	T8344	43.39%	再生粒度調整碎石 R M-40	TPT8345
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	T0250	3.43%	軽油 1.2号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                                  機械構成比：                                  労務構成比：                                  材料構成比：                                  市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=2 D=170 E=2 H=3 J=1 粒度調整碎石 全仕上り厚(mm) 2層施工 粒度調整碎石 M - 4 0 全ての費用				
K=1                  土木工事標準積算基準    - 1    - 7				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,852.9                      機械構成比：	平均仕上り厚30mm	0.43%	施工 第0 -0028号表 1 材料構成比： 57.27%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC246 振動ローラ [ 舗装用・ハンドガイド式 ]		0.24%	TPMC246 振動ローラ ( 舗装用 ) [ ハンドガイド式 ]	
MC274 振動コンパクト [ 前進型 ]		0.13%	TPMC274 振動コンパクト [ 前進型 ]	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		18.71%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		13.40%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		4.05%	TPR0010 土木一般世話役	
T8430 再生材アスファルト合材 細粒度 ( 1 3 ) 最大粒径 1 3 mm		52.51%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		4.54%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.16%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		0.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

頁0-0046

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1 B=30 C=1 D=2 E=10	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚(mm) 2.35t/m3 プライムコート 再生 細粒度(13)			
F=1 G=1	全ての費用 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>軽量鋼矢板建込工 (両側分)</b> SG040 3.5m以下 加-ヲ型 山0.45m3 (平0.35m3) 吊能力2.9t	100	m			施工 第0-0029号表
土木一般世話役 [0.775]	3.100	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	3.100	人			R0020
普通作業員 [0.828]	9.300	人			R0030
バックホウ (クレーン機能付) 運転 機 - 1 山0.45m3 (平0.35m3) 2.9t吊	14.600	h			S8027  施工 第0-0030号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5      3.5m以下 B=4      加-ヲ型 山0.45m3 (平0.35m3) 吊能力2.9t C=1      下水道標準歩掛 第1巻 A-1-29					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>バックホウ(クレーン機能付)運転</b> S8027 機 - 1 山 0.45m <sup>3</sup> (平 0.35m <sup>3</sup> ) 2.9t吊	1	h			施工 第0 -0030号表
運転手(特殊) [0.778]	0.170	人			R0120
軽油 ミニローリー(パトロール給油)	8.600	L			T0250
バックホウ(クローラ型)[クレーン機能付] 2.9t吊 山積0.45m <sup>3</sup> 平積0.35m <sup>3</sup> 排ガス型 (第1次基準値)	1.000	h			MOB35
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=1 山 0.45m <sup>3</sup> (平 0.35m <sup>3</sup> ) 2.9t吊 B=2 排出ガス対策型(第1次基準値) 使用					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>軽量鋼矢板引抜工（両側分）</b> SG041 3.5m以下 バックホウ 吊能力2.9t 山0.45m3 (平0.35m3)	100	m			施工 第0-0031号表
土木一般世話役 [0.775]	1.000	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	1.000	人			R0020
普通作業員 [0.828]	3.000	人			R0030
バックホウ（クレーン機能付）運転機 - 1 山0.45m3 (平0.35m3) 2.9t吊	7.600	h			S8027 施工 第0-0030号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5      3.5m以下 B=2      バックホウ 吊能力2.9t 山0.45m3 (平0.35m3) C=1      下水道標準歩掛 第1巻 A-1-30					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>土留支保工（軽量金属支保工）</b> SG050 設置・撤去 2段 水圧式パイプサポート	100	m			施工 第0 -0032号表
土木一般世話役 [ 0.775]	2.200	人			R0010 1.4+0.8
特殊作業員 [ 0.769]	2.200	人			R0020 1.4+0.8
普通作業員 [ 0.828]	6.600	人			R0030 4.2+2.4
腹起材質料	1.000	式			
切梁材質料	1.000	式			
水圧ポンプ賃料	1.000	式			
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 設置・撤去 B=2 2段 C=1 水圧式パイプサポート D= E=					
F= G=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 39					

# 施 工 内 訳 表

頁0-0051

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>組立マンホール設置工</b> <small>SG705                      0号(内径 750mm) or 楕円 深さ2m以下                      S1(4箇所未満)</small>	1	箇所			施工 第0 -0033号表
<small>組立マンホール設置 手間のみ                      0号(内径 750mm)or楕円、深さ2m以下                      週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.03</small>	1.000	箇所			TGM01
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
<small>A=1      0号(内径 750mm) or 楕円 深さ2m以下                      B=2      S1(4箇所未満)                      C=2      時間的制約を受けない                      D=2      夜間作業 無                      E=1      下水道標準歩掛 第1巻 A - 2 - 1 0</small>					

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<p><b>コンクリート</b></p> <p>SPB401 小型構造物 標準単価： 33,825</p> <p>機械構成比： 0.00%</p>	<p>人力打設</p> <p>0.00%</p>	<p>42.01%</p>	<p>施工 第0 -0034号表 1</p> <p>材料構成比： 57.99%</p>	<p>m3</p> <p>0.00%</p>
<p>R0030</p> <p>普通作業員 [0.828]</p>		<p>22.75%</p>	<p>TPR0030</p> <p>普通作業員</p>	
<p>R0010</p> <p>土木一般世話役 [0.775]</p>		<p>9.31%</p>	<p>TPR0010</p> <p>土木一般世話役</p>	
<p>R0020</p> <p>特殊作業員 [0.769]</p>		<p>7.89%</p>	<p>TPR0020</p> <p>特殊作業員</p>	
<p>T8610</p> <p>生コンクリート 18 - 8 - 40 - 55%</p>		<p>57.99%</p>	<p>TPTC618</p> <p>生コンクリート 24 - 12 - 25 高炉 W/C 55%</p>	
*** 単位当たり ***				
<p>A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=2 高炉</p>				
<p>L=14 18 - 8 - 40 - 55% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準</p>	- 4	- 4		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0053

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>モルタル上塗り</b> VG095	1	m2			施工 第0 -0035号表 特単単価適用日：07年06月15日
左官 [ 0.835 ]	0.33	人			R0290
普通作業員 [ 0.828 ]	0.33	人			R0030
モルタル練 ゼント(普通ポルトランド)25kg袋入	0.02	m3			SPB405 施工 第0-0036号表
諸雑費 5 ~ 14円	1	式			#10
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>モルタル練</b> SPB405 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 標準単価： 94,888			施工 第0 -0036号表 1 m3	
機械構成比： 0.00%	0.00%	83.30%	材料構成比： 16.70%	市場単価構成比： 0.00%
R0030 普通作業員 [0.828]		55.43%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		27.71%	TPR0010 土木一般世話役	
T0010 セメント 普通ポルトランド(袋物)25kg/袋		11.28%	TPT0016 セメント(高炉B) 25kg袋入	
T8300 コンクリート用骨材 砂(洗)		5.42%	TPT8300 コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)	
*** 単位当たり ***				
B=3 C=1 D=1	セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 全ての費用 土木工事標準積算基準 - 4 -	- 8		

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>モルタル（材料費）</b> S1935 セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 1:3	1	m3			施工 第0 -0037号表
セメント 普通ポルトランド（袋物）2.5kg / 袋	0.530	t			T0010
コンクリート用骨材 砂（洗）	1.050	m3			T8300
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
B=3      1:3 C=3      セメント(普通ポルトランド)25kg袋入 D=1      土木工事標準積算基準      - 4 -      - 8					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>基礎碎石</b> SPA391 17.5cmを超え20.0cm以下 標準単価： 1,350.1			施工 第0 -0038号表 1	m2
機械構成比：	再生クラッシャラン	RC - 4 0 4.99%	材料構成比： 25.84%	市場単価構成比： 0.00%
K9203		4.96%	TPK9203	
バックホウ [ クローラ型 ] 山積 0 . 8 m3 ( 平積 0 . 6 m3)			バックホウ [ クローラ型 ] 賃料	
R0030		33.14%	TPR0030	
普通作業員 [ 0.828]			普通作業員	
R0020		14.04%	TPR0020	
特殊作業員 [ 0.769]			特殊作業員	
R0120		13.23%	TPR0120	
運転手 ( 特殊 ) [ 0.778]			運転手 ( 特殊 )	
R0010		8.28%	TPR0010	
土木一般世話役 [ 0.775]			土木一般世話役	
T8454		21.33%	TPT8454	
再生骨材 ( 骨材 ) クラッシャラン RC - 4 0			再生クラッシャラン RC - 4 0	
T0250		4.48%	TPT0250	
軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )			軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=4 C=2 D=1 E=1	17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャラン RC - 4 0 全ての費用 土木工事標準積算基準	- 2 - - 2		

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>取付管布設工および支管取付工</b> SG708 管径 150mm S1(5箇所未満)	1	箇所			施工 第0 -0039号表
取付管布設工および支管取付工 材工共 管径150mm 週休二日4週8休以上(月単位) 補正係数1.02	1.000	箇所			TGT03
可とう性支管設置費加算額 管径150mm	1.000	箇所			TGT13
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 管径 150mm B=2 S1(5箇所未満) C=2 時間的制約を受けない D=2 夜間作業 無 E=11.9 取付管長( m )					
F=2 本管材質がコンクリート製(補正無) G=1 可とう性支管設置費加算 有 H=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 4 - 4					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>機械投入埋戻工 (バックホウ)</b> SG012 加-5型 山0.45m3 (平0.35m3) 吊能力2.9t	100	m3			施工 第0-0040号表
土木一般世話役 [0.775]	2.500	人			R0010
普通作業員 [0.828]	3.800	人			R0030
バックホウ (クレーン機能付) 運転 機 - 1 山 0 . 4 5 m3 (平 0 . 3 5 m3) 2 . 9 t 吊	6.200	h			S8027 施工 第0-0030号表
タンバ締固め	100.000	m3			SPA185 施工 第0-0004号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 加-5型 山0.45m3 (平0.35m3) 吊能力2.9t B=1 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 1 0					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>建込簡易土留工</b> V0904 建込・引抜(H=2.5m)	1	m			施工 第0 -0041号表 特単単価適用日：07年06月15日
たて込み簡易土留 建込工 2.5m以下	1	m			SG035 施工 第0-0042号表
たて込み簡易土留 引抜工 2.5m以下	1	m			SG036 施工 第0-0043号表
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 建込工</b> SG035 2.5m以下	10	m			施工 第0 -0042号表
土木一般世話役 [0.775]	0.230	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.230	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.470	人			R0030
バックホウ運転機 - 1 クローラ型 山0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	1.300	h			S8020 施工 第0-0002号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 B=1 2.5m以下 下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>たて込み簡易土留 引抜工</b> SG036 2.5m以下	10	m			施工 第0 -0043号表
土木一般世話役 [0.775]	0.140	人			R0010
特殊作業員 [0.769]	0.140	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.270	人			R0030
トラックレンタル賃料 油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	0.140	日			K0005
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3            2.5m以下 B=1            下水道標準歩掛 第1巻 A - 1 - 27					

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (車道・路肩部)</b> SPD005 全仕上り厚350mm 標準単価： 2,093.6                      機械構成比：	2層施工 5.39%	労務構成比： 18.06%	施工 第0 -0044号表 1 材料構成比： 76.55%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      MC219		2.16%	モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      TPMC219	
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      MC230		1.71%	ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      TPMC230	
タイヤローラ 質量 8 t ~ 2 0 t                      K2630		0.55%	タイヤローラ賃料                      TPK2630	
運転手 (特殊) [ 0.778]                      R0120		8.45%	運転手 (特殊)                      TPR0120	
特殊作業員 [ 0.769]                      R0020		2.80%	特殊作業員                      TPR0020	
普通作業員 [ 0.828]                      R0030		2.73%	普通作業員                      TPR0030	
土木一般世話役 [ 0.775]                      R0010		0.82%	土木一般世話役                      TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0                      T8454		74.68%	クラッシュラン C - 4 0                      TPT8321	
軽油 ミニローリー (パトロール給油)                      T0250		1.54%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油                      TPT0250	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=350 B=2 D=2 E=1 F=1 全仕上り厚(mm) 2層施工 再生クラッシュラン RC - 40 全ての費用 土木工事標準積算基準    - 1    - 4				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>下層路盤 (車道・路肩部)</b> SPD005 全仕上り厚160mm 標準単価： 1,202.1                      機械構成比：	1層施工 4.67%	15.69%	施工 第0 -0045号表 1 材料構成比： 79.64%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      MC219		1.87%	モータグレーダ [土工用] 排ガス2次                      TPMC219	
ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      MC230		1.48%	ロードローラ [マカダム] 排ガス2次                      TPMC230	
タイヤローラ 質量 8 t ~ 20 t                      K2630		0.48%	タイヤローラ賃料                      TPK2630	
運転手 (特殊) [0.778]                      R0120		7.32%	運転手 (特殊)                      TPR0120	
特殊作業員 [0.769]                      R0020		2.44%	特殊作業員                      TPR0020	
普通作業員 [0.828]                      R0030		2.38%	普通作業員                      TPR0030	
土木一般世話役 [0.775]                      R0010		0.72%	土木一般世話役                      TPR0010	
再生骨材 (骨材) クラッシュラン RC - 40                      T8454		78.02%	クラッシュラン C - 40                      TPT8321	
軽油 ミニローリー (パトロール給油)                      T0250		1.33%	軽油 1.2号 パトロール給油                      TPT0250	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=160 全仕上り厚(mm) B=1 1層施工 D=2 再生クラッシュラン RC - 40 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 4				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層 (歩道部)</b> SPD027 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,198.9                      機械構成比：	平均仕上り厚30mm	0.46%	施工 第0 -0046号表 1 材料構成比： 49.42%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC246 振動ローラ [ 舗装用・ハンドガイド式 ]		0.31%	TPMC246 振動ローラ ( 舗装用 ) [ ハンドガイド式 ]	
MC274 振動コンパクト [ 前進型 ]		0.08%	TPMC274 振動コンパクト [ 前進型 ]	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		19.49%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		17.39%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		5.25%	TPR0010 土木一般世話役	
T8430 再生材アスファルト合材 細粒度 ( 1 3 ) 最大粒径 1 3 mm		43.36%	TPT8420 再生アスファルト混合物 密粒度 ( 1 3 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		5.90%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.10%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		0.04%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1      1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) B=30      1層当り平均仕上り厚(mm) C=1      2.20t/m <sup>3</sup> D=2      プライムコート E=10      再生 細粒度(13)				
F=1      全ての費用 G=1      土木工事標準積算基準      - 1      - 8				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<b>表層(車道・路肩部)</b> SPD023 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準単価： 2,852.9                      機械構成比：	平均仕上り厚30mm	0.43%	施工 第0 -0047号表 1 材料構成比： 57.27%                      市場単価構成比：	m2 0.00%
MC246 振動ローラ [ 舗装用・ハンドガイド式 ]		0.24%	TPMC246 振動ローラ ( 舗装用 ) [ ハンドガイド式 ]	
MC274 振動コンパクト [ 前進型 ]		0.13%	TPMC274 振動コンパクト [ 前進型 ]	
R0020 特殊作業員 [ 0.769 ]		18.71%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 [ 0.828 ]		13.40%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [ 0.775 ]		4.05%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度 ( 1 3 ) 最大粒径 1 3 mm		52.51%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度 ( 2 0 )	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		4.54%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.16%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
T0250 軽油 ミニローリー ( パトロール給油 )		0.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

# 施工パッケージ内訳表

標準単価：                      機械構成比：                      労務構成比：                      材料構成比：                      市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=1          1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) B=30          1層当り平均仕上り厚(mm) C=1          2.35t/m <sup>3</sup> D=2          プライムコート E=12          再生 密粒度(13)				
F=1          全ての費用 G=1          土木工事標準積算基準	- 1 -			- 2

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>仮設材の運搬費</b> S0070 運搬質量 18.98 t 運搬距離 (片道) 70km	1	式			施工 第0 -0048号表
仮設材の運搬費	1.000	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=70 運搬距離 (片道距離 : km) B=1 製品長 1 2 m以内 C=18.98 運搬質量 ( t ) D=0 運賃割増率 ( F 1 ~ F 2 ) E=					
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 6					
*****					
<b>仮設材等の積込み、取卸し費</b> S0072 積込み取卸し (往復分)	1	t			施工 第0 -0049号表
仮設材の積込み、取卸し費	1.000	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=4 積込み取卸し (往復分) B=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 1 7					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>工事名標示板加算額</b> S9990	1	基			施工 第0-0050号表
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)	1.000	基			T9940
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 2 4					

# 施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<b>本管テレビ調査</b> V0003 200以上 800未満	280	m			施工 第0 -0051号表 特単単価適用日：07年06月15日
測量技師 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1020
測量技師補 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1030
測量助手 (外業) [ 5 5 % ]	1	人			R1040
交通誘導警備員B [ 0.908 ]	1	人			R0900
運転手(一般) [ 0.793 ]	1	人			R0130
本管テレビカメラ搭載車損料 展開図化式、小中口径管 建設機械損料表(日本建設機械施工協会)	6	時			F0012
*** 合 計 ***	280	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 登録単価一覧表

頁0-0073

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
F0006	建込簡易土留（賃料・整備費）	式		全間接費対象額
F0005	防護蓋（ 300） T25口ツク式市章有り			全間接費対象額
F0001	内副管マンホール継手（スリム） 1号 200×150金具付き	個		全間接費対象額
F0002	内副管マンホール接手用立て管（スリム） 150 L=1000	本		全間接費対象額
F0003	内副管マンホール接手用エルボ（スリム） 150	個		全間接費対象額
F0004	内副管用固定バンド	個		全間接費対象額
F2211	防護蓋（ 200） T-8 袋穴式 市章入り	枚		全間接費対象額
F0010	廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費
F9000	産業廃棄物処理（中間処理） Asガラ 加藤道路㈱	t		直接工事費内の処分費
F0007	軽量鋼矢板土留（賃料・整備費）	式		全間接費対象額
F0008	建込簡易土留（賃料・整備費）	式		全間接費対象額
F0009	管取付壁（底ナシ） 0号 H=1200	個		全間接費対象額
F2103	特殊調整モルタル	ヶ所		全間接費対象額
F0010	廃材処理費（汚泥） 県建設副産物処理料金	t		直接工事費内の処分費

登録単価一覧表

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
F9000	産業廃棄物処理(中間処理) Asガラ 加藤道路(株)	t		直接工事費内の処分費

# 数 量 計 算 書

令和 7 年度 下水管渠築造第 3 工区工事

小川町工区

数量総括表			小川町工区		7129-1~ 3
工種	種別	形状・寸法	単位	数量	備考
本管土工					
	機械掘削工	BH=0.20	m3	323.31	
	機械埋戻工 (RC-40)	BH=0.20	m3	146.68	
	基礎工 (管回り防護部)	機械施工 (RC-40)	m3	92.84	機械施工 (RC-40) 計 239.52 m3
	基礎工 (管基礎部)	機械施工 (RC-40)	m3	19.72	
	残土運搬工	BH=0.20	m3	323.31	
本管布設工					
	路線延長	PRP 200	m	207.50	
	管体延長	PRP 200	m	203.90	カメラ調査
	マンホール用可とう継手	PRP 200用	個	7	
	埋設物表示シート	W=15cm	m	203.90	
	管布設工	PRP 200	m	203.90	
参考数量	硬質塩化ビニル管 ゴム輪受口片受直管	PRP 200	本	(50.98)	
本管土留工					
	建込簡易土留工	H=1.50m、W=1.00、BH=0.20	m	63.00	
	建込簡易土留工	H=2.00m、W=1.00、BH=0.20	m	91.00	
	建込簡易土留工	H=2.50m、W=1.00、BH=0.20	m	53.50	
本管路面復旧工					
	As舗装切断工	t 15cm	本管+取付管 m	482.04 415.00	
	As舗装切断汚水処理		本管+取付管 m3	3.20 2.60	Co含む
	As舗装取壊工	t 10cm	本管+取付管 m2	223.92 197.13	
	As殻運搬工		本管+取付管 m3	8.95 7.89	
	As殻処理工		本管+取付管 t	21.05 18.54	
	上層路盤工 (M-40)	t=110	本管+取付管 m2	221.19 197.13	
	下層路盤工 (RC-40)	t=190	本管+取付管 m2	220.51 197.13	
	仮復旧工 (再生密粒度As13)	t=30	本管+取付管 m2	221.40 197.13	
組立式1号マンホール					
	鉄蓋及び受枠 (600)	T-25	組	2	
	調整リング (-C-a-10)	H=100	個	2	

数量総括表			小川町工区	7129-1~ 3	
工種	種別	形状・寸法	単位	数量	備考
	斜壁 ( -B-c-60A )	H=300	個	1	
	斜壁 ( -B-c-60B )	H=450	個	1	
	直壁 ( -B-a-90A )	H=300	個	1	
	底塊 (管取付壁、 -D-b-3)	H=1200	個	2	
	底板 ( -D-d-1 )	H=130	個	2	
	調整金具	25mm	個	2	
	調整金具	45mm	個	0	
	底部工		箇所	2	
	ブロック据付工	H 3.0m	箇所	(2)	
	削孔工	PRP 200	箇所	6	
塩ビ製小口径マンホール					
	リブ管用塩ビマンホール	ストレート自在 200*300	個	1	
	リブ管用塩ビマンホール	曲り90 L 左 200*300	個	1	
	リブ管用塩ビマンホール	合流45 Y 左 200*300	個	1	
	マンホール立管	300 * 0.9h	個	1	所用立管長 L=0.879
	マンホール立管	300 * 1.2h	個	1	所用立管長 L=0.938
	マンホール立管	300 * 1.5h	個	1	所用立管長 L=1.356
	内 蓋	300	個	3	
	保護鉄蓋	T - 25	組	3	
	基礎碎石		m3	0.09	0.03 × 3箇所 = 0.09m3
	塩ビマンホール設置工		個	3	
取付管土工					
	機械掘削工	BH = 0.20	m3	51.29	6.74+18.41+26.14
	機械埋戻工 (クリンカ)	BH = 0.20	m3	8.05	
	機械埋戻工 (発生土 クリンカ)	BH = 0.20	m3	11.24	
	残土運搬工	BH = 0.20	m3	51.29	
	埋戻 (管回り防護部)	機械施工 (クリンカ)	m3	17.21	機械埋戻工 計 36.50 m3
	基礎工 (管基礎部)	機械施工 (クリンカ)	m3	3.64	

数量総括表			小川町工区	7129-1 ~ 3	
工種	種別	形状・寸法	単位	数量	備考
取付管及び汚水柵工					
	鋳鉄製防護蓋	T-14、 200	組	13	
	鋳鉄製防護蓋設置工		箇所	13	
	塩ビ製汚水柵設置工	200	箇所	21	
	(総汚水柵深)	200	m	16.90	
	(平均汚水柵深)	200	m	0.80	
	(取付延長毎箇所)	150、 L < 3.0m	箇所	14	
	(取付延長毎箇所)	150、 3.0m L < 5.0m	箇所	5	
	(取付延長毎箇所)	150、 5.0m L	箇所	2	
	(総取付管延長)	150	m	65.54	
	鋳鉄製防護蓋	T-14、 200	組	(13)	
	内蓋	200	個	(13)	
	塩ビ製蓋	T-2、 200	個	8	
	公共柵(塩ビ柵)	横型45°三方向合流柵 (100×150P-200R)	個	(20)	
	公共柵(塩ビ柵)	縦型90°三方向合流柵 (100×150P-200R)	個	(1)	
	立管	VU 200	m	(12.06)	
	塩ビ柵底板	(0.30×0.30)	個	(20)	
	90°可とう受口支管	(200-150)	個	(13)	
	コンパクト支管	(200-150)	個	(4)	
	0°自在曲管	VU 150	個	(15)	
	15°自在曲管	VU 150	個	(9)	
	30°自在曲管	VU 150	個	(8)	
	60°自在曲管	VU 150	個	(5)	
	75°自在曲管	VU 150	個	(1)	
	異径ソケット	(200-150)	個	(4)	
	管布設工	VU 150	m	(65.54)	
	硬質塩化ビニル管 ゴム輪受口片受直管	VU 150、 4.0m/本	本	(17.3)	

数量総括表		小川町工区		7129-1 ~ 3	
工種	種別	形状・寸法	単位	数量	備考
取付管路面復旧工					
	As舗装切断工	t 15cm	m	67.04	
	Co舗装切断工	t 15cm	m	27.04	
	As舗装切断汚水処理		m3	0.40	
	Co舗装切断汚水処理		m3	0.20	宅地内(本管+取付管を含む)
	As舗装取壊工	t 10cm	m2	26.79	
	Co舗装取壊工	t 10cm	m3	1.03	宅地内
	As殻運搬工		m3	1.06	
	Co殻運搬工		m3	1.03	宅地内
	As殻処理工		t	2.51	
	Co殻処理工		t	2.44	宅地内
	上層路盤工(M-40)	t=110	m2	24.06	市道部・位置指定道路部
	下層路盤工(RC-40)	t=190	m2	23.38	市道部・位置指定道路部
	仮復旧工(再生密粒度As13)	t=30	m2	24.27	市道部・位置指定道路部
	As舗装路盤工	RC-40、t=10cm	m2	2.49	Rc-40計 宅地内 17.84 m <sup>2</sup>
	As舗装工	再生密粒度As13、t=4cm	m2	2.52	宅地内
	Co舗装路盤工	RC-40、t=10cm	m2	10.07	宅地内
	Co舗装工	18-8-40BB、t=10cm	m3	1.03	宅地内
	敷碎石	RC-40、t=10cm	m2	5.28	宅地内
交通整理員			人	46.0	23×2人/日
水替工			日	12.0	
1号マンホール底部工	(1箇所当たり)				
	インポートコンクリート	(18-8-40BB)	m3	0.13	
	モルタル上塗り	(1:2)	m2	0.74	
	敷モルタル	(1:3)	m3	0.03	
	基礎碎石	(RC-40、t=20cm)	m <sup>3</sup>	0.23	
			m2	1.13	

本管土工数量計算書(1)

路線番号	区間		管種・口径	管基礎 支承角 °	管下 基礎高 m	道路種別	舗装	舗装厚 m	路盤厚 m	掘削深		平均 掘削深 m	平均 掘削幅 m	路線 延長 m	立抗等 控除 m	土工 延長 m	機械掘削工			
	上流側	下流側								上流側 m	下流側 m						BH0.10 m3	BH0.20 m3	BH0.35 m3	BH0.60 m3
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	PRP 200	90	0.10	市道車道	As	0.04	0.29	1.491	1.328	1.410	0.950	37.00		37.00		48.16		
	7129-1-2	7129-1-3	PRP 200	90	0.10	市道車道	As	0.04	0.29	1.731	1.672	1.702	0.950	51.00		51.00		80.52		
	7129-1-3	7129-1-4	PRP 200	90	0.10	市道車道	As	0.04	0.29	2.190	1.697	1.944	0.950	53.50		53.50		96.77		
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	PRP 200	90	0.10	位置指定道路	As	0.04	0.29	1.432	1.338	1.385	0.950	26.00		26.00		33.22		
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	PRP 200	90	0.10	位置指定道路	As	0.04	0.29	1.909	1.573	1.741	0.950	40.00		40.00		64.64		
合計														207.50		207.50		323.31		

本管土工数量計算書(2)

路線番号	区間		管種・口径	機械埋戻工(良質土)				機械埋戻工(RC-40)				砂基礎工		基礎工(RC-40)		残土運搬工			
	上流側	下流側		BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60	管防護部	管基礎部	管防護部	管基礎部	BH0.10	BH0.20	BH0.35	BH0.60
				m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	PRP 200											16.55	3.52			48.16	
	7129-1-2	7129-1-3	PRP 200											22.82	4.85			80.52	
	7129-1-3	7129-1-4	PRP 200											23.94	5.08			96.77	
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	PRP 200											11.63	2.47			33.22	
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	PRP 200											17.90	3.80			64.64	
合計														92.84	19.72			323.31	

本管布設工数量計算書

路線番号	区 間		管種・口径	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	ゴム輪受口片受直管		上流用	下流用	マンホール用 可とう継手 個	塩ビ人孔用	くら型	VU継手 個	管布設工 m
	上流側	下流側					4.00m/本		マンホール継手	マンホール継手		自在継手	マンホール継手		
							m	本	0.50m/個	0.50m/個		0.215m/個	0.035m/個		
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	PRP 200	37.00	0.60	36.40	36.40	9.10			3				36.40
	7129-1-2	7129-1-3	PRP 200	51.00	0.90	50.10	50.10	12.53			3				50.10
	7129-1-3	7129-1-4	PRP 200	53.50	0.90	52.60	52.60	13.15			1				52.60
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	PRP 200	26.00	0.60	25.40	25.40	6.35							25.40
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	PRP 200	40.00	0.60	39.40	39.40	9.85							39.40
合計				207.50		203.90	203.90	50.98			7				203.90

本管布設工数量計算書

路線番号	区 間		路線延長 m	立抗等控除 m	土留延長 m	掘削深		平均掘削深 m	建込簡易土留工							
									H=1.50 W=0.95 BH=0.20	H=2.00 W=0.95 BH=0.20	H=2.50 W=0.95 BH=0.20	H=3.00 W=0.95 BH=0.20	H=3.50 W=1.00 BH=0.20	H=4.00 W=1.10 BH=0.35	H=4.50 W=1.35 BH=0.60	
	上流側	下流側				上流側 m	下流側 m		m	m	m	m	m	m	m	
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	37.00		37.00	1.491	1.328	1.410	37.00							
	7129-1-2	7129-1-3	51.00		51.00	1.731	1.672	1.702		51.00						
	7129-1-3	7129-1-4	53.50		53.50	2.190	1.697	1.944			53.50					
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	26.00		26.00	1.432	1.338	1.385	26.00							
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	40.00		40.00	1.909	1.573	1.741		40.00						
合計			207.50						63.00	91.00	53.50					

# 本管路面復旧工数量計算書(1)

路線 番号	区 間		道路 種別	舗装	舗装厚 m	路盤厚 m	路線 延長 m	立抗等 控除 m	舗装 延長 m	上部 掘削幅 m	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊し工			Co舗装取壊し工			
	上流側	下流側									t	15<t	t	15<t	t	10<t	15<t	15<t	t	10<t	15<t
											15cm	30cm	15cm	30cm	10cm	15cm	40cm	10cm	15cm	35cm	
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	市道車道	As	0.04	0.29	37.00		37.00	0.95	74.00					35.15					
	7129-1-2	7129-1-3	市道車道	As	0.04	0.29	51.00		51.00	0.95	102.00					48.45					
	7129-1-3	7129-1-4	市道車道	As	0.04	0.29	53.50		53.50	0.95	107.00					50.83					
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	位置指定道路	As	0.04	0.29	26.00		26.00	0.95	52.00					24.70					
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	位置指定道路	As	0.04	0.29	40.00		40.00	0.95	80.00					38.00					
合計							207.50				415.00					197.13					

本管路面復旧工数量計算書(2)

路線番号	区間		As殻 運搬工 m3	As殻 処理工 2.35 t / m3 t	上層路盤工 (M-40)				下層路盤工 (RC-40)				サンドクッション (砂)		仮復旧工 (再生密粒度As13・20)		
	上流側	下流側			t=100 m2	t=110 m2	t=150 m2	t=200	t=100 m2	t=150 m2	t=190 m2	t=200 m2	t=20 m2	t=30 m2	t=30 m2	t=40 m2	t=50 m2
7129-1	7129-1-1	7129-1-2	1.41	3.31		35.15					35.15				35.15		
	7129-1-2	7129-1-3	1.94	4.56		48.45					48.45				48.45		
	7129-1-3	7129-1-4	2.03	4.77		50.83					50.83				50.83		
7129-2	7129-2-1	7129-1-2	0.99	2.33		24.70					24.70				24.70		
7129-3	7129-3-1	7129-1-3	1.52	3.57		38.00					38.00				38.00		
合計			7.89	18.54		197.13					197.13				197.13		

# 組立式1号マンホール数量計算書(1)

路線 番号	人孔 番号	人孔深 m	鉄蓋 T-25 H=110 組	組立式1号マンホール側塊											ブ ロ ク ク 高 m	イ ン パ ー ト m	副 管		調整金具		
				調整リング			斜壁		直壁			底塊(管取付壁)					底版	径 mm	高 m	25 個	45 個
				-C-a-10	-C-a-15	-C-a-20	-B-c-60A	-B-c-60B	-B-a-90A	-B-a-90B	-B-a-90C	-D-b-1	-D-b-2	-D-b-3			-D-d-1				
				H=100	H=150	H=200	H=300	H=450	H=300	H=600	H=900	H=600	H=900	H=1200			H=130				
7129-1	7129-1-1	1.388	小型塩ビマンホール																		
	7129-1-2	1.628	1	1			1							1	1	1.840	0.12			1	
	7129-1-3	2.087	1	1				1	1					1	1	2.290	0.12			1	
	7129-1-4		既設特1号マンホール																		
7129-2	7129-2-1	1.329	小型塩ビマンホール																		
7129-3	7129-3-1	1.806	小型塩ビマンホール																		
合計			2	2			1	1	1					2	2					2	

組立式1号マンホール数量計算書(2)

路線番号	人孔番号	人孔深 m	底部工 箇所	ブロック据付工					削孔工			
				H 3.0	3.0<H 4.0	4.0<H 5.0	5.0<H 6.0	6.0<H 7.0	VU 100	VU 150	VU 200	PRP 200
				箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	個	個	個	個
7129-1	7129-1-1	1.388	小型塩ビマンホール									
	7129-1-2	1.628	1	1						3		
	7129-1-3	2.087	1	1						3		
	7129-1-4	既設特1号マンホール										
7129-2	7129-2-1	1.329	小型塩ビマンホール									
7129-3	7129-3-1	1.806	小型塩ビマンホール									
合計			2	2						6		





取付管土工数量集計表(1)

路線番号	人孔番号	管種 口径	道路種別	舗装	舗装厚 m	路盤厚 m	汚水桝深 m	機械掘削工(路盤)				機械掘削工(砂質土)				機械掘削工(宅地内)			
								BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60
								m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3
7129-1	M1 小澤信一(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.23				0.68				1.05		
	M2 田中桃太郎(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.46				0.96		
	M3 熊川博明(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.90		0.22				0.49				1.11		
	M4 井堀信一(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.51				1.06		
	M5 渡邊武志(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.23				0.62				1.07		
	M6 吉田陽子(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.58				0.88		
	M7 山崎武実(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.47				1.31				1.12		
	M8 松本佳大(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.58				0.94		
	M9 武田秀子(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.70				2.11				2.93		
	M10 新妻ミツイ(宅)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.33				1.16				0.93		
	M11 (有) 齋藤(駐車場)	VU 150	市道車道	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.63				1.14		
7129-2	M12 只野章(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.45				1.39				2.93		
	M13 (有)三永地所建設(畑)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.29				0.87				2.52		
	M14 大坪勇彦(畑)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.30				0.64				0.55		
	M15 本庄豊和(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.49				1.14				1.00		
	M16 大坪勇彦(畑)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.30				0.64				0.51		
7129-3	M17 若林尚之(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.86				1.76		
	M18 佐藤健太郎(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.21				0.59				0.96		
	M19 木村浩之(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.71				2.13				1.00		
	M20 北林恒雄(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.22				0.37				0.82		
	M21 鈴木昌子(宅)	VU 150	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.80		0.27				0.65				0.90		
合計									6.74				18.41				26.14		

取付管土工数量集計表(2)

路線 番号	人 孔 番 号	管種 口径	管基礎 支承角	管下 基礎高	埋戻工(クリンカ)				埋戻工(発生土 クリンカ)				基礎工(クリンカ)		残土運搬工(掘削土量)				
					BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	管防護部	管基礎部	BH=0.10	BH=0.20	BH=0.35	BH=0.60	
					°	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3
7129-1	M1 小澤信一(宅)	VU 150	90	0.10		0.32				0.50			0.58	0.12					
	M2 田中桃太郎(宅)	VU 150	90	0.10		0.10				0.41			0.63	0.13					
	M3 熊川博明(宅)	VU 150	90	0.10		0.13				0.38			0.76	0.16					
	M4 井堀信一(宅)	VU 150	90	0.10		0.15				0.36			0.73	0.16					
	M5 渡邊武志(宅)	VU 150	90	0.10		0.27				0.51			0.67	0.14					
	M6 吉田陽子(宅)	VU 150	90	0.10		0.25				0.25			0.60	0.13					
	M7 山崎武実(宅)	VU 150	90	0.10		0.59				0.54			0.94	0.20					
	M8 松本佳大(宅)	VU 150	90	0.10		0.24				0.29			0.63	0.13					
	M9 武田秀子(宅)	VU 150	90	0.10		1.07				1.88			1.60	0.34					
	M10 新妻ミツイ(宅)	VU 150	90	0.10		0.68				0.51			0.74	0.16					
	M11 (有) 齋藤(駐車場)	VU 150	90	0.10		0.29				0.40			0.70	0.15					
7129-2	M12 只野章(宅)	VU 150	90	0.10		0.72				1.17			1.58	0.33					
	M13 (有)三永地所建設(畑)	VU 150	90	0.10		0.45				1.39			1.11	0.23					
	M14 大坪勇彦(畑)	VU 150	90	0.10		0.15				0.25			0.53	0.11					
	M15 本庄豊和(宅)	VU 150	90	0.10		0.36				0.26			1.10	0.23					
	M16 大坪勇彦(畑)	VU 150	90	0.10		0.14				0.23			0.60	0.13					
7129-3	M17 若林尚之(宅)	VU 150	90	0.10		0.56				0.89			0.60	0.13					
	M18 佐藤健太郎(宅)	VU 150	90	0.10		0.28				0.26			0.66	0.14					
	M19 木村浩之(宅)	VU 150	90	0.10		1.07				0.29			1.21	0.26					
	M20 北林恒雄(宅)	VU 150	90	0.10		0.01				0.15			0.61	0.13					
	M21 鈴木昌子(宅)	VU 150	90	0.10		0.22				0.32			0.63	0.13					
合計						8.05				11.24			17.21	3.64			18.41+26.14(掘削土量)		51.29

取付管及び汚水柵数量集計表(1)

路線番号	人孔番号	汚水柵タイプ	汚水柵深 m	公共柵		塩ビ柵 底板 (0.30×0.30)	柵基礎砕石 RC-40, t=10cm (0.50×0.50)	立管 (VU 200)	塩化ビニル製 防護蓋 200用、T-2	鋳鉄製 防護蓋 200用、T-14	鋳鉄蓋 用台座 200用	密閉式 内蓋 200用	蓋基礎砕石 RC-40, t=10cm (0.50×0.50)
				横型45°三方向合流柵 100×150P-200R	縦型90°三方向合流柵 100×150P-200R								
				個	個								
7129-1	M1 小澤信一(宅)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M2 田中桃太郎(宅)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M3 熊川博明(宅)	B	0.90	1		1	0.25	0.62		1	1	1	0.30
	M4 井堀信一(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M5 渡邊武志(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M6 吉田陽子(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M7 山崎武実(畑)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M8 松本佳大(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M9 武田秀子(宅)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M10 新妻ミツイ(宅)	C	0.80		1			0.65	1				
	M11 (有) 齋藤(駐車場)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
7129-2	M12 只野章(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M13 (有)三永地所建設(畑)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M14 大坪勇彦(畑)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M15 本庄豊和(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M16 大坪勇彦(畑)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
7129-3	M17 若林尚之(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M18 佐藤健太郎(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M19 木村浩之(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
	M20 北林恒雄(宅)	A	0.80	1		1	0.25	0.65	1				
	M21 鈴木昌子(宅)	B	0.80	1		1	0.25	0.52		1	1	1	0.30
合計			16.90	20	1	20	5.00	12.06	8	13	13	13	3.90

取付管及び汚水柵数量集計表(2)

路線番号	人孔番号	汚水柵タイプ	汚水柵深 m	90°可とう 受口支管	コンパクト 支管	0°自在 曲管	15°自在 曲管	30°自在 曲管	60°自在 曲管	75°自在 曲管	異径ソ ケット	管渠延長 m	ゴム輪受口片受直管 4.0m/本	取付管布設工				
				200-150	200-150	VU 150	VU 150	VU 150	VU 150	VU 150				150				
				個	個	個	個	個	個	個				L<3 箇所	3 L<5 箇所	5 L 箇所	延長 m	
7129-1	M1 小澤信一(宅)	A	0.80				2					1	2.19	0.6	1			2.19
	M2 田中桃太郎(宅)	A	0.80	1		1		1				2.38	0.6	1				2.38
	M3 熊川博明(宅)	B	0.90		1	1						2.86	0.8	1				2.86
	M4 井堀信一(宅)	B	0.80		1	1						2.77	0.7	1				2.77
	M5 渡邊武志(宅)	B	0.80	1		1		1				2.51	0.7	1				2.51
	M6 吉田陽子(宅)	B	0.80	1		1		1				2.28	0.6	1				2.28
	M7 山崎武実(畑)	A	0.80	1		1		1				3.55	0.9		1			3.55
	M8 松本佳大(宅)	B	0.80	1		1		1				2.38	0.6	1				2.38
	M9 武田秀子(宅)	A	0.80	1		1			1			6.02	1.6			1		6.02
	M10 新妻ミツイ(宅)	C	0.80	1					1	1		3.10	0.8		1			3.10
	M11 (有) 齋藤(駐車場)	B	0.80	1		1			1			2.64	0.7	1				2.64
7129-2	M12 只野章(宅)	B	0.80				2					1	5.97	1.5			1	5.97
	M13 (有)三永地所建設(畑)	B	0.80				2					1	4.18	1.1		1		4.18
	M14 大坪勇彦(畑)	A	0.80	1		1		1				2.01	0.6	1				2.01
	M15 本庄豊和(宅)	B	0.80		1	1						4.15	1.1		1			4.15
	M16 大坪勇彦(畑)	A	0.80		1	1						2.28	0.6	1				2.28
7129-3	M17 若林尚之(宅)	B	0.80				2					1	2.27	0.6	1			2.27
	M18 佐藤健太郎(宅)	B	0.80	1			1	1				2.48	0.7	1				2.48
	M19 木村浩之(宅)	B	0.80	1		1		1				4.57	1.2		1			4.57
	M20 北林恒雄(宅)	A	0.80	1		1			1			2.59	0.7	1				2.59
	M21 鈴木昌子(宅)	B	0.80	1		1			1			2.36	0.6	1				2.36
合計			16.90	13	4	15	9	8	5	1	4	65.54	17.3	14	5	2	65.54	

取付路面復旧工数量集計表(1)

路線番号	人孔番号	道路種別	舗装	舗装厚 m	路盤厚 m	As殻 運搬工 m3	As殻 処理工 t	Co殻 運搬工 m3	Co殻 処理工 t	As舗装切断工		Co舗装切断工		As舗装取壊工			Co舗装取壊工			
										t 15cm	15 < t 30cm	t 15cm	15 < t 30cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 40cm	t 10cm	10 < t 15cm	15 < t 35cm	
										m	m	m	m	m2	m2	m2	m3	m3	m3	
7129-1	M1 小澤信一(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.08			2.06				0.84						
	M2 田中桃太郎(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.07			2.06				0.78						
	M3 熊川博明(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.07			2.08				0.80						
	M4 井堀信一(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.08			2.08				0.80						
	M5 渡邊武志(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.08			2.06				0.83						
	M6 吉田陽子(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.03	0.07	0.11	0.26	1.94		3.02		0.78				0.11		
	M7 山崎武実(畑)	市道車道	As	0.04	0.29	0.07	0.16			4.24				1.71						
	M8 松本佳大(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.08	0.18			5.12				1.96						
	M9 武田秀子(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.10	0.24			6.06				2.51						
	M10 新妻ミツイ(宅)	市道車道	As	0.04	0.29	0.05	0.11	0.08	0.19	2.78		1.96		1.20				0.08		
	M11(有) 齋藤(駐車場)	市道車道	As	0.04	0.29	0.09	0.21			5.50				2.14						
7129-2	M12 只野章(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.07	0.15	0.33	0.78	3.88		8.42		1.62				0.33		
	M13(有)三永地所建設(畑)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.04	0.10			2.48				1.03						
	M14 大坪勇彦(畑)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.04	0.10			2.88				1.09						
	M15 本庄豊和(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.07	0.17	0.13	0.31	4.56		3.58		1.77				0.13		
	M16 大坪勇彦(畑)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.04	0.10			2.90				1.10						
7129-3	M17 若林尚之(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.03	0.07			1.72				0.78						
	M18 佐藤健太郎(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.03	0.07	0.13	0.31	1.84		3.34		0.75				0.13		
	M19 木村浩之(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.10	0.24	0.13	0.31	6.20		3.46		2.56				0.13		
	M20 北林恒雄(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.03	0.07	0.12	0.28	2.14		3.26		0.78				0.12		
	M21 鈴木昌子(宅)	位置指定道路	As	0.04	0.29	0.04	0.09			2.46				0.96						
合計						1.06	2.51	1.03	2.44	67.04		27.04		26.79				1.03		

取付管路面復旧工数量集計表(2)

路線番号	人孔番号	市道部・位置指定道路部								宅地内						
		上層路盤工 (M-40)			下層路盤工 (RC-40)			仮復旧工 (再生密粒度13)		As舗装	As舗装路盤	Co舗装	Co舗装路盤	敷碎石		
		t=100 m2	t=110 m2	t=150 m2	t=100 m2	t=150 m2	t=190 m2	t=30 m2	t=40 m2	t=40 m2	RC-40, t=10cm	(18-8-40BB)	RC-40, t=10cm	RC-40, t=10cm		
7129-1	M1	小澤信一(宅)	0.84				0.81	0.84								
	M2	田中桃太郎(宅)	0.78				0.75	0.78								
	M3	熊川博明(宅)	0.79				0.77	0.80							1.31	
	M4	井堀信一(宅)	0.80				0.77	0.80							1.25	
	M5	渡邊武志(宅)	0.82				0.80	0.83								
	M6	吉田陽子(宅)	0.77				0.75	0.78				0.11	1.11			
	M7	山崎武実(畑)	1.70				1.65	1.71								
	M8	松本佳大(宅)	0.78				0.76	0.79		1.17	1.16					
	M9	武田秀子(宅)	2.49				2.42	2.51								
	M10	新妻ミツイ(宅)	1.19				1.16	1.20				0.08	0.81			
	M11	(有) 齋藤(駐車場)	0.78				0.76	0.79		1.35	1.33					
7129-2	M12	只野章(宅)	1.60				1.56	1.62				0.33	3.21			
	M13	(有)三永地所建設(畑)	1.02				0.99	1.03								
	M14	大坪勇彦(畑)	1.08				1.05	1.09								
	M15	本庄豊和(宅)	1.75				1.70	1.77				0.13	1.30			
	M16	大坪勇彦(畑)	1.09				1.06	1.10								
7129-3	M17	若林尚之(宅)	0.77				0.75	0.78							1.67	
	M18	佐藤健太郎(宅)	0.74				0.72	0.75				0.13	1.22			
	M19	木村浩之(宅)	2.54				2.47	2.56				0.13	1.26			
	M20	北林恒雄(宅)	0.78				0.75	0.78				0.12	1.16			
	M21	鈴木昌子(宅)	0.95				0.93	0.96							1.05	
	合計		24.06				23.38	24.27		2.52	2.49	1.03	10.07		5.28	

路線番号 (7129-1) 位置

M1

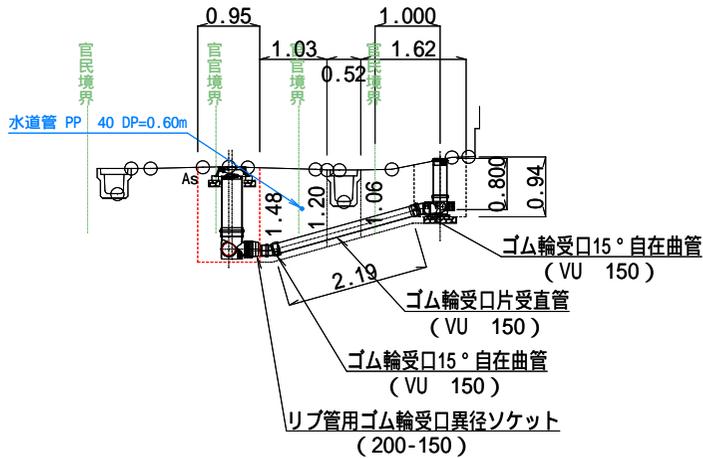
1 箇所

H = 0.80m

( 小澤信一 宅 )

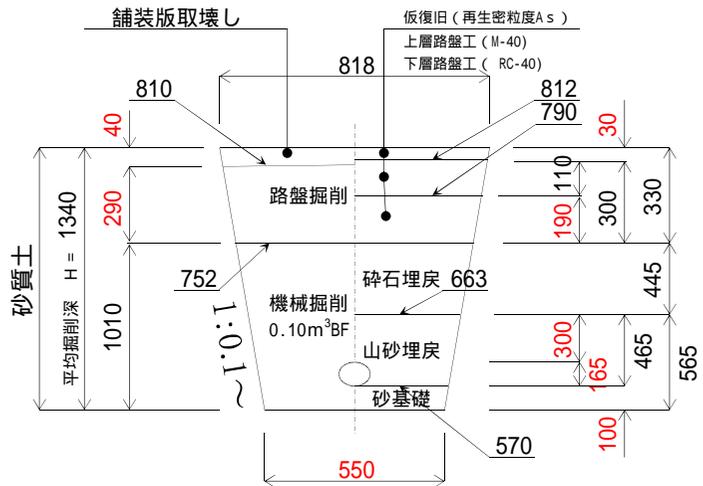
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.185 m 車道舗装延長 L = 1.03 m  
 取付管延長 L = 2.19 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.03 × 2	2.06 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.818 × 1.03	0.84 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.81+0.752) × 1/2 × 0.29 × 1.03	0.23 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.752+0.55) × 1/2 × 1.01 × 1.03	0.68 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.75+0.55) × 1/2 × 1 × 1.62	1.05 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.19	0.12 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.19	0.58 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.752+0.663) × 1/2 × 0.445 × 1.03	0.32 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.75+0.663) × 1/2 × 0.435 × 1.62	0.50 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.23 + 0.68 + 1.05) - 0.5 × 1.11	1.41 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.84 × 0.04	0.034 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.034 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.080 t
管 布 設 工	管渠延長		2.19 m
	直管VU 150 (L = 4.0m)	2.19 ÷ 4.00m/本	0.6 本
	15°自在曲管 (VU 150)		2 個
	異径ソケット (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1480 + 1200 ) × 1/2 = 1340 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M2

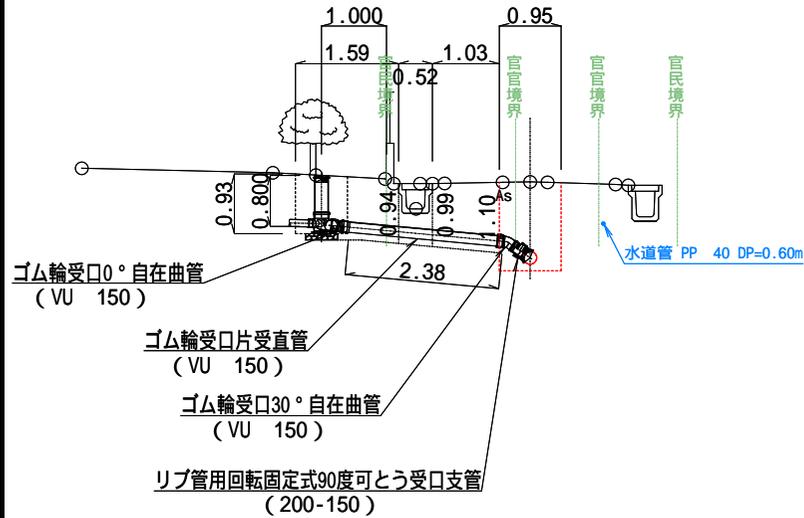
1 箇所

H = 0.80m

( 田中桃太郎 宅 )

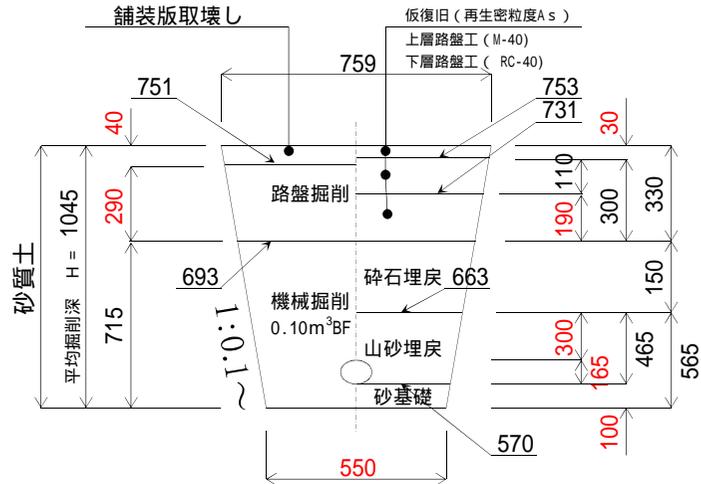
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.084 m 車道舗装延長 L = 1.03 m  
 取付管延長 L = 2.38 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.03 × 2	2.06 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.759 × 1.03	0.78 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	$(0.751+0.693) \times 1/2 \times 0.29 \times 1.03$	0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	$(0.693+0.55) \times 1/2 \times 0.715 \times 1.03$	0.46 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	$(0.737+0.55) \times 1/2 \times 0.935 \times 1.59$	0.96 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	$(0.57+0.55) \times 1/2 \times 0.1 \times 2.38$	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	$((0.663+0.57) \times 1/2 \times 0.465 - 0.165^2 \times /4) \times 2.38$	0.63 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	$(0.693+0.663) \times 1/2 \times 0.15 \times 1.03$	0.10 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	$(0.737+0.663) \times 1/2 \times 0.37 \times 1.59$	0.41 m <sup>3</sup>
残土	土砂	$(0.22+0.46+0.96) - 0.41 \times 1.11$	1.18 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.78 × 0.04	0.031 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.031 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.073 t
管 布 設 工	管渠延長		2.38 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.38 ÷ 4.00m/本	0.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 990 + 1100 ) × 1/2 = 1045 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M3

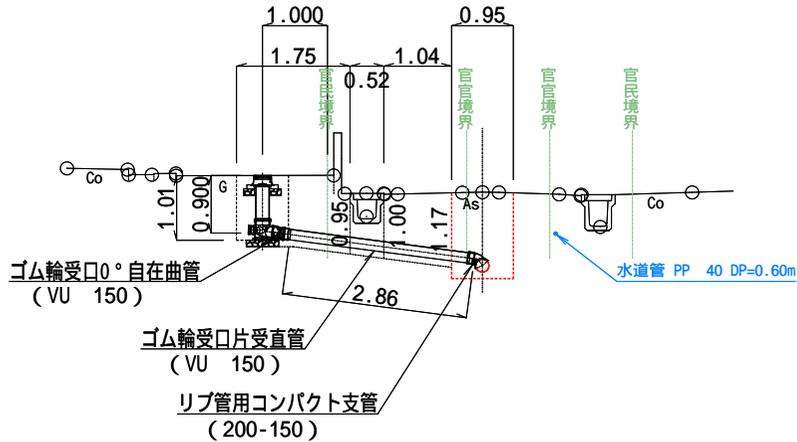
1 個所

H = 0.90m

( 熊川博明 宅 )

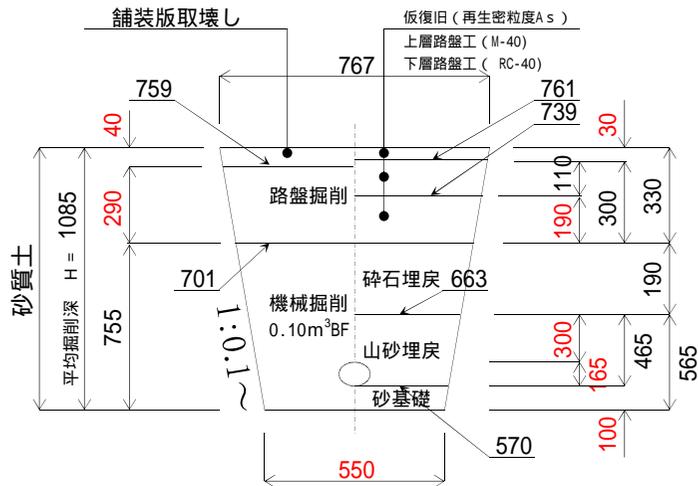
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.047 m 車道舗装延長 L = 1.04 m  
 取付管延長 L = 2.86 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.04 × 2	2.08 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.767 × 1.04	0.80 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.759+0.701) × 1/2 × 0.29 × 1.04	0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.701+0.55) × 1/2 × 0.755 × 1.04	0.49 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.746+0.55) × 1/2 × 0.98 × 1.75	1.11 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.86	0.16 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.86	0.76 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.701+0.663) × 1/2 × 0.19 × 1.04	0.13 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.726+0.663) × 1/2 × 0.315 × 1.75	0.38 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.22 + 0.49 + 1.11) - 0.38 × 1.11	1.40 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.8 × 0.04	0.03 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.03 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.07 t
管 布 設 工	管渠延長		2.86 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.86 ÷ 4.00m/本	0.8 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	コンパクト支管 (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1000 + 1170 ) × 1/2 = 1085 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M4

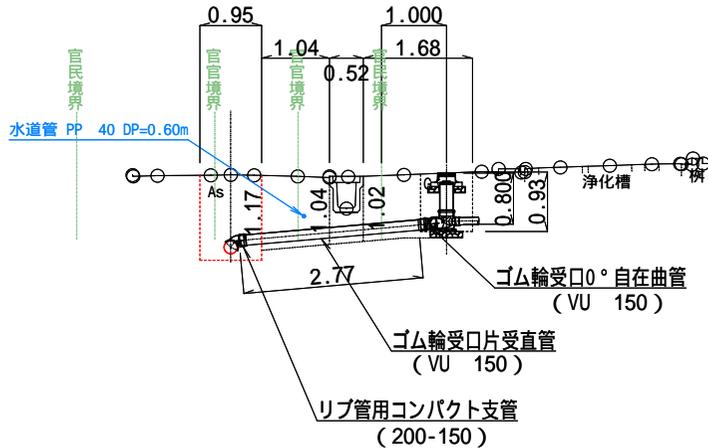
1 箇所

H = 0.80m

(井堀信一宅)

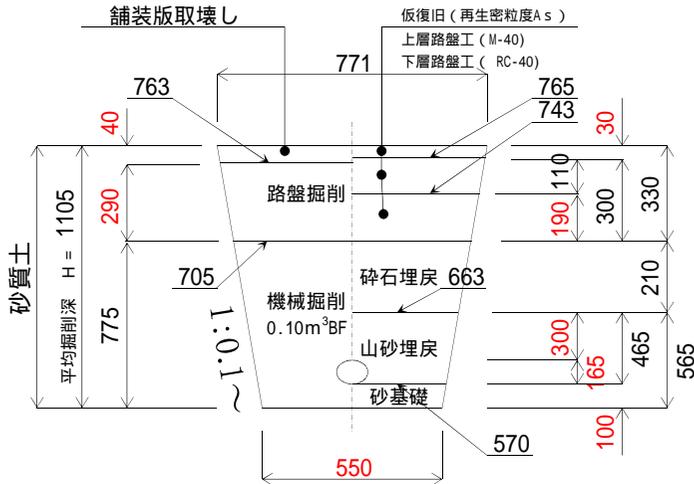
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.028 m 車道舗装延長 L = 1.04 m  
 取付管延長 L = 2.77 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破 碎 工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.04 × 2	2.08 m
	舗装版破碎工 (As = 10cmまで)	0.771 × 1.04	0.80 m <sup>2</sup>
掘 削 工	礫質土 (道路)	(0.763+0.705) × 1/2 × 0.29 × 1.04	0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.705+0.55) × 1/2 × 0.775 × 1.04	0.51 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.745+0.55) × 1/2 × 0.975 × 1.68	1.06 m <sup>3</sup>
埋 戻 工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.77	0.16 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.77	0.73 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.705+0.663) × 1/2 × 0.21 × 1.04	0.15 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.725+0.663) × 1/2 × 0.31 × 1.68	0.36 m <sup>3</sup>
残 土	土砂	(0.22 + 0.51 + 1.06) - 0.36 × 1.11	1.39 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.8 × 0.04	0.032 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.032 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.075 t
管 布 設 工	管渠延長		2.77 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.77 ÷ 4.00m/本	0.7 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	コンパクト支管 (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1170 + 1040 ) × 1/2 = 1105 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M5

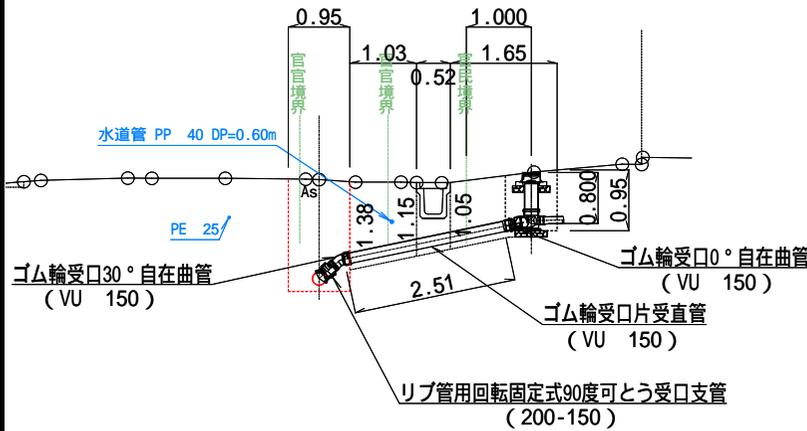
1 箇所

H = 0.80m

( 渡邊武志 宅 )

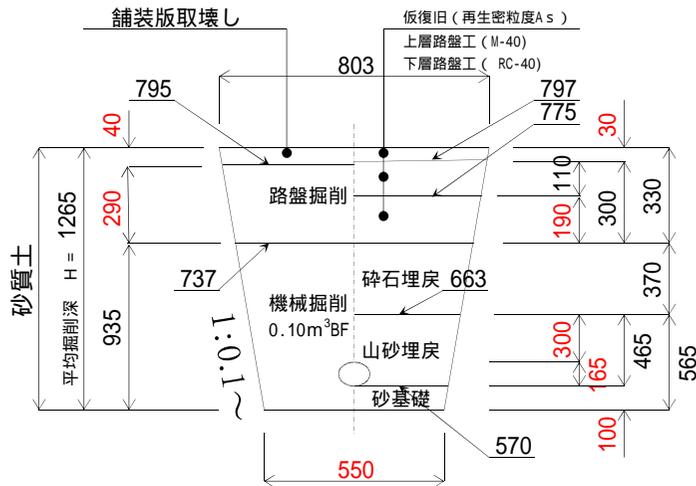
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.447 m 車道舗装延長 L = 1.03 m  
取付管延長 L = 2.51 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破 碎 工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.03 × 2	2.06 m
	舗装版破碎工 (As = 10cmまで)	0.803 × 1.03	0.83 m <sup>2</sup>
掘 削 工	礫質土 (道路)	$(0.795+0.737) \times 1/2 \times 0.29 \times 1.03$	0.23 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	$(0.737+0.55) \times 1/2 \times 0.935 \times 1.03$	0.62 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	$(0.75+0.55) \times 1/2 \times 1 \times 1.65$	1.07 m <sup>3</sup>
埋 戻 工	山砂基礎	$(0.57+0.55) \times 1/2 \times 0.1 \times 2.51$	0.14 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	$((0.663+0.57) \times 1/2 \times 0.465 - 0.165^2 \times /4) \times 2.51$	0.67 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	$(0.737+0.663) \times 1/2 \times 0.37 \times 1.03$	0.27 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	$(0.75+0.663) \times 1/2 \times 0.435 \times 1.65$	0.51 m <sup>3</sup>
残 土	土砂	$(0.23+0.62+1.07) - 0.51 \times 1.11$	1.35 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.83 × 0.04	0.033 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.033 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.078 t
管 布 設 工	管渠延長		2.51 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.51 ÷ 4.00m/本	0.7 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1380 + 1150 ) × 1/2 = 1265 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M6

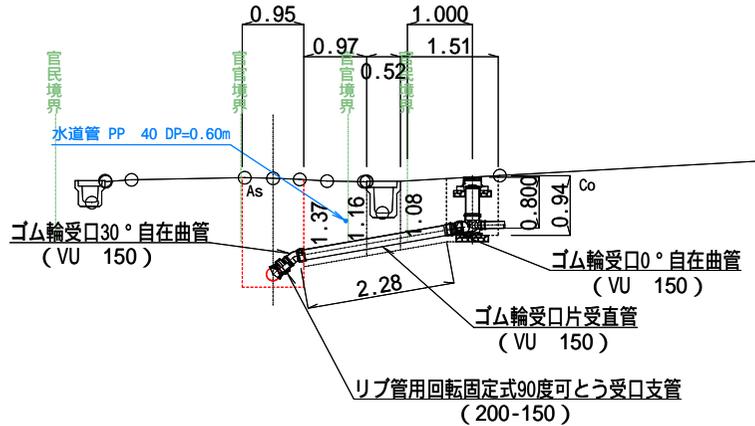
1 箇所

H = 0.80m

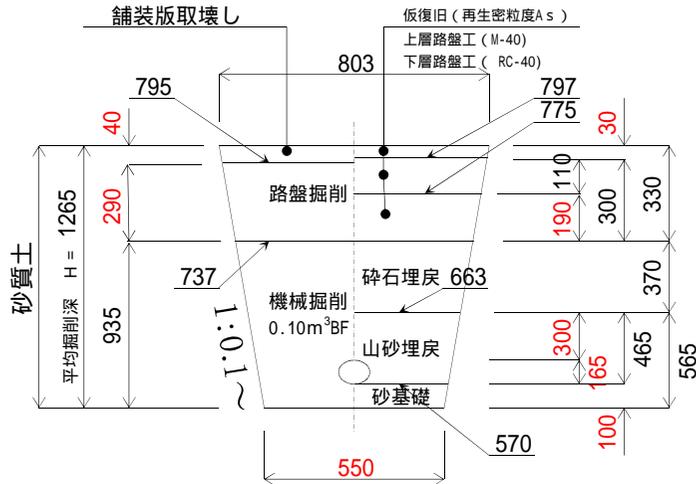
( 吉田陽子 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.402 m 車道舗装延長 L = 0.97 m  
 取付管延長 L = 2.28 m



取付管平均掘削深 H = ( 1370 + 1160 ) × 1/2 = 1265 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	0.97 × 2	1.94 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	1.51 × 2	3.02 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.803 × 0.97	0.78 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.752 × 0.1 × 1.51	0.11 m <sup>3</sup>
	礫質土 (道路)	(0.795+0.737) × 1/2 × 0.29 × 0.97	0.22 m <sup>3</sup>
掘削工	砂質土 (道路)	(0.737+0.55) × 1/2 × 0.935 × 0.97	0.58 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.732+0.55) × 1/2 × 0.91 × 1.51	0.88 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.28	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.28	0.60 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.737+0.663) × 1/2 × 0.37 × 0.97	0.25 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.712+0.663) × 1/2 × 0.245 × 1.51	0.25 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.22 + 0.58 + 0.88) - 0.25 × 1.11	1.40 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.78 × 0.04	0.031 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.110 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.031 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.073 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.11 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.259 t
	管渠延長		2.28 m
	直管VU 150 (L = 4.00m)	2.28 ÷ 4.00m/本	0.6 本
管 布 設 工	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-1) 位置

M7

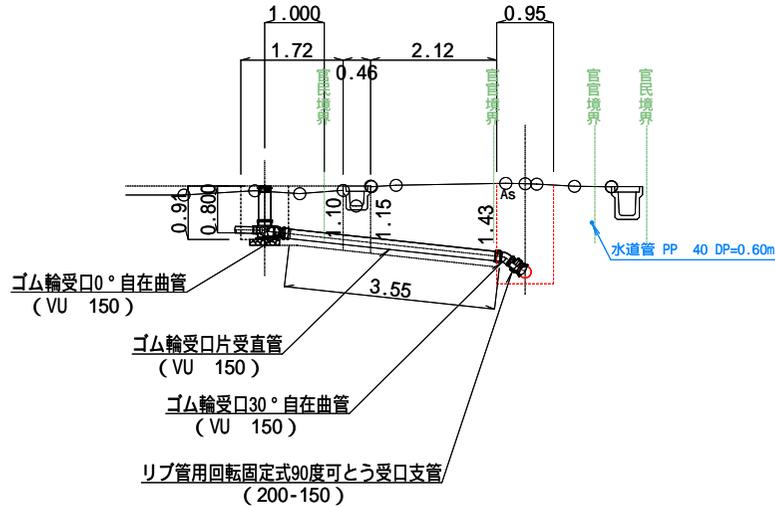
1 箇所

H = 0.80m

( 山崎武実 宅 )

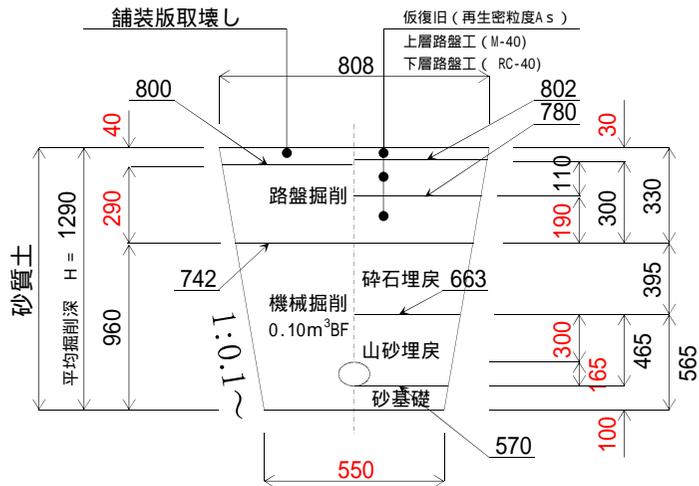
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.403 m 車道舗装延長 L = 2.12 m  
 取付管延長 L = 3.55 m



種 別	計 算 式	数 量
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	2.12 × 2 4.24 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.808 × 2.12 1.71 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.8+0.742) × 1/2 × 0.29 × 2.12 0.47 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.742+0.55) × 1/2 × 0.96 × 2.12 1.31 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.751+0.55) × 1/2 × 1.005 × 1.72 1.12 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 3.55 0.20 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 3.55 0.94 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.742+0.663) × 1/2 × 0.395 × 2.12 0.59 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.751+0.663) × 1/2 × 0.44 × 1.72 0.54 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.47+1.31+1.12) - 0.54 × 1.11 2.30 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.71 × 0.04 0.068 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.068 × 2.35 t / m <sup>3</sup> 0.160 t
管 布 設 工	管渠延長	3.55 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	3.55 ÷ 4.00m/本 0.9 本
	0°自在曲管 (VU 150)	1 個
	30°自在曲管 (VU 150)	1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)	1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1150 + 1430 ) × 1/2 = 1290 mm





路線番号 (7129-1) 位置

M8

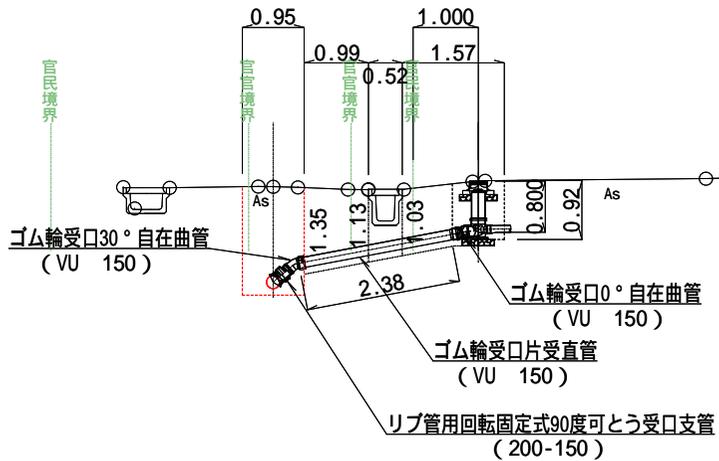
1 個所

H = 0.80m

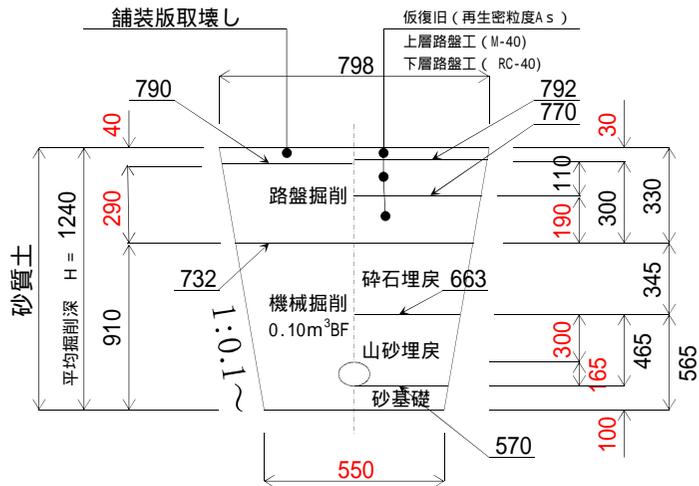
( 松本佳大宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.389 m 車道舗装延長 L = 0.99 m  
 取付管延長 L = 2.38 m



取付管平均掘削深 H = ( 1350 + 1130 ) × 1/2 = 1240 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破 碎 工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	$(0.99 + 1.57) \times 2$	5.12 m
	舗装版破碎工 (As = 10cmまで)	$0.798 \times 0.99 + 0.745 \times 1.57$	1.96 m <sup>2</sup>
掘 削 工	礫質土 (道路)	$(0.79 + 0.732) \times 1/2 \times 0.29 \times 0.99$	0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	$(0.732 + 0.55) \times 1/2 \times 0.91 \times 0.99$	0.58 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	$(0.737 + 0.55) \times 1/2 \times 0.935 \times 1.57$	0.94 m <sup>3</sup>
埋 戻 工	山砂基礎	$(0.57 + 0.55) \times 1/2 \times 0.1 \times 2.38$	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	$((0.663 + 0.57) \times 1/2 \times 0.465 - 0.165^2 \times /4) \times 2.38$	0.63 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	$(0.732 + 0.663) \times 1/2 \times 0.345 \times 0.99$	0.24 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	$(0.717 + 0.663) \times 1/2 \times 0.27 \times 1.57$	0.29 m <sup>3</sup>
残 土	土砂	$(0.22 + 0.58 + 0.94) - 0.29 \times 1.11$	1.42 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	$1.96 \times 0.04$	0.078 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	$0.078 \times 2.35 \text{ t/m}^3$	0.183 t
管 布 設 工	管渠延長		2.38 m
	直管VU 150 (L = 4.0m)	$2.38 \div 4.00 \text{m/本}$	0.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-1) 位置

M9

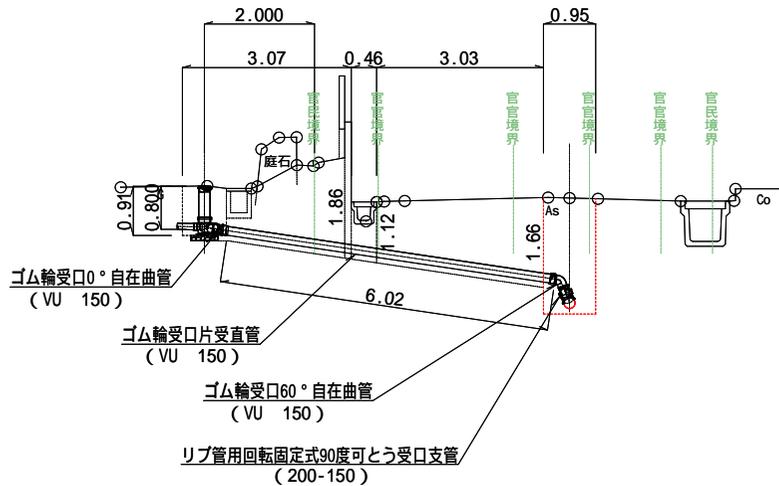
1 個所

H = 0.80m

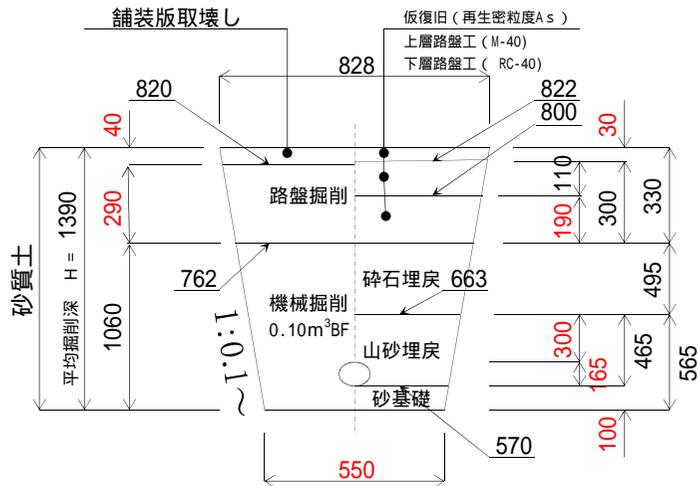
( 武田秀子 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.840 m 車道舗装延長 L = 3.03 m  
 取付管延長 L = 6.02 m



取付管平均掘削深 H = ( 1120 + 1660 ) × 1/2 = 1390 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	3.03 × 2	6.06 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.828 × 3.03	2.51 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.82+0.762) × 1/2 × 0.29 × 3.03	0.70 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.762+0.55) × 1/2 × 1.06 × 3.03	2.11 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.827+0.55) × 1/2 × 1.385 × 3.07	2.93 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 6.02	0.34 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 6.02	1.60 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.762+0.663) × 1/2 × 0.495 × 3.03	1.07 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.827+0.663) × 1/2 × 0.82 × 3.07	1.88 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.7 + 2.11 + 2.93) - 1.88 × 1.11	3.65 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	2.51 × 0.04	0.10 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	0.1 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.24 t
管 布 設 工	管渠延長		6.02 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	6.02 ÷ 4.00m/本	1.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	60°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-1) 位置

M10

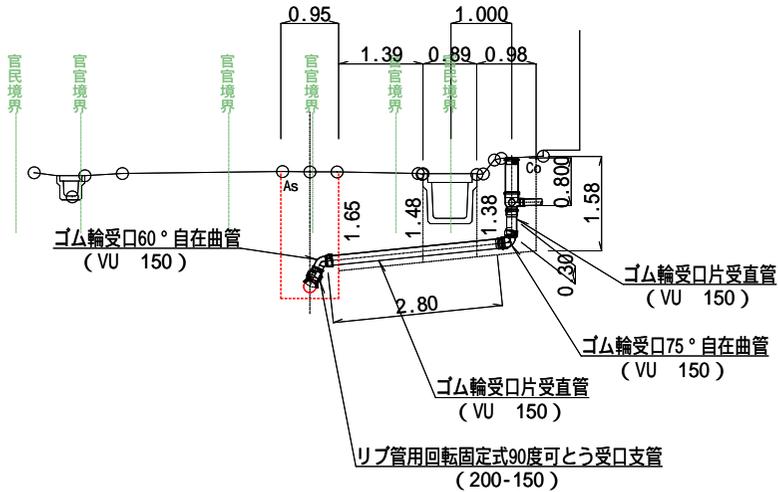
1 個所

H = 0.80m

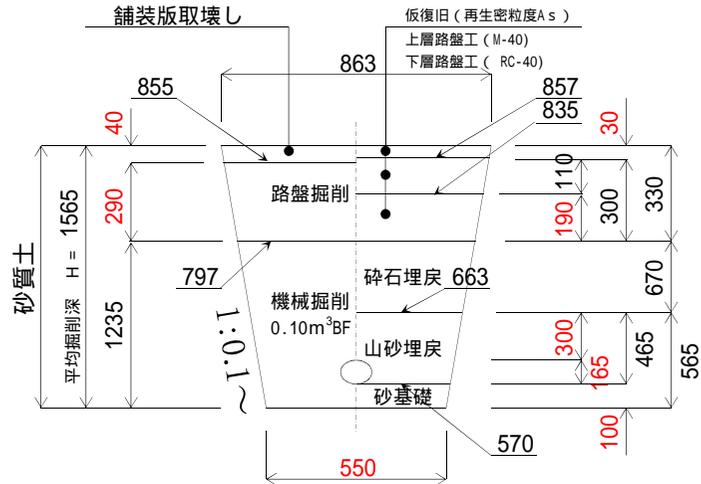
( 新妻 Mitsui 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.814 m 車道舗装延長 L = 1.39 m  
 取付管延長 L = 2.80 m



取付管平均掘削深 H = ( 1650 + 1480 ) × 1/2 = 1565 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.39 × 2	2.78 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	0.98 × 2	1.96 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.863 × 1.39	1.20 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.846 × 0.1 × 0.98	0.08 m <sup>3</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.855+0.797) × 1/2 × 0.29 × 1.39	0.33 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.797+0.55) × 1/2 × 1.235 × 1.39	1.16 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.826+0.55) × 1/2 × 1.38 × 0.98	0.93 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.8	0.16 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.8	0.74 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.797+0.663) × 1/2 × 0.67 × 1.39	0.68 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.806+0.663) × 1/2 × 0.715 × 0.98	0.51 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.33+1.16+0.93) - 0.51 × 1.11	1.85 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.2 × 0.04	0.048 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.08 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.048 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.11 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.08 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.19 t
	管渠延長	2.80 + 0.30	3.10 m
管 布 設 工	直管VU 150 (L=4.0m)	3.1 ÷ 4.0m/本	0.8 本
	60°自在曲管 (VU 150)		1 個
	75°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 ( 7129-1 ) 位置

M11

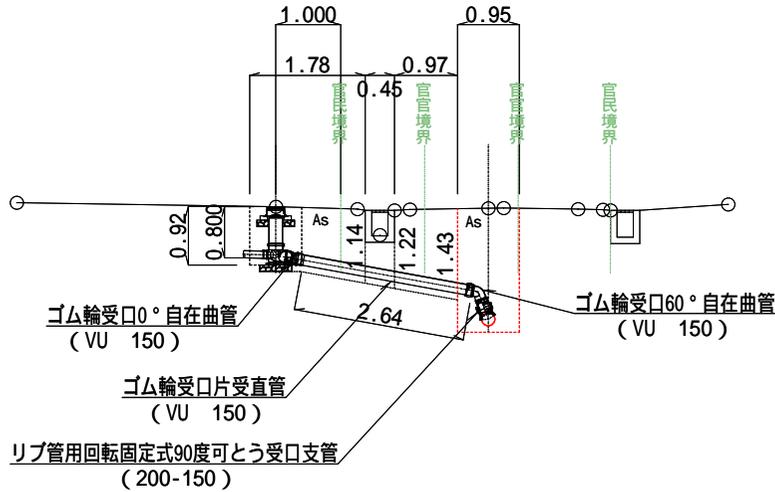
1 個所

H = 0.80m

( 有限会社 齋藤 )

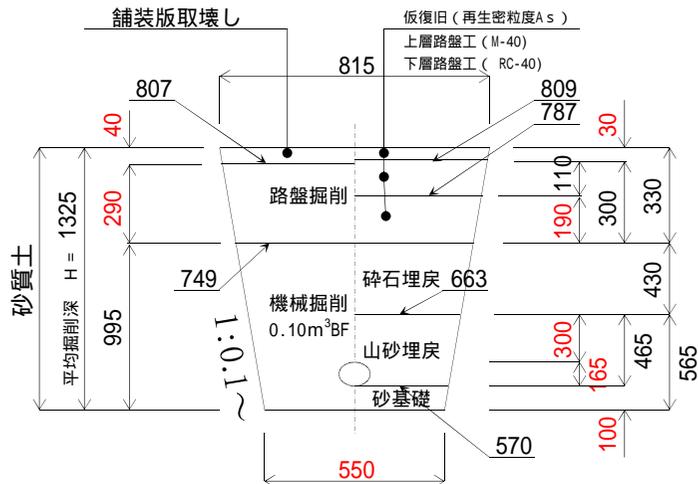
1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.635 m 車道舗装延長 L = 0.97 m  
取付管延長 L = 2.64 m



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	$(0.97 + 1.78) \times 2$	5.50 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	$0.815 \times 0.97 + 0.756 \times 1.78$	2.14 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	$(0.807 + 0.749) \times 1/2 \times 0.29 \times 0.97$	0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	$(0.749 + 0.55) \times 1/2 \times 0.995 \times 0.97$	0.63 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	$(0.748 + 0.55) \times 1/2 \times 0.99 \times 1.78$	1.14 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	$(0.57 + 0.55) \times 1/2 \times 0.1 \times 2.64$	0.15 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	$((0.663 + 0.57) \times 1/2 \times 0.465 - 0.165^2 \times /4) \times 2.64$	0.70 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	$(0.749 + 0.663) \times 1/2 \times 0.43 \times 0.97$	0.29 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	$(0.728 + 0.663) \times 1/2 \times 0.325 \times 1.78$	0.40 m <sup>3</sup>
残土	土砂	$(0.22 + 0.63 + 1.14) - 0.4 \times 1.11$	1.55 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	$2.14 \times 0.04$	0.09 m <sup>3</sup>
	産廃処分費	$0.09 \times 2.35 \text{ t / m}^3$	0.21 t
管 布 設 工	管渠延長		2.64 m
	直管VU 150 (L = 4.0m)	$2.64 \div 4.00 \text{m / 本}$	0.7 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	60°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個

取付管平均掘削深 H = ( 1220 + 1430 ) × 1/2 = 1325 mm





路線番号 ( 7129-2 ) 位置

M12

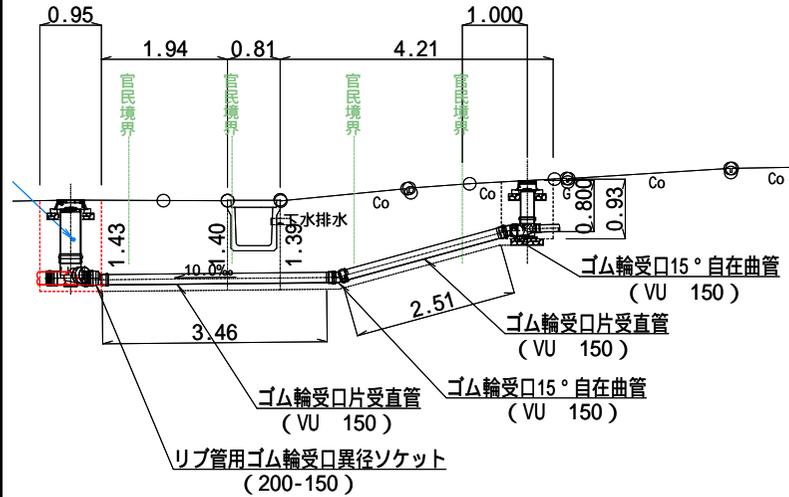
1 個所

H = 0.80m

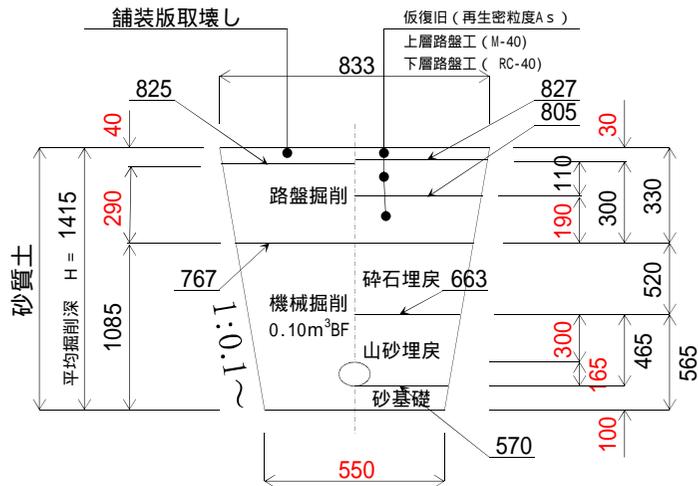
( 只野章 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.126 m 車道舗装延長 L = 1.94 m  
 取付管延長 L = 5.97 m



取付管平均掘削深 H = ( 1430 + 1400 ) × 1/2 = 1415 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.94 × 2	3.88 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	4.21 × 2	8.42 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.833 × 1.94	1.62 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.782 × 0.1 × 4.21	0.33 m <sup>3</sup>
	掘削工	礫質土 (道路)	(0.825+0.767) × 1/2 × 0.29 × 1.94
掘削工	砂質土 (道路)	(0.767+0.55) × 1/2 × 1.085 × 1.94	1.39 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.762+0.55) × 1/2 × 1.06 × 4.21	2.93 m <sup>3</sup>
	埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 5.97
埋戻工	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × 1/4) × 5.97	1.58 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.767+0.663) × 1/2 × 0.52 × 1.94	0.72 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.742+0.663) × 1/2 × 0.395 × 4.21	1.17 m <sup>3</sup>
	残土	土砂	(0.45 + 1.39 + 2.93) - 1.17 × 1.11
残土	As殻運搬	1.62 × 0.04	0.065 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.330 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.065 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.153 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.33 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.776 t
	管渠延長		5.97 m
管布設工	直管VU 150 (L=4.0m)	5.97 ÷ 4.00m/本	1.5 本
	15°自在曲管 (VU 150)		2 個
	異径ソケット (200-150)		1 個



路線番号 (7129-2) 位置

M13

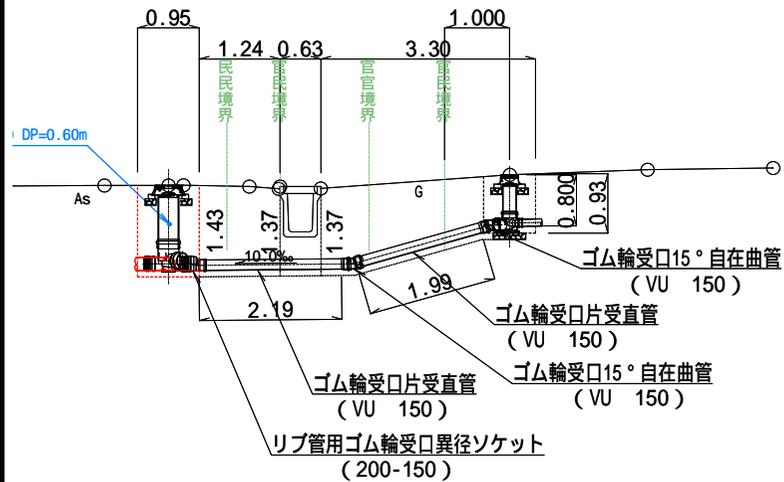
1 箇所

H = 0.80m

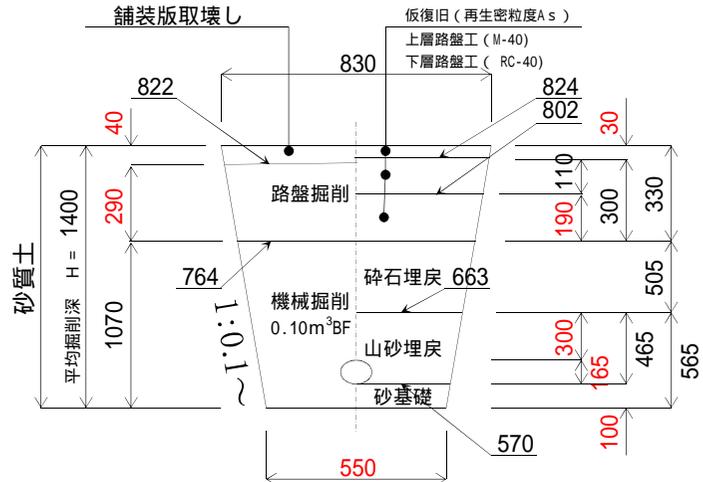
( 有限会社 三永地所建設 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.126 m 車道舗装延長 L = 1.24 m  
 取付管延長 L = 4.18 m



取付管平均掘削深 H = ( 1430 + 1370 ) × 1/2 = 1400 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破碎工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.24 × 2	2.48 m
	舗装版破碎工 (As = 10cmまで)	0.83 × 1.24	1.03 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.822+0.764) × 1/2 × 0.29 × 1.24	0.29 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.764+0.55) × 1/2 × 1.07 × 1.24	0.87 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.78+0.55) × 1/2 × 1.15 × 3.3	2.52 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 4.18	0.23 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 4.18	1.11 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.764+0.663) × 1/2 × 0.505 × 1.24	0.45 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.78+0.663) × 1/2 × 0.585 × 3.3	1.39 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.29 + 0.87 + 2.52) - 1.39 × 1.11	2.14 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.03 × 0.04	0.041 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.041 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.096 t
管 布 設 工	管渠延長		4.18 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	4.18 ÷ 4.00m/本	1.1 本
	15°自在曲管 (VU 150)		2 個
	異径ソケット (200-150)		1 個



路線番号 (7129-2) 位置

M14

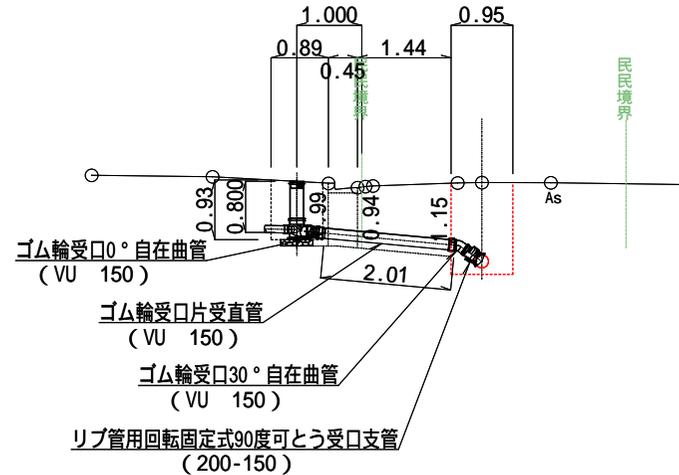
1 個所

H = 0.80m

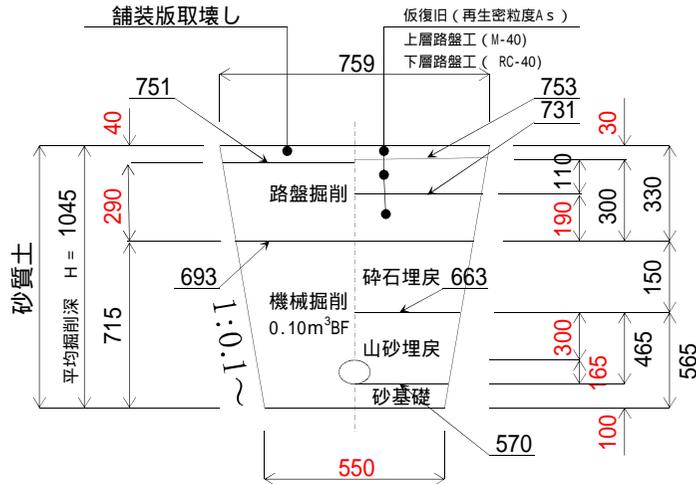
( 大坪勇彦 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.131 m 車道舗装延長 L = 1.44 m  
 取付管延長 L = 2.01 m



取付管平均掘削深 H = ( 1150 + 940 ) × 1/2 = 1045 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.44 × 2	2.88 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.759 × 1.44	1.09 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.751+0.693) × 1/2 × 0.29 × 1.44	0.30 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.693+0.55) × 1/2 × 0.715 × 1.44	0.64 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.742+0.55) × 1/2 × 0.96 × 0.89	0.55 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.01	0.11 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.01	0.53 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.693+0.663) × 1/2 × 0.15 × 1.44	0.15 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.742+0.663) × 1/2 × 0.395 × 0.89	0.25 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.3 + 0.64 + 0.55) - 0.25 × 1.11	1.21 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.09 × 0.04	0.044 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.044 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.103 t
管 布 設 工	管渠延長		2.01 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.01 ÷ 4.00m/本	0.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
90°可とう受口支管 (200-150)		1 個	

1ヶ所当り

	種 別		計 算 式		数 量	
	舗装復旧工	仮復旧舗装工 (As=3cm)	$0.759 \times 1.44$		1.09 m <sup>2</sup>	
		上層路盤工 (粒調 t=11cm)	$0.753 \times 1.44$		1.08 m <sup>2</sup>	
		下層路盤工 (RC-40 t=19cm)	$0.731 \times 1.44$		1.05 m <sup>2</sup>	

930

890

990

取付管平均掘削深  $H = ( 930 + 990 ) \times 1/2 = 960$  mm

路線番号 (7129-2) 位置

M15

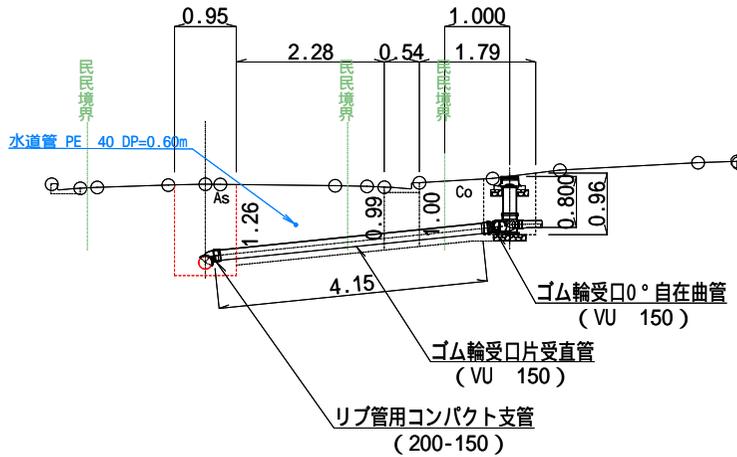
1 個所

H = 0.80m

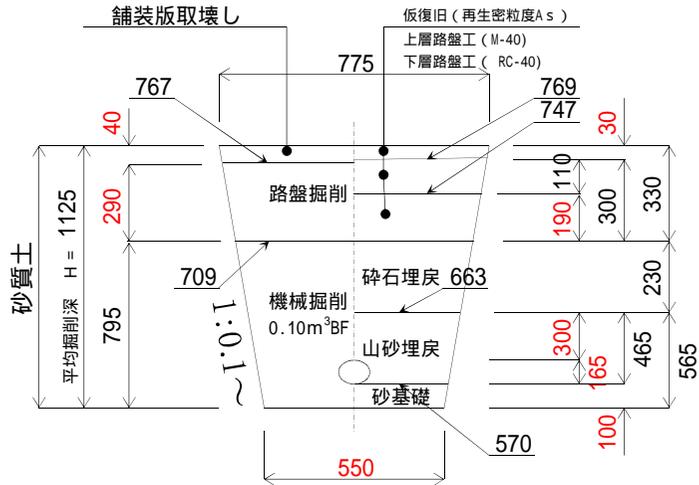
( 本庄豊和 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.122 m 車道舗装延長 L = 2.28 m  
 取付管延長 L = 4.15 m



取付管平均掘削深 H = ( 1260 + 990 ) × 1/2 = 1125 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	2.28 × 2	4.56 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	1.79 × 2	3.58 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.775 × 2.28	1.77 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.746 × 0.1 × 1.79	0.13 m <sup>3</sup>
	掘削工		
掘削工	礫質土 (道路)	(0.767+0.709) × 1/2 × 0.29 × 2.28	0.49 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.709+0.55) × 1/2 × 0.795 × 2.28	1.14 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.726+0.55) × 1/2 × 0.88 × 1.79	1.00 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 4.15	0.23 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 4.15	1.10 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.709+0.663) × 1/2 × 0.23 × 2.28	0.36 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.706+0.663) × 1/2 × 0.215 × 1.79	0.26 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.49 + 1.14 + 1) - 0.26 × 1.11	2.34 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.77 × 0.04	0.071 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.130 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.071 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.167 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.13 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.306 t
	管渠延長		4.15 m
	管 布 設 工	直管VU 150 (L = 4.0m)	4.15 ÷ 4.00m/本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	コンパクト支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-2) 位置

M16

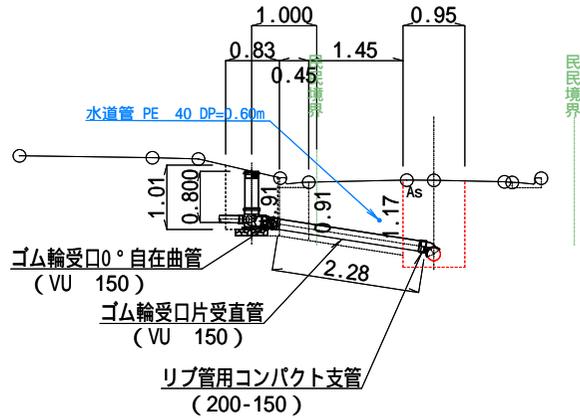
1 個所

H = 0.80m

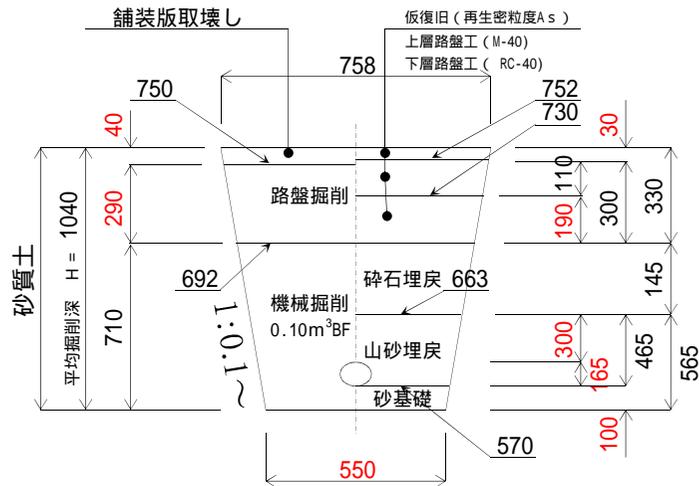
( 大坪勇彦 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.052 m 車道舗装延長 L = 1.45 m  
 取付管延長 L = 2.28 m



取付管平均掘削深 H = ( 910 + 1170 ) × 1/2 = 1040 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.45 × 2	2.90 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.758 × 1.45	1.10 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.75+0.692) × 1/2 × 0.29 × 1.45	0.30 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.692+0.55) × 1/2 × 0.71 × 1.45	0.64 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.742+0.55) × 1/2 × 0.96 × 0.83	0.51 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.28	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.28	0.60 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.692+0.663) × 1/2 × 0.145 × 1.45	0.14 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.742+0.663) × 1/2 × 0.395 × 0.83	0.23 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.3+0.64+0.51) - 0.23 × 1.11	1.19 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	1.1 × 0.04	0.044 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.044 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.103 t
管 布 設 工	管渠延長		2.28 m
	直管VU 150 (L = 4.0m)	2.28 ÷ 4.00m/本	0.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	コンパクト支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-3) 位置

M17

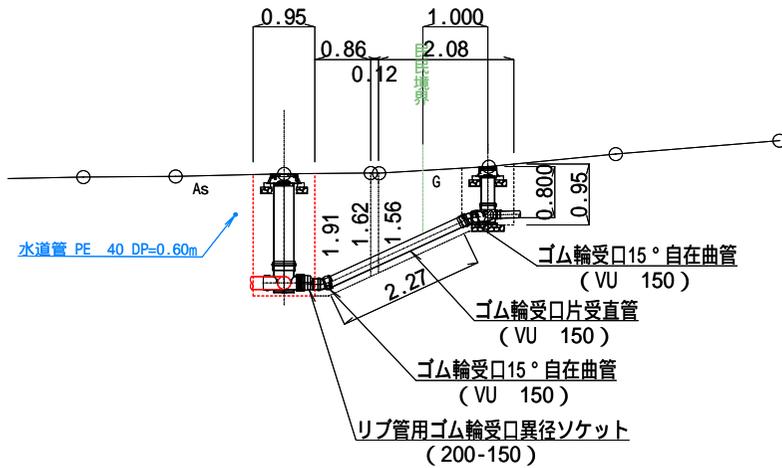
1 箇所

H = 0.80m

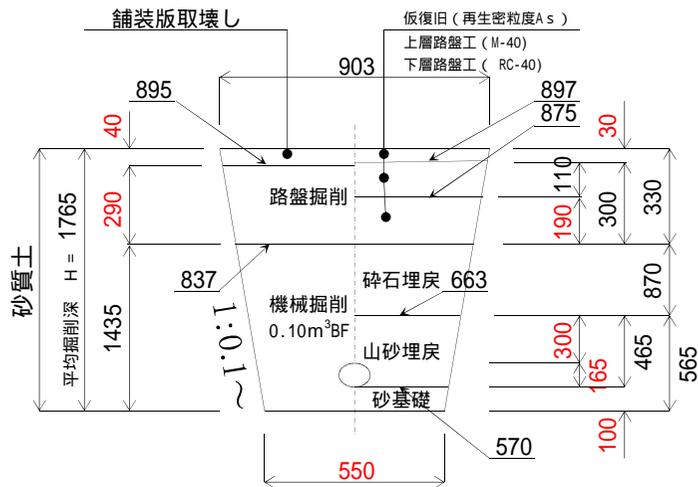
( 若林尚之 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.603 m 車道舗装延長 L = 0.86 m  
 取付管延長 L = 2.27 m



取付管平均掘削深 H = ( 1910 + 1620 ) × 1/2 = 1765 mm



種 別	計 算 式	数 量
舗装破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	0.86 × 2 1.72 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.903 × 0.86 0.78 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.895+0.837) × 1/2 × 0.29 × 0.86 0.22 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.837+0.55) × 1/2 × 1.435 × 0.86 0.86 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.801+0.55) × 1/2 × 1.255 × 2.08 1.76 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.27 0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.27 0.60 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.837+0.663) × 1/2 × 0.87 × 0.86 0.56 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.781+0.663) × 1/2 × 0.59 × 2.08 0.89 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.22 + 0.86 + 1.76) - 0.89 × 1.11 1.85 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.78 × 0.04 0.031 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.031 × 2.35 t / m <sup>3</sup> 0.073 t
管 布 設 工	管渠延長	2.27 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.27 ÷ 4.00m/本 0.6 本
	15°自在曲管 (VU 150)	2 個
	異径ソケット (200-150)	1 個



路線番号 (7129-3) 位置

M18

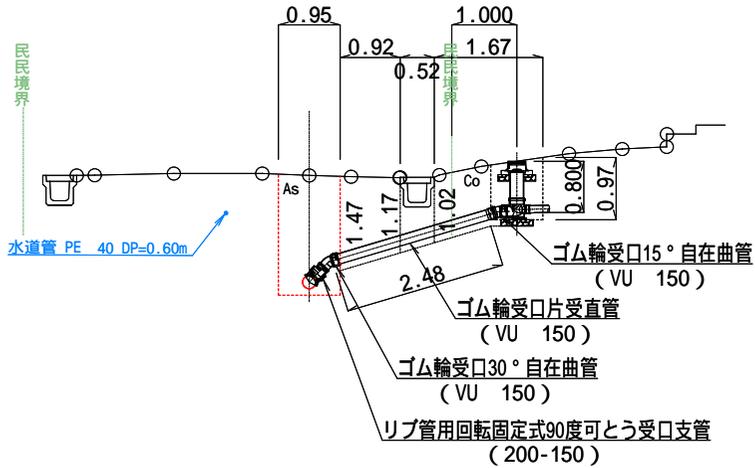
1 箇所

H = 0.80m

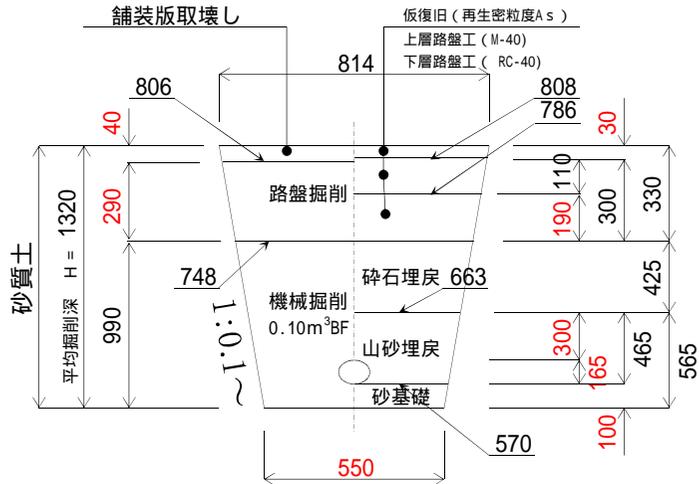
( 佐藤健太郎 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.565 m 車道舗装延長 L = 0.92 m  
 取付管延長 L = 2.48 m



取付管平均掘削深 H = ( 1470 + 1170 ) × 1/2 = 1320 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	0.92 × 2	1.84 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	1.67 × 2	3.34 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.814 × 0.92	0.75 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.749 × 0.1 × 1.67	0.13 m <sup>3</sup>
	掘削工		
礫質土 (道路)	(0.806+0.748) × 1/2 × 0.29 × 0.92	0.21 m <sup>3</sup>	
砂質土 (道路)	(0.748+0.55) × 1/2 × 0.99 × 0.92	0.59 m <sup>3</sup>	
砂質土 (宅地)	(0.729+0.55) × 1/2 × 0.895 × 1.67	0.96 m <sup>3</sup>	
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.48	0.14 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.48	0.66 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.748+0.663) × 1/2 × 0.425 × 0.92	0.28 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.709+0.663) × 1/2 × 0.23 × 1.67	0.26 m <sup>3</sup>
	残土		
土砂	(0.21 + 0.59 + 0.96) - 0.26 × 1.11	1.47 m <sup>3</sup>	
As殻運搬	0.75 × 0.04	0.030 m <sup>3</sup>	
Co殻運搬		0.130 m <sup>3</sup>	
As産廃処分費	0.03 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.071 t	
Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.13 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.306 t	
管 布 設 工	管渠延長		2.48 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.48 ÷ 4.00m/本	0.7 本
	15°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-3) 位置

M19

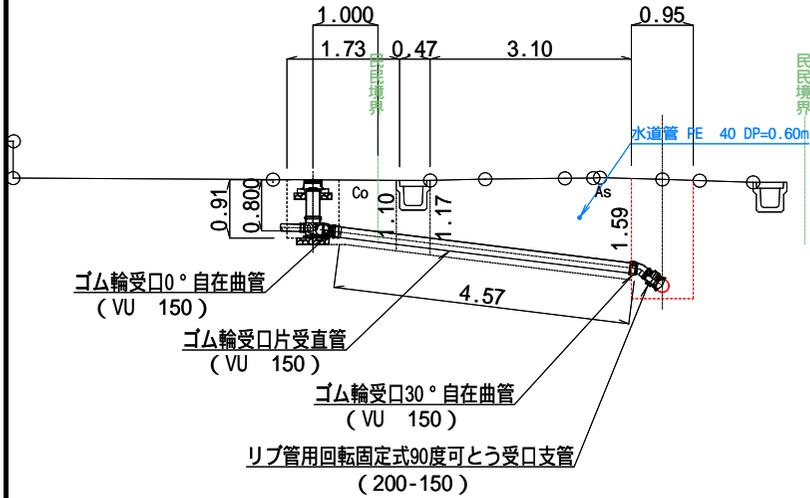
1 箇所

H = 0.80m

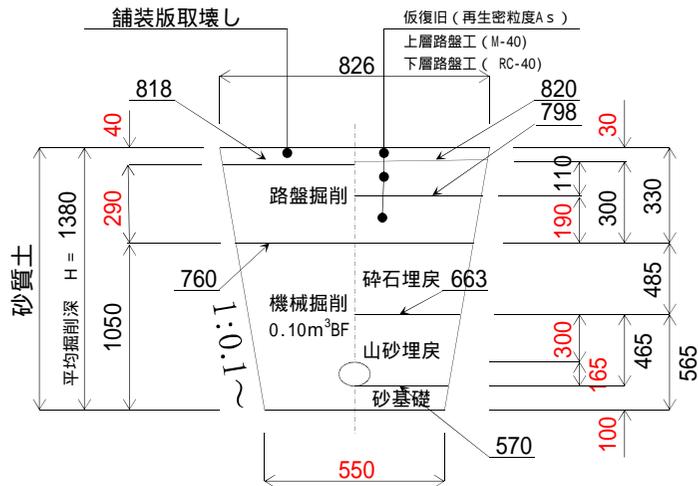
( 木村浩之 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.561 m 車道舗装延長 L = 3.10 m  
 取付管延長 L = 4.57 m



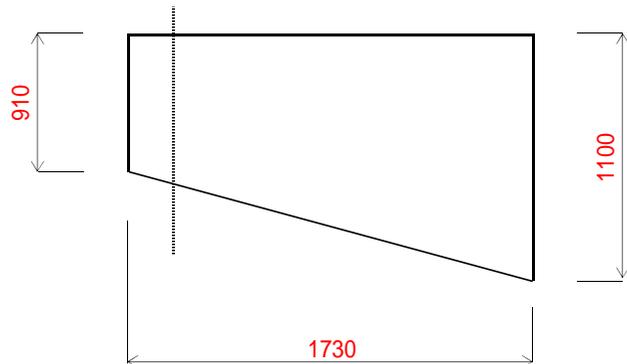
取付管平均掘削深 H = ( 1590 + 1170 ) × 1/2 = 1380 mm



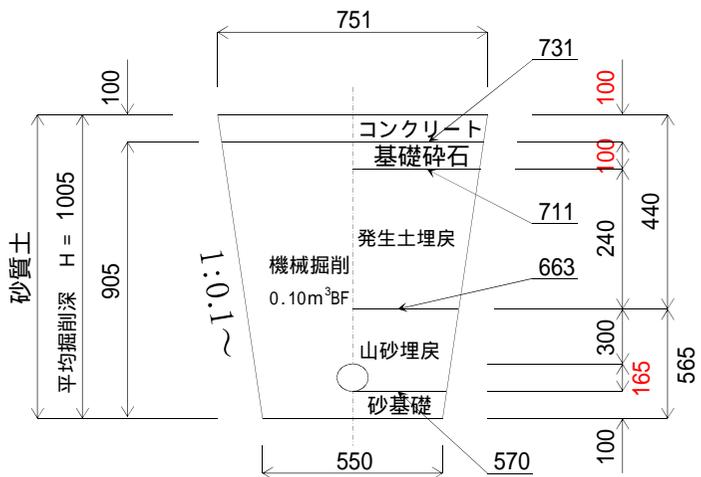
種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	3.1 × 2	6.20 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	1.73 × 2	3.46 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.826 × 3.1	2.56 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.751 × 0.1 × 1.73	0.13 m <sup>3</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.818+0.76) × 1/2 × 0.29 × 3.1	0.71 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.76+0.55) × 1/2 × 1.05 × 3.1	2.13 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.731+0.55) × 1/2 × 0.905 × 1.73	1.00 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 4.57	0.26 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 4.57	1.21 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.76+0.663) × 1/2 × 0.485 × 3.1	1.07 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.711+0.663) × 1/2 × 0.24 × 1.73	0.29 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.71 + 2.13 + 1) - 0.29 × 1.11	3.52 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	2.56 × 0.04	0.102 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.130 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.102 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.240 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.13 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.306 t
管 布 設 工	管渠延長		4.57 m
	直管VU 150 (L = 4.0m)	4.57 ÷ 4.00m/本	1.2 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	30°自在曲管 (VU 150)		1 個
90°可とう受口支管 (200-150)		1 個	

1ヶ所当り

種 別	計 算 式	数 量	
舗装復旧工	仮復旧舗装工 (As = 3cm)	0.826 × 3.1	2.56 m <sup>2</sup>
	上層路盤工 (粒調 t=11cm)	0.82 × 3.1	2.54 m <sup>2</sup>
	下層路盤工 (RC-40 t=19cm)	0.798 × 3.1	2.47 m <sup>2</sup>
	コンクリート舗装 (18-8-40BB)	0.751 × 0.1 × 1.73	0.13 m <sup>3</sup>
	基礎碎石 (RC-40 t=10cm)	0.731 × 1.73	1.26 m <sup>2</sup>



取付管平均掘削深  $H = ( 910 + 1100 ) \times 1/2 = 1005 \text{ mm}$



路線番号 (7129-3) 位置

M20

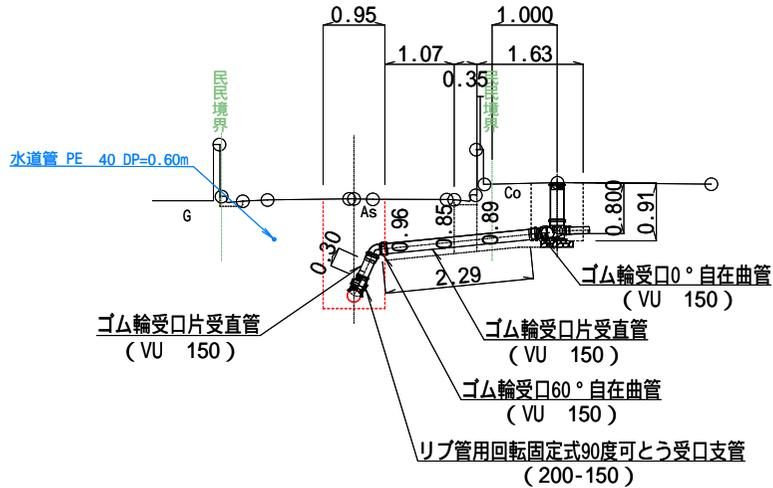
1 箇所

H = 0.80m

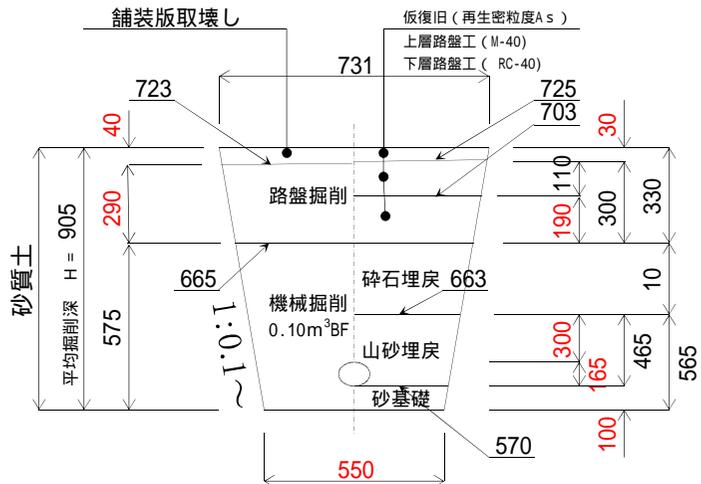
( 北林恒雄 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.411 m 車道舗装延長 L = 1.07 m  
 取付管延長 L = 2.29 m



取付管平均掘削深 H = ( 960 + 850 ) × 1/2 = 905 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.07 × 2	2.14 m
	Co版切断工 (As = 10cmまで)	1.63 × 2	3.26 m
	舗装版破砕工 (As = 10cmまで)	0.731 × 1.07	0.78 m <sup>2</sup>
	コンクリート取壊工 (無筋構造物)	0.73 × 0.1 × 1.63	0.12 m <sup>3</sup>
	礫質土 (道路)	(0.723+0.665) × 1/2 × 0.29 × 1.07	0.22 m <sup>3</sup>
掘削工	砂質土 (道路)	(0.665+0.55) × 1/2 × 0.575 × 1.07	0.37 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.71+0.55) × 1/2 × 0.8 × 1.63	0.82 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.29	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.29	0.61 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻	(0.665+0.663) × 1/2 × 0.01 × 1.07	0.01 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.69+0.663) × 1/2 × 0.135 × 1.63	0.15 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.22 + 0.37 + 0.82) - 0.15 × 1.11	1.24 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.78 × 0.04	0.031 m <sup>3</sup>
	Co殻運搬		0.120 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.031 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.073 t
	Co産廃処分費 (無筋構造物)	0.12 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.282 t
	管渠延長	0.30 + 2.29	2.59 m
管 布 設 工	直管VU 150 (L = 4.0m)	2.59 ÷ 4.00m/本	0.7 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	60°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個



路線番号 (7129-3) 位置

M21

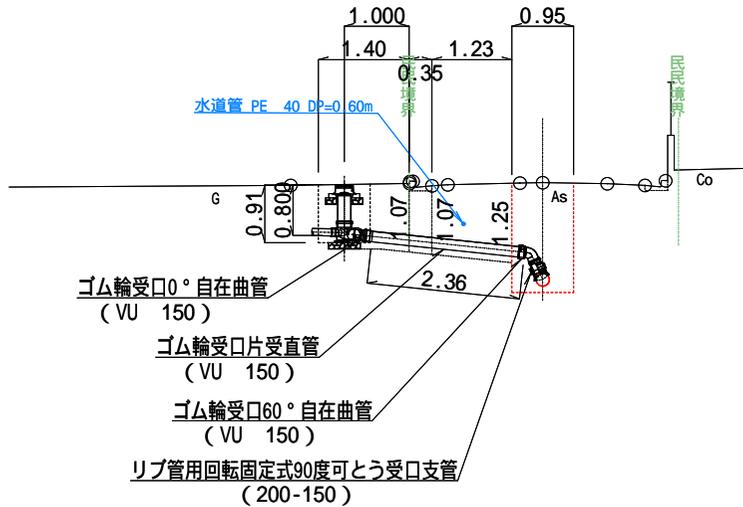
1 箇所

H = 0.80m

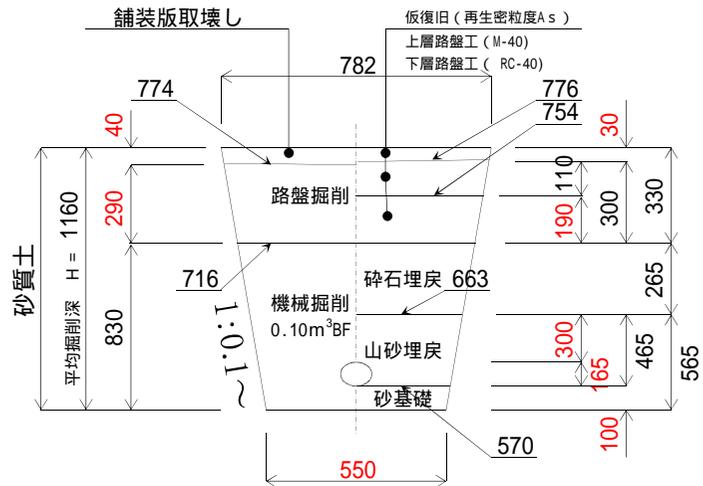
( 鈴木昌子 宅 )

1ヶ所当り

本管平均土被り H = 1.417 m 車道舗装延長 L = 1.23 m  
 取付管延長 L = 2.36 m



取付管平均掘削深 H = ( 1250 + 1070 ) × 1/2 = 1160 mm



種 別	計 算 式	数 量	
舗装 破碎工	舗装版切断工 (As = 10cmまで)	1.23 × 2	2.46 m
	舗装版破碎工 (As = 10cmまで)	0.782 × 1.23	0.96 m <sup>2</sup>
掘削工	礫質土 (道路)	(0.774+0.716) × 1/2 × 0.29 × 1.23	0.27 m <sup>3</sup>
	砂質土 (道路)	(0.716+0.55) × 1/2 × 0.83 × 1.23	0.65 m <sup>3</sup>
	砂質土 (宅地)	(0.748+0.55) × 1/2 × 0.99 × 1.4	0.90 m <sup>3</sup>
埋戻工	山砂基礎	(0.57+0.55) × 1/2 × 0.1 × 2.36	0.13 m <sup>3</sup>
	山砂埋戻	((0.663+0.57) × 1/2 × 0.465 - 0.165 <sup>2</sup> × /4) × 2.36	0.63 m <sup>3</sup>
	碎石埋戻	(0.716+0.663) × 1/2 × 0.265 × 1.23	0.22 m <sup>3</sup>
	発生土埋戻	(0.728+0.663) × 1/2 × 0.325 × 1.4	0.32 m <sup>3</sup>
残土	土砂	(0.27 + 0.65 + 0.9) - 0.32 × 1.11	1.46 m <sup>3</sup>
	As殻運搬	0.96 × 0.04	0.038 m <sup>3</sup>
	As産廃処分費	0.038 × 2.35 t / m <sup>3</sup>	0.089 t
管 布 設 工	管渠延長		2.36 m
	直管VU 150 (L=4.0m)	2.36 ÷ 4.00m/本	0.6 本
	0°自在曲管 (VU 150)		1 個
	60°自在曲管 (VU 150)		1 個
	90°可とう受口支管 (200-150)		1 個





## 舗装の切断作業時に発生する排水量算定

アスファルト

小川町

舗装切断延長 = 415.00 m

$$\begin{aligned}
 \text{排水量 (m3)} &= \text{当該工事施工量} \div \text{日あたり施工量} \times \text{日あたり使用水量} \times \text{回収率} \\
 &= 415.00 \div 240 \times 1.8 \times 0.85 \\
 &= \underline{\underline{2.60}} \text{ m3}
 \end{aligned}$$

本管 : 415.00  
取付管 : 67.04

日あたり施工量

(1) アスファルト舗装

アスファルト舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	240 m/日
15cmを超え30cm以下	170 m/日
30cmを超え40cm以下	120 m/日

(2) コンクリート舗装

コンクリート舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	150 m/日
15cmを超え30cm以下	70 m/日

日あたり使用水量・回収率

舗装種別	舗装厚 (cm)	日あたり使用水量(m3)	回収率 (%)
アスファルト舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85
	30 < t 35	1.8	85
	35 < t 40	2.4	85
コンクリート舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85

## 舗装の切断作業時に発生する排水量算定

コンクリート

小川町

舗装切断延長 = 27.04 m

$$\begin{aligned}
 \text{排水量 (m3)} &= \text{当該工事施工量} \div \text{日あたり施工量} \times \text{日当たり使用水量} \times \text{回収率} \\
 &= 27.04 \div 150 \times 1.8 \times 0.85 \\
 &= \underline{\underline{0.20}} \text{ m3}
 \end{aligned}$$

本管 : 415.00

取付管 : 67.04

日あたり施工量

(1) アスファルト舗装

アスファルト舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	240 m/日
15cmを超え30cm以下	170 m/日
30cmを超え40cm以下	120 m/日

(2) コンクリート舗装

コンクリート舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	150 m/日
15cmを超え30cm以下	70 m/日

日当たり使用水量・回収率

舗装種別	舗装厚 (cm)	日あたり 使用水量(m3)	回収率 (%)
アスファルト舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85
	30 < t 35	1.8	85
	35 < t 40	2.4	85
コンクリート舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85

# 産業廃棄物処理場比較表

【原町区下水管渠築造第3工区工事】  
(小川町) 起点:原町区小川町 230 - 2

R7年度

## アスファルト殻 : 直接掘削積込

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価
91 相馬市坪田字坊山357 - 13 金沢興業(株)	15.5 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
89 原町区金沢字物見山97-1外 加藤建材工業(株)	5.0 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
93 原町区深野字入龍田87 - 36 斎藤運輸工業(株)原町リサイクルセンター	5.3 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
90 鹿島区川子字滝沢151,152 加藤道路(株)	5.4 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
94 小高区女場字山神前24 世紀東急工業(株)福島舗材センター	15.0 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	

## 無筋コンクリート殻 : 機械取壊

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価
91 相馬市坪田字坊山357 - 13 金沢興業(株)	15.5 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
89 原町区金沢字物見山97-1外 加藤建材工業(株)	5.0 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
93 原町区深野字入龍田87 - 36 斎藤運輸工業(株)原町リサイクルセンター	5.3 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	
94 小高区女場字山神前24 世紀東急工業(株)福島舗材センター	5.4 km	円	円/t	0+0 × 2.35	円	

## 鉄筋コンクリート殻 : 機械取壊

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価

## 汚泥

事業所名	運搬距離	運搬費	処分料	算式	m3当り単価	評価
85 原町区鶴谷字牛踏274 - 8 (株)モンマ	7.8 km	円	円/t	0+0 × 1.4	円	

## m3当り単価算出

- ・処分料が t 当り単価 :  $P = \text{運搬費} + \text{処分料} \times$
- ・処分料が m3 当り単価 :  $P = \text{運搬費} + \text{処分料} \times$

## 換算値

アスファルト	1.38	1.70	2.35
コンクリート(無筋)	1.38	1.70	2.35
コンクリート(鉄筋)	1.39	1.80	2.50
伐根物等(木材)			0.85

# 数量計算書

令和7年度下水管渠築造第3工区工事

本陣前工区

# 数 量 総 括 表

(本陣前)

R07-003

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考	
管 布 設 工	(内径 200mm)					
		下水道用リップ付硬質塩化ビニル管 (VU)	VU 直 管 L = 4.00m	本	12.40	
			L = 4.00m	本		
			可とう継手 200用	個	1.00	
			副管用マンホール継手 L = 0.6m	本	1.00	
土 工		掘削工 (路盤)	m3	7.26	B F 0.20m3	
		掘削工 (礫質土)	m3		B F 0.20m3	
		掘削工 (粘性土)	m3	72.74	B F 0.20m3	
					掘削計 80.0 m <sup>3</sup>	
		掘削工 (砂質土)	m3		B F 0.20m3	
		基礎工	m3	4.80	B F 0.20m3	
		埋戻 (管防護) (管頂30cmまで)	m3	22.80	B F 0.20m3	
					クリンカ	
		再生碎石埋戻	m3	8.30	B F 0.20m3	
					クリンカ	
		路床材埋戻 (修正CBR20%以上)	m3		B F 0.35m3	
					クリンカ	
		クリンカ埋戻 (良質土 クリンカ)	m3	35.16	B F 0.20m3	
					クリンカ埋戻計 66.3 m <sup>3</sup>	
		土 留 工		残土処分工	m3	80.00
					掘削土量	
購入土 (クリンカ)	m3					
購入土 (良質土)	m3					
建込簡易土留工 H = 2.00m	m			50.00		
建込簡易土留工 H = 2.50m	m					
建込簡易土留工 H = 3.00m	m					
建込簡易土留工 H = 3.50m	m					
建込簡易土留工 H = 4.00m	m					
軽量鋼矢板パイロハンマ打込工 L = 4.00m	m					
軽量鋼矢板パイロハンマ打込工 L = 4.00m	m					
軽量鋼矢板パイロハンマ引抜工 L = 4.50m	m					
軽量鋼矢板パイロハンマ引抜工 L = 4.50m	m					
管 布 設 工		硬質塩ビ管 200mm	m	49.40	カメラ調査	

# 数 量 総 括 表

(本陣前)

R07-003

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
マンホール設置工					
	塩ビ製小口径 マンホール	小型マンホール (塩ビ製)	箇所	1.00	
	底 部 工		箇所		
	削 孔 工	150	箇所		
		200	箇所	1.00	
	内副管設置工 (スリムタイプ)	150 副管落差 L=600			
		硬質塩化ビニル管 直管 L=4.00m	本	1.00	
		内副管用継手	個	1.00	
		90°曲管	個	1.00	
		継手カラー	個	1.00	
		コンクリート (小型)	m3		
		型 枠 (小型)	m2		
		砕 石 基 礎 (t=15cm)	m2		
		副管取付工 (H<1.0m)	箇所	1.00	
		副管取付工 (1.5m H<2.0m)	箇所		

# 数 量 総 括 表

(本陣前)

R07-003

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考	
汚水樹設置 及び管取付工	下水道用硬質 塩化ビニル管(150)	ゴム輪受口片受直管 L=0.80m	本			
		ゴム輪受口片受直管 L=4.00m	本	4.00		
		メカロック支管 200-150	個	4.00		
		90°自在曲管 150	個			
		75°自在曲管	個			
		15°～30°自在曲管	個			
		45°～60°自在曲管	個	4.00		
	汚 水 樹	塩ビ樹(200) H=0.80m	箇所	2.00		
		塩ビ樹(200) H=0.90m	箇所			
		塩ビ樹(200) H=1.00m	箇所	2.00		
		塩ビ樹(200) H=1.10m	箇所			
		塩ビ樹(200) H=1.20m	箇所			
		塩ビ樹(200) H=1.30m	箇所			
		塩ビ樹(300) H=1.40m	箇所			
		塩ビ樹(300) H=1.70m	箇所			
		塩 び 蓋 (200 T-2)	個	2.00		
		鉄 蓋 (防護蓋) (200 T-8)	個	2.00		
		塩 び 蓋 (300 T-2)	個			
		汚水樹設置工	200 H 1.50m	箇所	4.00	
			200 H > 1.50m	箇所		
		防 護 蓋 設 置 工	200	箇所	2.00	
			300	箇所		
		取付管布設工	取付管 150	箇所	4.00	3.0m以下
	取付管 150		箇所		3.0～5.0m	
	取付管 150		箇所		5.0m以上	

# 数 量 総 括 表

(本陣前)

R07-003

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
	取付管土工	路盤掘削	m3	0.31	B F 0.20m3
		機械掘削(粘性土)	m3	2.42	B F 0.20m3 掘削計 6.61 m <sup>3</sup>
		機械掘削(砂質土)	m3		B F 0.20m3
		基礎工(クリンカ)	m3	0.42	B F 0.20m3
		埋戻工(管防護) (クリンカ)	m3	2.04	B F 0.20m3
		砕石埋戻	m3		
		路床材埋戻 (修正CBR20%以上)	m3		
		埋戻工 (クリンカ)	m3	2.53	埋戻計 4.99 m <sup>3</sup>
		購入土	m3		
		残土処分工(土砂)	m3	6.61	
	宅内土工	機械掘削(砂質土)	m3	3.88	取付管に含む
		砂埋戻	m3		
		良質土埋戻	m3		
		発生土埋戻	m3		
		残土処分工(土砂)	m3		
	土留工	建込簡易土留工 H=2.00m	m		
交通誘導員			人	14.00	7.0×2
水替工			日	2.00	

# 数 量 総 括 表

(本陣前)

R07-003

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
付 帯 工					本 管 取 付 管
	路 面 仮 復 旧	舗 装 版 切 断 工 ( A s 20 c m ま で )	m	24.00	24.0 +
		C o 舗 装 版 切 断 工 ( C o 10 c m )	m		+
		舗 装 版 破 碎 工 ( A s 10 c m ま で )	m2	11.40	11.4 +
		C o 舗 装 破 碎 工 ( C o 10 c m )	m3		+
		表 層 工 ( 再 生 密 粒 度 A s t = 3 c m )	m2	11.40	11.4 +
		表 層 工 ( 再 生 粗 粒 度 A s t = 5 c m )	m2		+
		上 層 路 盤 工 ( 粒 調 碎 石 t = 17 c m )	m2	11.40	11.4 +
		上 層 路 盤 工 ( 粒 調 碎 石 t = 15 c m )	m2		+
		上 層 路 盤 工 ( 粒 調 碎 石 t = 30 c m )	m2		+
		下 層 路 盤 工 ( 再 生 碎 石 t = 20 c m )	m2	11.40	11.4 +
		下 層 路 盤 工 ( 再 生 碎 石 t = 35 c m )	m2		+
		路 盤 工 ( 再 生 碎 石 t = 10 c m )	m3		+
		砂 利 道 路 盤 工 ( 再 生 碎 石 t = 10 c m )	m3	39.10	36.1 + 3.0
		砂 利 道 路 盤 工 ( 切 込 碎 石 t = 15 c m )	m3		+
		敷 砂 利 ( 再 生 碎 石 t = 3 c m )	m3		+
		ガ ラ 処 分 工 ( A s ガ ラ )	m3	0.52	0.5 + +
		ガ ラ 処 分 工 ( C o ガ ラ )	m3		+

土工・土留工計算書

令和 6 年度 下水管渠築造第 3 工区工事

路線番号	人孔番号	管径 (mm) D	延長 (m) L	下流堀削深 (m) Hj	上流堀削深 (m) Hk	平均堀削深 (m) H	掘削幅 (m) W	舗装厚 (m) Hd	機械掘削 (使用BF 0.20 m3)								素掘り	建込簡易土留					摘要
									路盤		礫質土		砂質土		粘性土			L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	
									厚さ (m) H1	土量 (m3) V1 L*W*H1	厚さ (m) H2	土量 (m3) V2 L*W*H2	厚さ (m) H3	土量 (m3) V3 L*W*H3	厚さ (m) H4	土量 (m3) V4 L*W*H4							
2417-2	1	200	38.00	1.71	1.66	1.69	0.95		0.10	3.61				1.59	57.40		38.00						私市道部
2417-2		200	6.00	1.71	1.71	1.71	0.95	0.04	0.29	1.65				1.38	7.87		6.00						私市道部
2417-2		200	6.00	1.71	1.71	1.71	0.95	0.05	0.35	2.00				1.31	7.47		6.00						市道部
計			50.00							7.26					72.74		50.00						

土工・埋戻土工計算書

令和 6 年度 下水管渠築造第 3 工区工事

路線番号	人孔番号	管径 (mm) D	延長 (m) L	平均掘削深 (m) H	掘削幅 (m) W	舗装厚 (m) Hd	砕石基礎 (m3) 0.10 Hk	砕石(管防護)埋戻 (m3) 0.516 Hs	機 械 埋 戻 (使用BF 0.20 m3)								砕石基礎 (m)	備 考
									切込砕石 (C-40)		路床土 (修正CBR20以上)		良質土 再生砕石 (クリンカ)		再生砕石埋戻 (クリンカ)			
									土厚 (m)	土量 (m3)	土厚 (m)	土量 (m3)	土厚 (m)	土量 (m3)	土厚 (m)	土量 (m3)		
2417-2	1	200	38.00	1.69	0.95		3.61	17.36					0.97	35.16				
2417-2		200	6.00	1.71	0.95	0.04	0.57	2.74							0.76	4.35		
2417-2		200	6.00	1.71	0.95	0.05	0.57	2.74							0.69	3.96		
合計			50.00				4.75	22.84						35.16	8.31		66.31 m <sup>3</sup>	

管控除断面積  
 算式:  $1.50 \times 0.156^2 \times 3.14 / 4 = 0.0191$   
 算式:  $2.00 \times 0.206^2 \times 3.14 / 4 = 0.0333$

掘削土量

路盤	礫質土	粘性土
7.26		72.74

↓

流用土  
80.00

埋戻土量  
良質土  
35.16

残土処理土量

流用土	-	良質土	×	変化率
80.00		35.16		1.11
=				
残土量				
= 40.97				

不足分は、購入土とする。

管渠・汚水柵・取付管計算書

令和 6 年度 下水管渠築造第 3 工区工事

路線番号	人孔番号	管径 (mm)	延長 (m)	管渠減長 (m)	管渠延長 (m)	汚 水 柵														本管本数		摘要
						丸 型								塩 ビ 製 マンホール蓋				合 計	VP直管 (本) 200mm 4.0m	(本) 4.0m		
						塩ビ製 マンホール 200 H=0.80 (箇所)	塩ビ製 マンホール 200 H=0.90 (箇所)	塩ビ製 マンホール 200 H=1.00 (箇所)	塩ビ製 マンホール 200 H=1.10 (箇所)	塩ビ製 マンホール 200 H=1.20 (箇所)	塩ビ製 マンホール 300 H=1.30 (箇所)	塩ビ製 マンホール 300 H=1.40 (箇所)	塩ビ製 マンホール 300 H=1.70 (箇所)	200 T-2 (箇所)	200 T-8 (箇所)	300 T-2 (箇所)	300 T-8 (箇所)					
2417-2	1	200	38.00	0.150	37.85	2		2							2	2		4	9.5			
2417-2		200	6.00		6.00															1.5		
2417-2		200	6.00	0.450	5.55															1.4		
計			50.00		49.40	2		2							2	2		4	12.4			













# 土工(路盤工)計算書

## 令和 6 年度 下水管渠築造第3工区工事

路線番号	人孔番号	管径 (mm)	延長 (m)	掘削幅 (m)	影響幅 (m)	下層路盤工			上層路盤工			路盤工			路盤工(砂利道)			備考
						切込砕石(RC-40)			粒調砕石(0~40mm)			粒調砕石(0~40mm)			切込砕石(RC-40)			
						厚さ (m)	平均幅 (m)	面積 (㎡)	厚さ (m)	平均幅 (m)	面積 (㎡)	厚さ (m)	平均幅 (m)	面積 (㎡)	厚さ (m)	平均幅 (m)	面積 (㎡)	
2417-2	1	200	38.00	0.95											0.10	0.95	36.10	
2417-2		200	6.00	0.95		0.19	0.95	5.70	0.10	0.95	5.70							
2417-2		200	6.00	0.95		0.20	0.95	5.70	0.16	0.95	5.70							
計			50.00					11.40			11.40						36.10	



# 数 量 総 括 表

R06-003(大木戸地区)

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
管布設工 (本管部)	(内径 200mm)				
		下水道用硬質 塩化ビニル管	VU 直 管 L = 4.00m	本	
		L = 4.00m	本		
		可とう継手 200用	個		
		可とう継手 150用	個		
	土工(本管部)	掘削工(路盤)	m3	0.5	B F 0.20m3級
		掘削工(機械)	m3	2.6	B F 0.20m3級
		掘削工(礫質土)	m3		B F 0.20m3級
			m3		B F 0.20m3級
		掘削工(粘性土)	m3		B F 0.20m3級
		掘削工(人力)	m3	0.2	掘削工計 3.3 m
		掘削工(砂質土)	m3		B F 0.20m3級
			m3		B F 0.20m3級
		基礎工(RC-40)	m3		B F 0.20m3級
			m3		B F 0.20m3級
		埋戻(管防護) (管頂30cmまで)	m3	0.4	B F 0.20m3級 (RC-40)
			m3		B F 0.20m3級
		砕石埋戻(RC-40)	m3	2.4	B F 0.20m3級
			m3		B F 0.20m3級
		路床材埋戻 (修正CBR20%以上)	m3		B F 0.20m3級
		m3		B F 0.20m3級	
	良質土埋戻	m3		B F 0.20m3級	
		m3		B F 0.20m3級	
	残土処分工	m3	3.3	B F 0.20m3級	
	購入土(切込砕石)	m3			
	購入土(良質土)	m3			

# 数 量 総 括 表

R06-003(大木戸地区)

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考	
	土 留 工	建 込 簡 易 土 留 工 H = 1.50m	m			
		建 込 簡 易 土 留 工 H = 2.00m	m			
		建 込 簡 易 土 留 工 H = 2.50m	m			
		建 込 簡 易 土 留 工 H = 3.00m	m			
		建 込 簡 易 土 留 工 H = 3.50m	m			
		建 込 簡 易 土 留 工 H = 4.00m	m			
		軽 量 鋼 矢 板 建 込 土 留 工 L = 2.50m	m			
		軽 量 鋼 矢 板 建 込 土 留 工 L = 3.50m	m	4.0	両 側 ( 本 管 部 )	
		軽 量 鋼 矢 板 建 込 土 留 工 L = 3.00m	m			
		土 留 支 保 工 1 段	m			
		土 留 支 保 工 2 段	m	4.0	( 腹 起 材 ・ 水 圧 式 パ イ プ サ ポ ー ト 含 む ) 両 側 ( 本 管 部 )	
		管 布 設 工	硬 質 塩 ビ 管 200mm	m		
マンホール設置工						
	組 立 式 0 号 マ ン ホ ー ル	マンホール蓋 (受枠共) 600mm	組	1		
		調 整 リ ン グ ( H = 100 )	個			
		調 整 リ ン グ ( H = 150 )	個	1		
		調 整 リ ン グ ( H = 200 )	個			
		マンホール斜壁 ( 600A H = 300 )	個			
		マンホール斜壁 ( 600B H = 450 )	個	1		
		マンホール斜壁 ( 600C H = 600 )	個			
		マンホール直壁 ( 900A H = 300 )	個			
		マンホール直壁 ( 900B H = 600 )	個			
		マンホール直壁 ( 900C H = 900 )	個			
		マンホール直壁 ( 900D H = 1200 )	個			
		マンホール底塊 (底付) ( 0号 H = 900 )	個			
		管取付壁 (底ナシ) ( 0号 H = 1200 )	個	1		
		マンホール底版塊 径 750 用 外 径 900	個	1		
		底 部 工		箇所	1	

# 数 量 総 括 表

R06-003(大木戸地区)

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
	調 整 金 具	25mm	箇所		
		45mm	箇所	1	
	ブ ロ ッ ク 据 付 工	マ ン ホ ー ル 深 H = 3.0m以下	箇所	1	
		マ ン ホ ー ル 深 H = 3.0m以上	箇所		
	削 孔 工	150	箇所		
		200	箇所		
	副 管 設 置 工 ( 標 準 タ イ プ )	150mm			
		硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 直 管 L = 4.00m	本		
		副 管 用 90° 支 管	個		
		90° 曲 管	個		
		継 手 カ ラ ー	個		
		コ ン ク リ ー ト ( 小 型 )	m3		
		型 枠 ( 小 型 )	m2		
		砕 石 基 礎 ( t = 15 c m )	m2		
		副 管 取 付 工 ( 1.0m H < 1.5m )	箇所		
		副 管 取 付 工 ( 1.5m H < 2.0m )	箇所		
マンホール設置工	塩 ビ 製 小 口 径 マ ン ホ ー ル	小 型 マ ン ホ ー ル ( 塩 ビ 製 )	箇所		
汚 水 桝 設 置 及 び 管 取 付 工	下 水 道 用 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 ( 150 )	ゴ ム 輪 受 口 片 受 直 管 L = 0.80m	本		
		ゴ ム 輪 受 口 片 受 直 管 L = 4.00m	本	4	
		90° 可 とう 支 管 250-150	個		
		90° 可 とう 支 管 200-150	個	1	
		90° 自 在 曲 管	個		
		15° ~ 30° 自 在 曲 管	個		
		45° ~ 60° 自 在 曲 管	個	1	

# 数 量 総 括 表

R06-003(大木戸地区)

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
	汚 水 樹	塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 0.80m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 0.90m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.00m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.10m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.20m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.30m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.40m	箇所		
		塩 ビ 樹 ( 200 ) H = 1.60m	箇所		
		塩 び 蓋 ( 200 T-2 )	個		
		鉄 蓋 ( 防 護 蓋 ) ( 200 T-8 )	個		
		塩 び 蓋 ( 300 T-2 )	個		
		汚 水 樹 設 置 工	200 H 1.50m	箇所	
	200 H > 1.50m		箇所		
	防 護 蓋 設 置 工	200	箇所		
		300	箇所		
	取 付 管 布 設 工	取 付 管 150	箇所		3.0m以下
		取 付 管 150	箇所		3.0~5.0m
		取 付 管 150	箇所		15.0m以上
	取 付 管 土 工	路 盤 掘 削	m3	2.8	B F 0.20m3級
		機 械 掘 削 ( 粘 性 土 )	m3	23.4	B F 0.20m3級
		機 械 掘 削 ( 砂 質 土 )	m3		B F 0.20m3級 掘 削 計 26.1 m <sup>3</sup>
		基 礎 工 ( ク リ ン カ )	m3	1.1	B F 0.20m3級
		埋 戻 ( 管 防 護 ) ( ク リ ン カ )	m3	5.1	
		埋 戻 ( ク リ ン カ )	m3	9.2	埋 戻 ( ク リ ン カ ) 計 15.4 m <sup>3</sup>
		路 床 材 埋 戻 ( 修 正 CBR20% 以 上 )	m3		
		良 質 土 埋 戻 ( 発 生 土 )	m3	6.3	
		購 入 土 ( 切 込 砕 石 )	m3		
		残 土 処 分 工 ( 土 砂 )	m3	19.2	

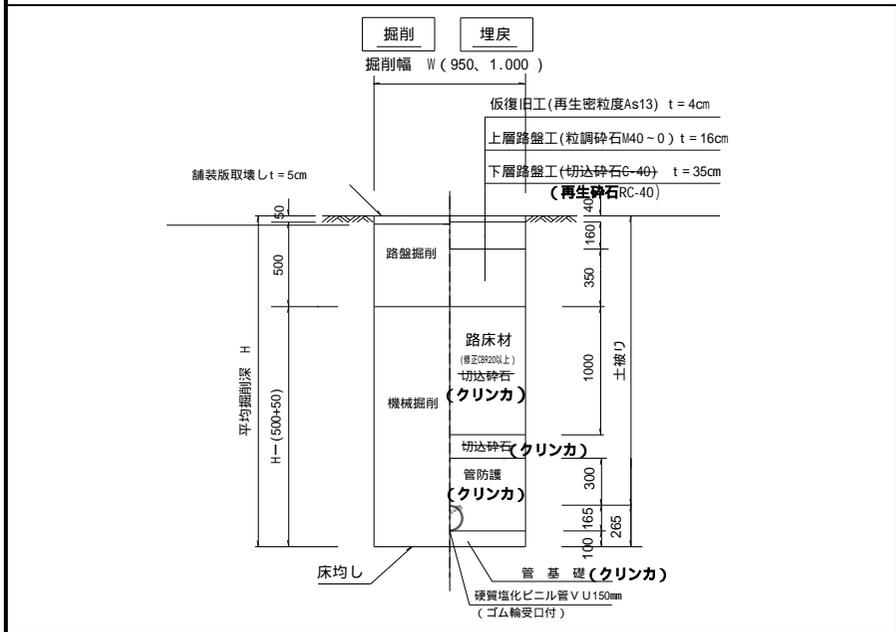
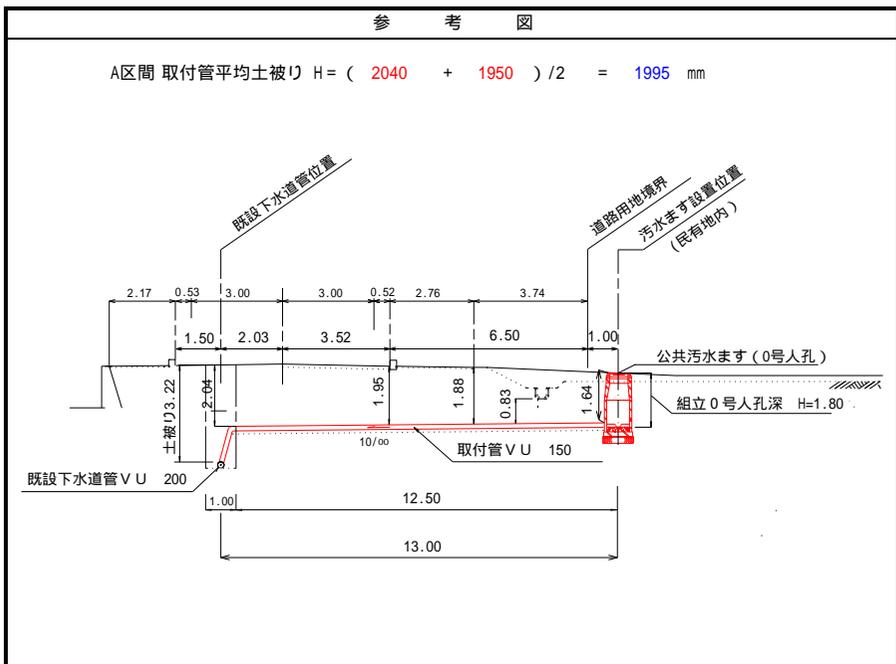
# 数 量 総 括 表

R06-003(大木戸地区)

工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
	宅 内 土 工	人力掘削(砂質土)	m3		
		砂 埋 戻	m3		
		良 質 土 埋 戻	m3		
		発 生 土 埋 戻	m3		
		残土処分工(土砂)	m3		
	土 留 工	建込簡易土留工 H=2.50m	m	12.5	(取付管部)
付 帯 工					本 管      取付管
	路 面 仮 復 旧	舗装版切断工 (As15cmまで)	m	18.5	3.0 + 15.5
		Co舗装版切断工 (Co10cm)	m		+
		舗装版破碎工 (As10cmまで)	m2	8.4	1.0 + 7.4
		Co舗装破碎工 (Co10cm)	m3		+
		歩道表層工 (再生密粒度Ast=3cm)	m2	2.6	+ 2.6
		車道表層工 (再生密粒度Ast=3cm)	m2	5.8	1.0 + 4.8
		車道上層路盤工 (粒調碎石 t=17cm)	m2	5.8	1.0 + 4.8
		上層路盤工 (粒調碎石 t=11cm)	m2		+
		上層路盤工 (粒調碎石 t=30cm)	m2		+
		車道下層路盤工 (再生碎石 t=35cm)	m2	5.8	1.0 + 4.8
		下層路盤工 (再生碎石 t=30cm)	m2		+
		下層路盤工 (最背う碎石 t=30cm)	m3		+
		歩道路盤工 (再生碎石 t=10cm)	m3		+
		歩道路盤工 (再生碎石 t=16cm)	m3	2.6	+ 2.6
		敷砂利 (切込碎石 t=10cm)	m3		
	ガラ処分工 (Asガラ)	m3	0.4	0.1 + 0.3	
	ガラ処分工 (Coガラ)	m3			
	カメラ調査		m	12.5	
	水替え工		日	6.0	
	交通誘導員		人	16.0	8.0×2

# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)

路線番号 大木戸地区



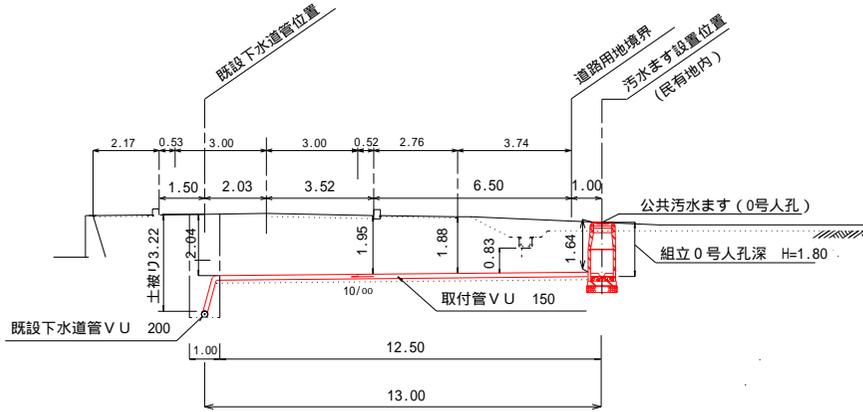
種別	数式	数量	
舗装破砕工	舗装版切断工 (As=10cmまで)	$(5.000 + 2.760 + ) \times 2$	15.52 m
	舗装版破砕工(歩道) (t=4cm以下)	$2.760 \times 0.950$	2.62 m <sup>2</sup>
	舗装版破砕工(県道) (t=5cm)	$5.000 \times 0.950 + \times$	4.75 m <sup>2</sup>
	C o 舗装版切断工 (As=10cmまで)		m
	C o 舗装版破砕取壊し (t=10cm)		m <sup>3</sup>
	掘削工	路盤	$5.000 \times 0.950 \times 0.500 + 2.760 \times 0.950 \times 0.150$
粘性土(道路)		$5.000 \times 0.950 \times 1.710 + 2.760 \times 0.950 \times 1.990$	13.34 m <sup>3</sup>
砂質土		$2.030 \times 0.950 \times 1.450 + 3.740 \times 0.950 \times 1.760$	9.05 m <sup>3</sup>
舗装部以外			計 25.16 m <sup>3</sup>
埋戻工	砕石基礎工(クリンカ)	$(12.500 - 0.450) \times 0.950 \times 0.100$	1.14 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻(管防護)(クリンカ)	$(12.500 - 0.450) \times 0.950 \times 0.465 - /4 \times 0.165 \wedge 2 \times 12.05$	5.07 m <sup>3</sup>
	砕石埋戻(クリンカ)	$1.145 \times 0.950 \times 5.000 + 1.425 \times 0.950 \times 2.76$	9.18 m <sup>3</sup>
	発生土(流用土含む)	$1.450 \times 0.950 \times 1.460 - /4 \times 0.900 \wedge 2 \times 1.450 + 1.460 \times 0.950$	6.28 m <sup>3</sup>
		$\times 3.740$	
残土	土砂	$(2.770 + 13.340 + 9.050) - (6.280) \times 1.11$	18.19 m <sup>3</sup>
	Asガラ	$2.620 \times 0.04 + 4.750 \times 0.05$	0.34 m <sup>3</sup>
	Coガラ		m <sup>3</sup>
管布設工	管渠延長	$12.500 - 0.750 / 2$	12.13 m
	直管 VU100mm (L=0.8m)		本
	直管 VU150mm (L=4.0m)	$(12.5 - 0.75 / 2) + (3.22 = 2.04) = 13.305$ $13.305 - 0.085 - 0.227 - 0.075 = 12.918 \div 4$	3.2 本
	コンパクト支管 (150-100)		個
	可とう支管		個
	90°曲管 (100mm)		個
	15°~30°自在曲管 (100mm)		個
	65°~80°自在曲管 (150mm)		1.0 個
	柵設置工 (H 1.5m)		1.0 箇所

# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)

路線番号 大木戸地区

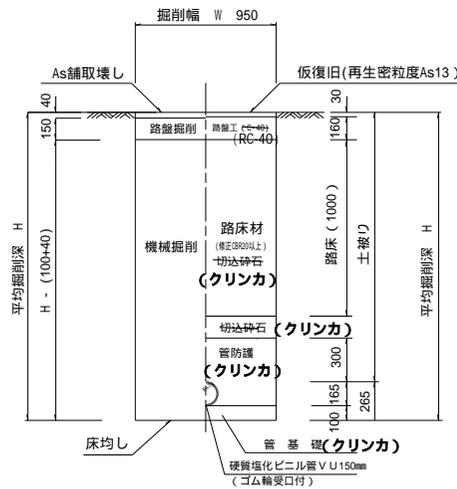
## 参考図

B区間 取付管平均土被り  $H = (1950 + 1880) / 2 = 1915 \text{ mm}$



C区間 取付管平均土被り  $H = (1880 + 1640) / 2 = 1760 \text{ mm}$  (図面参照)  
 宅地内 取付管平均土被り  $H = (1880 + 1640) / 2 = 1760 \text{ mm}$  (図面参照)

掘削 埋戻



種別	数式	数量
仮復旧工(車道) (再生粗粒度As t=4cm)	$5.00 \times 0.950$	4.75 m <sup>2</sup>
仮復旧工(歩道) (再生密粒度As t=3cm)	$2.760 \times 0.950$	2.62 m <sup>2</sup>
本復旧工(表層工) (再生密粒度As t=5cm)		m <sup>2</sup>
上層路盤工(車道) (M-40 t=16cm)	$5.000 \times 0.950$	4.75 m <sup>2</sup>
下層路盤工(車道) (RC-40 t=35cm)	$5.000 \times 0.950$	4.75 m <sup>2</sup>
歩道路盤工 (RC-40 t=16cm)	$2.760 \times 0.950$	2.62 m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道表層) (再生細粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道路盤工) (再生砕石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(道路) (C o 舗装 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (再生密粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (C o 舗装 t=10cm)		m <sup>3</sup>
路盤工 (再生砕石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧(舗装版切断工) (As=10cmまで)		m
本復旧(舗装版破碎工) (t=10cmまで)		m <sup>2</sup>
本復旧(A s ガラ)		m <sup>3</sup>
敷砂利 (再生砕石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
建込簡易土留工 (H = 2.50m)	$12.500 + 0.450$	12.950 m





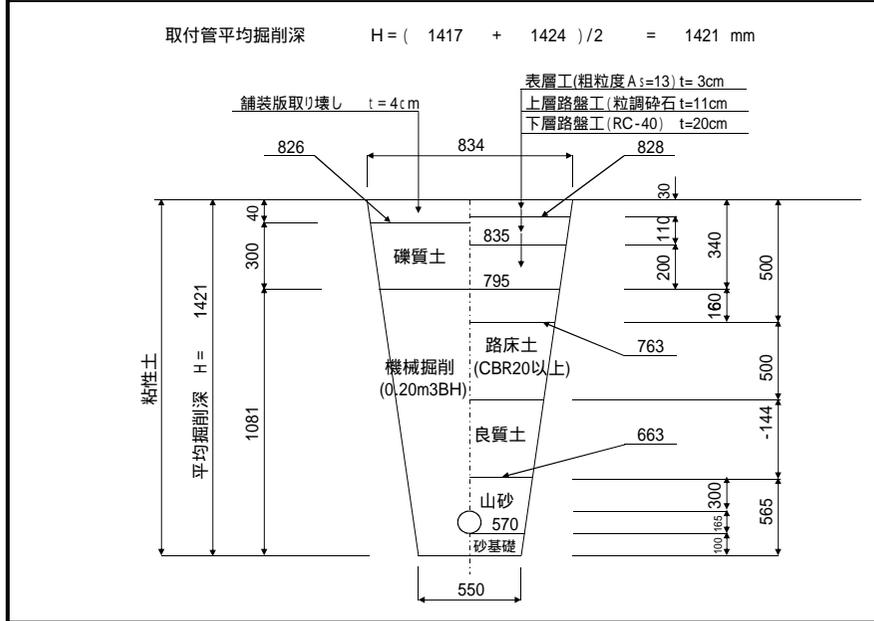
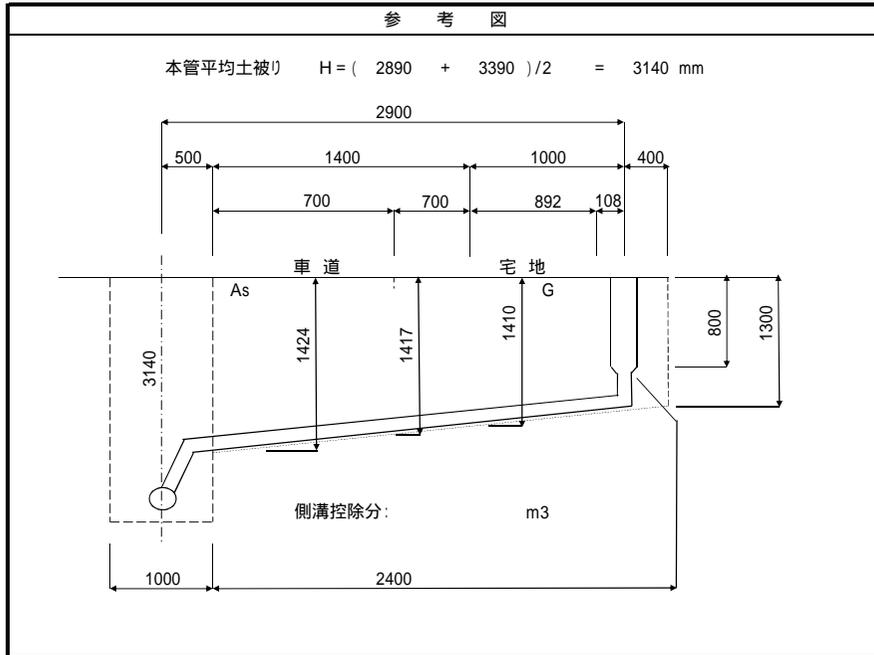
## 仮設材の運搬

仮設材運搬重量内訳表

項目	細目	搬入			搬出			貨物の種類	備考
		仮設材(t)	その他(t)	小計(t)	仮設材(t)	その他(t)	小計(t)		
建込簡易土留	H=2.0	12.00		12.00	12.00		12.00	A	
建込簡易土留	H=2.5	6.08		6.08	6.08		6.08	A	14.6/30 × 12.5
軽量鋼矢板	H=3.5	0.90		0.90	0.90		0.90	A	
小計	A			18.98			18.98		
小計	B								
合計				18.98			18.98		

	水替	交通誘導員
開削工事	4日	4日
0号マンホール	1日	1日
1号マンホール 割込	1日	1日
管路		1日
舗装		1日
合計	6日	8日

# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)



路線番号 1-2 (No.1~No.1) H=0.80m(C) 右側2箇所

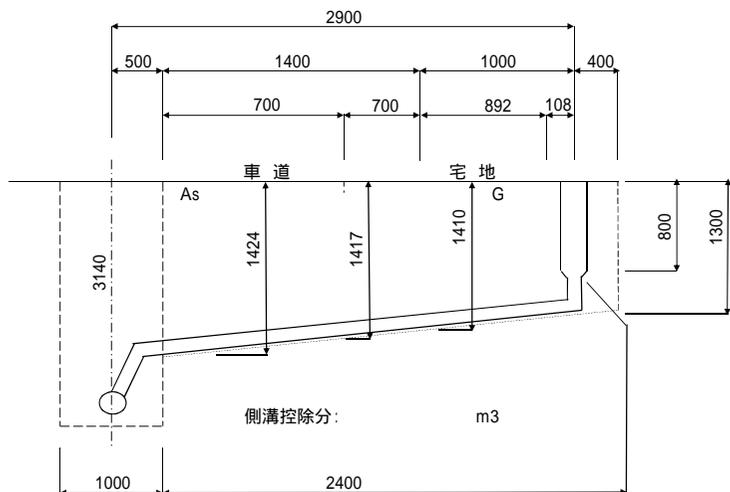
種 別	数 式	数 量	
舗装版砕砕工	舗装版切断工 (As=10cmまで)	$0.700 \times 2$	1.40 m
	舗装版破砕工 (t=4cm以下)	$0.834 \times 0.700$	0.58 m <sup>2</sup>
	舗装版破砕工 (t=5cm)		m <sup>2</sup>
	C <sub>o</sub> 舗装版切断工 (As=10cmまで)		m
	C <sub>o</sub> 舗装版破砕取壊し (t=10cm)		m <sup>3</sup>
掘削工	礫質土	$(0.826 + 0.795) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.700$	0.17 m <sup>3</sup>
	粘性土(道路)	$(0.795 + 0.550) \times 1/2 \times 1.081 \times 0.700$ $+ (0.834 + 0.550) \times 1/2 \times 1.421 \times 0.700$	1.20 m <sup>3</sup>
	砂質土(宅地)	$(0.821 + 0.550) \times 1/2 \times 1.355 \times 1.400$	1.30 m <sup>3</sup>
埋戻工	砂基礎	$(0.550 + 0.570) \times 1/2 \times 0.100 \times 2.292$	0.13 m <sup>3</sup>
	砂埋戻(管防護)	$((0.570 + 0.663) \times 1/2 \times 0.465 - /4 \times 0.165 \cdot 2) \times 2.292$	0.61 m <sup>3</sup>
	再生砕石	$(0.763 + 0.795) \times 1/2 \times 0.160 \times 0.700$	0.09 m <sup>3</sup>
	路床土(購入土)	$(0.663 + 0.763) \times 1/2 \times 0.500 \times 0.700$	0.25 m <sup>3</sup>
	発生土	$1.300 - (/4 \times 0.216 \cdot 2) \times 0.800$ $- (0.663 \times 0.550) \times 1/2 \times 0.565 \times 0.892$	0.97 m <sup>3</sup>
残土	土砂	$0.170 + 1.197 + 1.300 - 0.965 \times 1.11$	1.60 m <sup>3</sup>
	Asガラ	$0.584 \times 0.04$	0.02 m <sup>3</sup>
	C <sub>o</sub> ガラ		m <sup>3</sup>
管 布 設 工	管渠延長		2.40 m
	直管 VU150mm (L=0.8m)		本
	直管 VU150mm (L=4.0m)	$(2.40 - ( + )) \div 4.000$	1.0 本
	コンパクト支管 (200-150)		個
	可とう支管 (200-150)		1.0 個
	90°曲管 (150mm)		1.0 個
	15°~30°自在曲管 (150mm)		個
	45°~60°自在曲管 (150mm)		個
	75°自在曲管 (150mm)		1.0 個
	柵設置工 (H 1.5m)		1.0 箇所

# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)

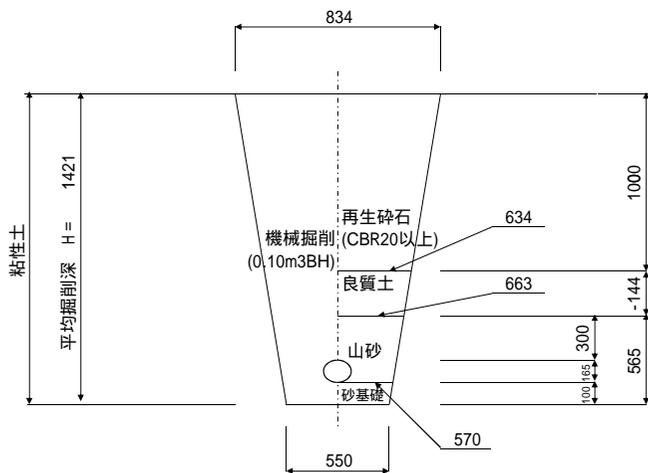
路線番号 1-2 (No.1~No.1) H=0.80m(C) 右側2箇所

参 考 図

本管平均土被り  $H = ( 2890 + 3390 ) / 2 = 3140 \text{ mm}$



取付管平均掘削深  $H = ( 1417 + 1424 ) / 2 = 1421 \text{ mm}$

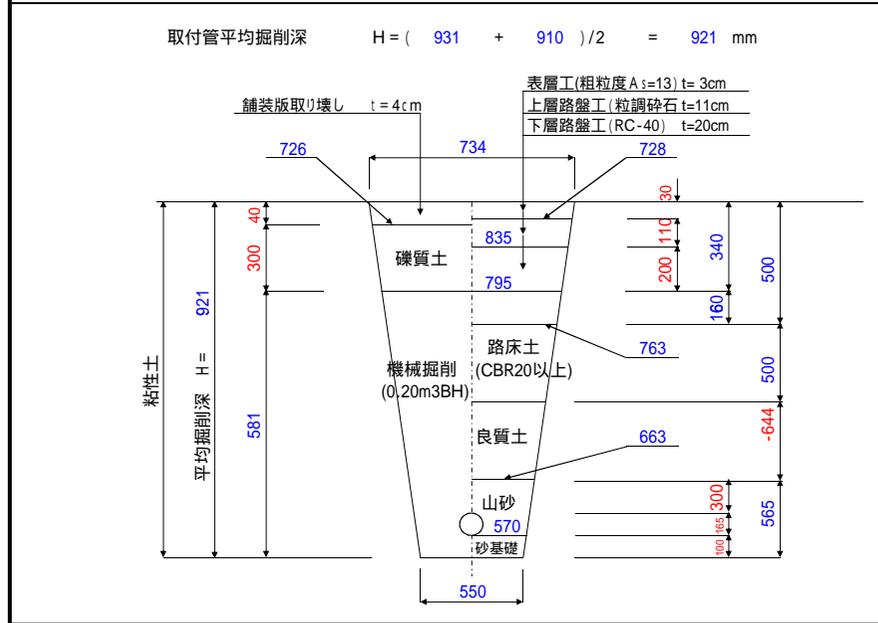
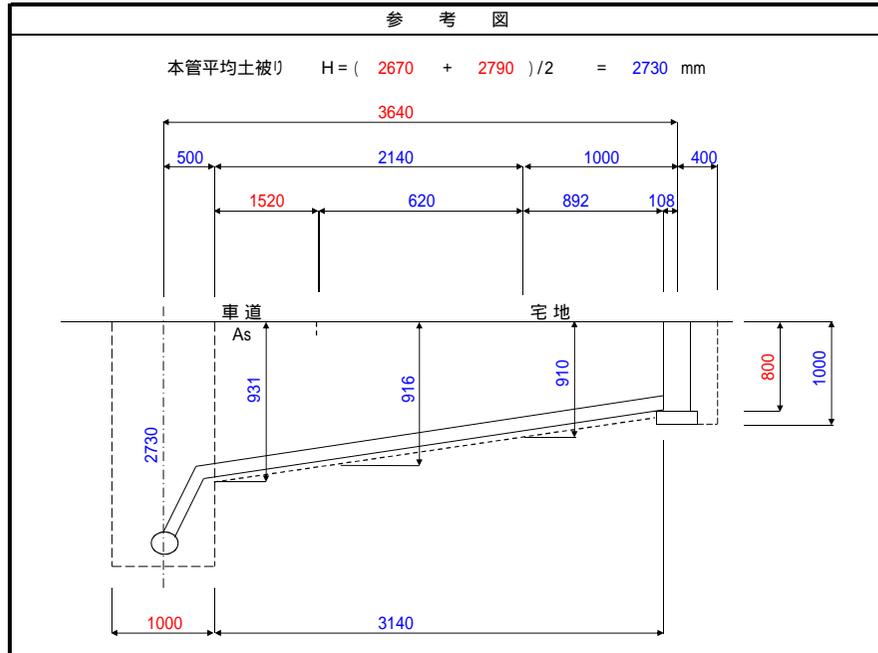


種 別	数 式	数 量
舗装復旧		
仮復旧工 (再生粗粒度As t=3cm)	$0.834 \times 0.700$	0.58 m <sup>2</sup>
本復旧工(表層工) (再生密粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(表層工) (再生密粒度As t=5cm)		m <sup>2</sup>
上層路盤工 (粒調砕石 t=11cm)	$0.826 \times 0.700$	0.58 m <sup>2</sup>
上層路盤工 (粒調砕石 t=17cm)		m <sup>2</sup>
下層路盤工 (再生砕石 t=20cm)	$0.835 \times 0.700$	0.58 m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道表層) (再生細粒度As t=3cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道路盤工) (再生砕石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(道路) (C0舗装 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (再生密粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (C0舗装 t=10cm)		m <sup>3</sup>
路盤工 (再生砕石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧(舗装版切断工) (As=10cmまで)		m
本復旧(舗装版破砕工) (t=10cmまで)		m <sup>2</sup>
本復旧(A;ガラ)		m <sup>3</sup>
土留工		
建込簡易土留工 (H = 2.00m)		m



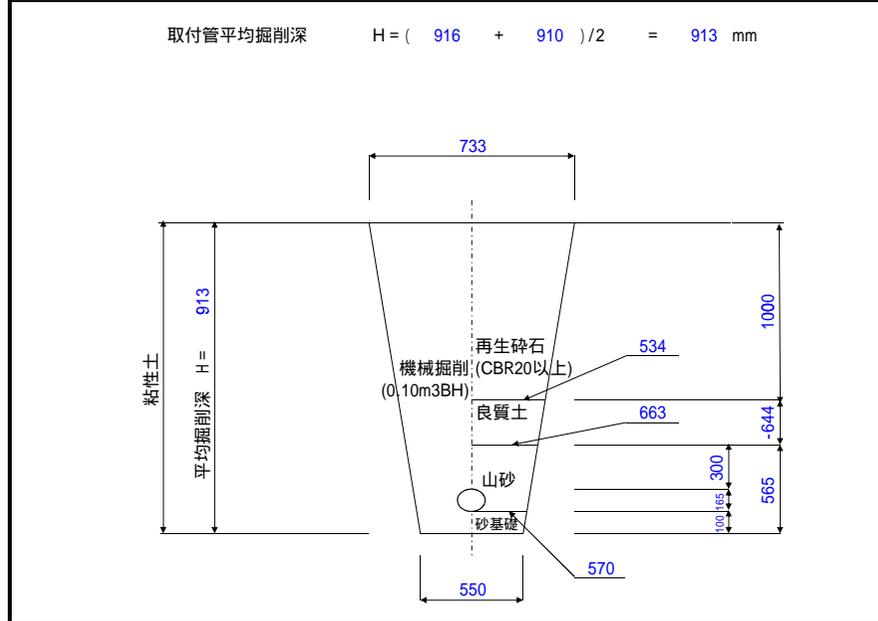
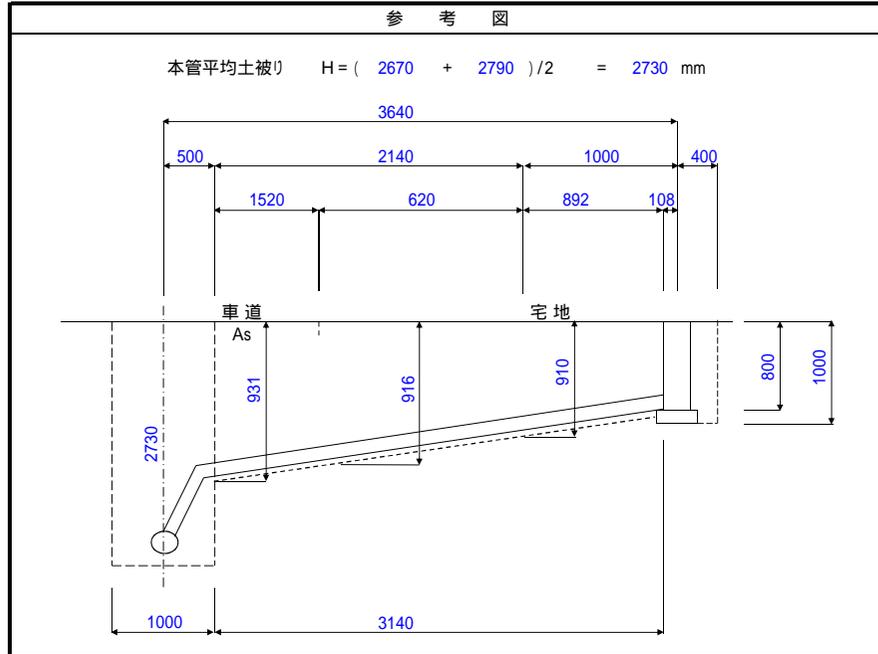
# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)

路線番号 1-1 (No.1 ~ No.1) H=0.80m(A)



種別	数式	数量
舗装版砕工	舗装版切断工 (As=10cmまで)	$1.520 \times 2 = 3.04 \text{ m}$
	舗装版破砕工 (t=3cm以下)	
	舗装版破砕工 (t=4cm)	$0.734 \times 1.520 = 1.12 \text{ m}^2$
	C <sub>o</sub> 舗装版切断工 (As=10cmまで)	
掘削工	C <sub>o</sub> 舗装版破取壊し (t=10cm)	
	礫質土	$(0.726 + 0.795) \times 1/2 \times 0.300 \times 1.520 = 0.35 \text{ m}^3$
	粘性土 (道路)	$(0.795 + 0.550) \times 1/2 \times 0.581 \times 1.520 + (0.733 + 0.550) \times 1/2 \times 0.913 \times 0.620 = 0.96 \text{ m}^3$
埋戻工	砂質土 (宅地)	$(0.741 + 0.550) \times 1/2 \times 0.955 \times 1.400 = 0.86 \text{ m}^3$
	砂基礎	$(0.550 + 0.570) \times 1/2 \times 0.100 \times 3.032 = 0.17 \text{ m}^3$
	砂埋戻 (管防護)	$((0.570 + 0.663) \times 1/2 \times 0.465 - 1/4 \times 0.165 \times 2) \times 3.032 = 0.80 \text{ m}^3$
	再生砕石	$(0.763 + 0.795) \times 1/2 \times 0.160 \times 1.520 = 0.19 \text{ m}^3$
	路床土 (購入土)	$(0.663 + 0.763) \times 1/2 \times 0.500 \times 1.520 = 0.54 \text{ m}^3$
残土	発生土	$0.863 - (1/4 \times 0.216 \times 2) \times 0.800 - (0.663 + 0.550) \times 1/2 \times 0.565 \times 0.892 = 0.53 \text{ m}^3$
	土砂	$0.347 + 0.957 + 0.863 - 0.528 \times 1.11 = 1.58 \text{ m}^3$
管渠延長	Asガラ	$1.116 \times 0.04 = 0.05 \text{ m}^3$
	C <sub>o</sub> ガラ	
	管渠延長	$3.14 \text{ m}$
管布設工	直管 VU150mm (L=0.8m)	
	直管 VU150mm (L=4.0m)	$(3.14 - ( ) \div 4.00 = 1.0 \text{ 本}$
	コンパクト支管 (200-150)	
	可とう支管 (200-150)	$1.0 \text{ 個}$
	90°曲管 (150mm)	
	15°~30°自在曲管 (150mm)	
	45°~60°自在曲管 (150mm)	
	85°自在曲管 (150mm)	$1.0 \text{ 個}$
柵設置工 (H 1.5m)	$1.0 \text{ 箇所}$	

# 污水柵設置及び取付管工数量計算書(車道)



路線番号 1-1 (No.1 ~ No.1) H=0.80m(A)

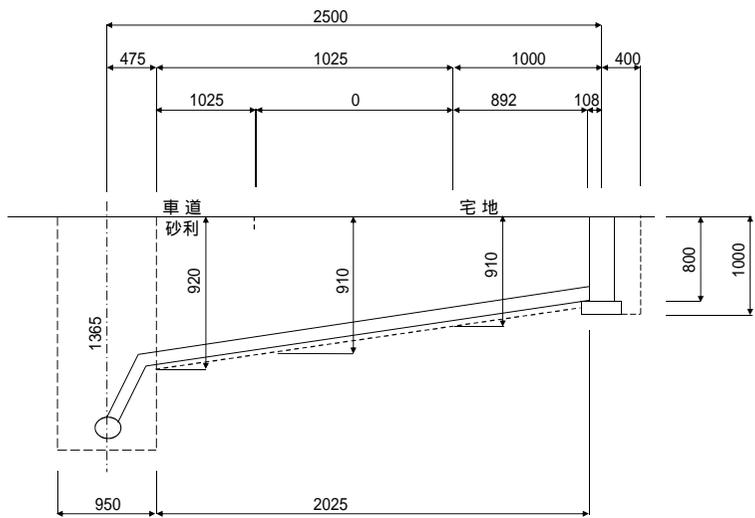
種 別	数 式	数 量
仮復旧工 (再生粗粒度As t=3cm)	$0.734 \times 1.520$	1.12 m <sup>2</sup>
本復旧工(表層工) (再生密粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(表層工) (再生密粒度As t=5cm)		m <sup>2</sup>
上層路盤工 (粒調碎石 t=11cm)	$0.728 \times 1.520$	1.11 m <sup>2</sup>
上層路盤工 (粒調碎石 t=17cm)		m <sup>2</sup>
下層路盤工 (再生碎石 t=10cm)	$0.835 \times 1.520$	1.27 m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道表層) (再生細粒度As t=3cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(歩道路盤工) (再生碎石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(道路) (C <sub>0</sub> 舗装 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (再生密粒度As t=4cm)		m <sup>2</sup>
本復旧工(宅地) (C <sub>0</sub> 舗装 t=10cm)		m <sup>3</sup>
路盤工 (再生碎石 t=10cm)		m <sup>2</sup>
本復旧(舗装版切断工) (As=10cmまで)		m
本復旧(舗装版破碎工) (t=10cmまで)		m <sup>2</sup>
本復旧(Asガラ)		m <sup>3</sup>
敷砂利 (再生碎石 t=3cm)		m <sup>2</sup>
土留工 建込簡易土留工 (H=2.00m)		m



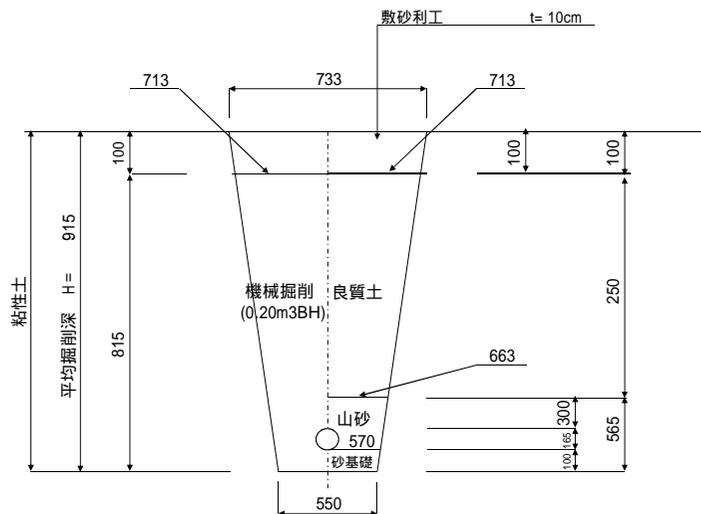
## 汚水桝設置及び取付管工数量計算書(砂利)

参 考 図

本管平均土被り  $H = (1340 + 1390) / 2 = 1365 \text{ mm}$



取付管平均掘削深  $H = (920 + 910) / 2 = 915 \text{ mm}$



路線番号 2176-2 (No.0 ~ No.1) H=0.80m(A)

種 別	数 式	数 量	
舗装 破砕工	舗装版切断工 (As=10cmまで)	m	
	舗装版破砕工 (t=3cm以下)	m <sup>2</sup>	
	舗装版破砕工 (t=4cm)	m <sup>2</sup>	
	C〇舗装版切断工 (As=10cmまで)	m	
	C〇舗装版破取壊し (t=10cm)	m <sup>3</sup>	
	礫質土 $(0.713 + 0.733) \times 1/2 \times 0.100 \times 1.025$	0.07	m <sup>3</sup>
掘削工	粘性土(道路) $(0.713 + 0.550) \times 1/2 \times 0.815 \times 1.025$	0.53	m <sup>3</sup>
	砂質土(宅地) $(0.741 + 0.550) \times 1/2 \times 0.955 \times 1.400$	0.86	m <sup>3</sup>
	砂基礎 $(0.550 + 0.570) \times 1/2 \times 0.100 \times 1.917$	0.11	m <sup>3</sup>
埋 戻 工	砂埋戻(管防護) $((0.570 + 0.663) \times 1/2 \times 0.465 - /4 \times 0.165 \cdot 2) \times 1.917$	0.51	m <sup>3</sup>
	再生碎石	m <sup>3</sup>	
	路床土(購入土)	m <sup>3</sup>	
	発生土 $0.863 - (/4 \times 0.216 \cdot 2) \times 0.800 - (0.663 + 0.550) \times 1/2 \times 0.565$ $\times 0.892$	0.53	m <sup>3</sup>
	土砂	0.074	0.07 m <sup>3</sup>
残 土	A:ガラ	m <sup>3</sup>	
	C〇ガラ	m <sup>3</sup>	
	管渠延長	2.03	m
管 布 設 工	直管 VU150mm (L=0.8m)		本
	直管 VU150mm (L=4.0m) $(2.03 - ( + )) \div 4.00$	1.0	本
	コンパクト支管 (200-150)		個
	可とう支管 (200-150)		1.0 個
	90°曲管 (150mm)		個
	15°-30°自在曲管 (150mm)		個
	45°-60°自在曲管 (150mm)		1.0 個
	75°自在曲管 (150mm)		個
	桝設置工 (H 1.5m)		1.0 箇所



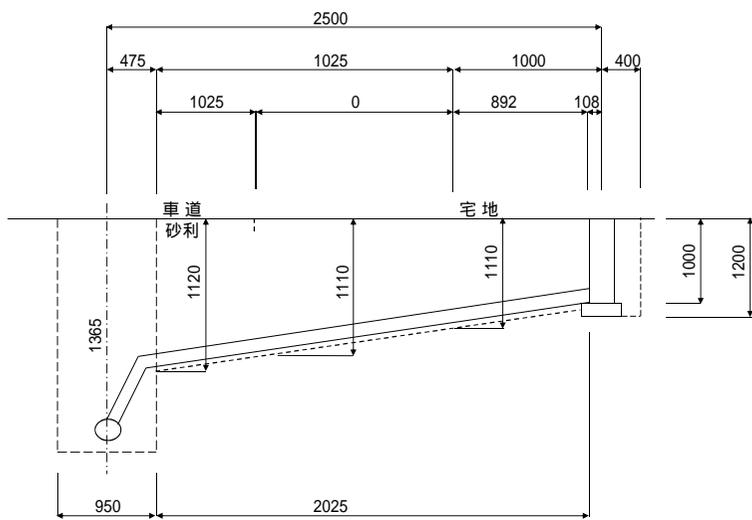


# 汚水柵設置及び取付管工数量計算書(砂利)

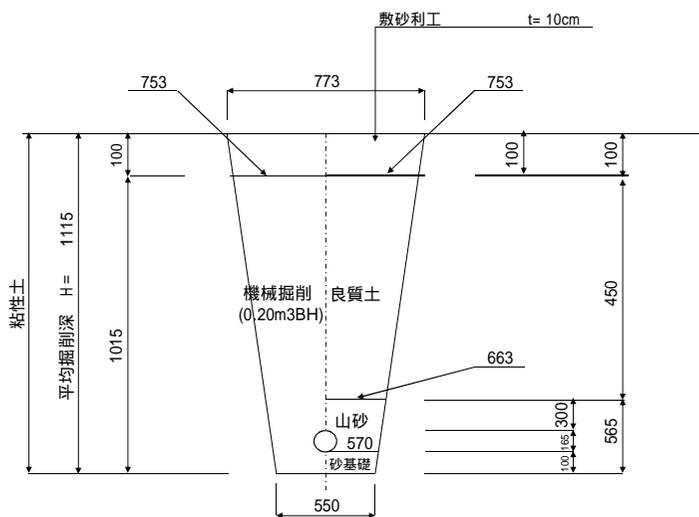
路線番号 2176-2 (No.0 ~ No.1) H=1.00m(B)

参考図

本管平均土被り  $H = (1340 + 1390) / 2 = 1365 \text{ mm}$



取付管平均掘削深  $H = (1120 + 1110) / 2 = 1115 \text{ mm}$



種別	数式	数量	
舗装破碎工	舗装版切断工 (As=10cmまで)	m	
	舗装版破碎工 (t=3cm以下)	m <sup>2</sup>	
	舗装版破碎工 (t=4cm)	m <sup>2</sup>	
	C○舗装版切断工 (As=10cmまで)	m	
	C○舗装版破壊し (t=10cm)	m <sup>3</sup>	
	礫質土	$(0.753 + 0.773) \times 1/2 \times 0.100 \times 1.025$	0.08 m <sup>3</sup>
掘削工	粘性土(道路)	$(0.753 + 0.550) \times 1/2 \times 1.015 \times 1.025$	0.68 m <sup>3</sup>
	砂質土(宅地)	$(0.781 + 0.550) \times 1/2 \times 1.155 \times 1.400$	1.08 m <sup>3</sup>
埋戻工	砂基礎	$(0.550 + 0.570) \times 1/2 \times 0.100 \times 1.917$	0.11 m <sup>3</sup>
	砂埋戻(管防護)	$((0.570 + 0.663) \times 1/2 \times 0.465 - /4 \times 0.165 \cdot 2) \times 1.917$	0.51 m <sup>3</sup>
	再生砕石		m <sup>3</sup>
	路床土(購入土)		m <sup>3</sup>
	養生土	$1.076 - (/4 \times 0.216 \cdot 2) \times 1.000 - (0.663 + 0.550) \times 1/2 \times 0.565$ $\times 0.892$	0.73 m <sup>3</sup>
	土砂	0.078	0.08 m <sup>3</sup>
残土	A:ガラ		m <sup>3</sup>
	C○ガラ		m <sup>3</sup>
	管渠延長		2.03 m
管布設工	直管 VU150mm (L=0.8m)		本
	直管 VU150mm (L=4.0m)	$(2.03 - ( + )) \div 4.00$	1.0 本
	コンパクト支管 (200-150)		個
	可とう支管 (200-150)		1.0 個
	90°曲管 (150mm)		個
	15°-30°自在曲管 (150mm)		個
	45°-60°自在曲管 (150mm)		1.0 個
	75°自在曲管 (150mm)		個
	柵設置工 (H 1.5m)		1.0 箇所





## 舗装の切断作業時に発生する排水量算定

本陣前 2417-2

舗装切断延長 = 24.0 m

$$\begin{aligned}
 \text{排水量 (m3)} &= \text{当該工事施工量} \div \text{日あたり施工量} \times \text{日当たり使用水量} \times \text{回収率} \\
 &= 24.0 \div 240 \times 1.8 \times 0.85 \\
 &= \underline{\underline{0.1}} \text{ m3}
 \end{aligned}$$

### 日あたり施工量

#### (1) アスファルト舗装

アスファルト舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	240 m/日
15cmを超え30cm以下	170 m/日
30cmを超え40cm以下	120 m/日

#### (2) コンクリート舗装

コンクリート舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	150 m/日
15cmを超え30cm以下	70 m/日

### 日当たり使用水量・回収率

舗装種別	舗装厚 (cm)	日あたり 使用水量(m3)	回収率 (%)
アスファルト舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85
	30 < t 35	1.8	85
	35 < t 40	2.4	85
コンクリート舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85

## 舗装の切断作業時に発生する排水量算定

大木戸地区(仮復旧)

舗装切断延長 = 18.5 m

$$\begin{aligned}
 \text{排水量 (m3)} &= \text{当該工事施工量} \div \text{日あたり施工量} \times \text{日あたり使用水量} \times \text{回収率} \\
 &= 18.5 \div 240 \times 1.8 \times 0.85 \\
 &= \underline{\underline{0.1}} \text{ m3}
 \end{aligned}$$

合計 0.2 m3

### 日あたり施工量

#### (1) アスファルト舗装

アスファルト舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	240 m/日
15cmを超え30cm以下	170 m/日
30cmを超え40cm以下	120 m/日

#### (2) コンクリート舗装

コンクリート舗装版厚さ	作業日あたり施工量
15cm以下	150 m/日
15cmを超え30cm以下	70 m/日

### 日あたり使用水量・回収率

舗装種別	舗装厚(cm)	日あたり使用水量(m3)	回収率(%)
アスファルト舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85
	30 < t 35	1.8	85
	35 < t 40	2.4	85
コンクリート舗装	t 15	1.8	85
	15 < t 30	1.8	85









# 特記仕様書

工 事 名：原町区下水管渠築造第3工区工事

工事施工箇所：南相馬市原町区小川町 地内外

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和 7年6月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第4章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第6章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第7章 週休2日確保モデル工事等
- ・第8章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第9章 ふくしまME資格取得者の現場活用
- ・第23章 法定外の労災保険の付保
- ・第24章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第25章 再生資源利用計画書
- ・第26章 再生資源利用促進計画書
- ・第29章 その他

3 第2章～第6章、第15章～第22章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

福島県ホームページ>組織でさがす>技術管理課>特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
1) 小川町工区			
位置図	1	1	
平面図・縦断図	2	1	
横断図	3～4	2	
標準土工図	5	1	
建込簡易土留工図	6	1	
1号・小型マンホール標準図	7	1	
取付管標準図	8	1	

図面名	図面番号	葉数	適用
本陣前・大木戸工区			
位置図(本陣前)	1	1	
平面・縦断図(本陣前)	2	1	
小型マンホール標準図(本陣前)	3	1	
内副管標準図(本陣前)	4	1	
本管土工図(本陣前)	5	1	
取付管標準図	6	1	
取付管土工図	7	1	
建込簡易土留図	8	1	
位置図(大木戸)	9	1	
平面・横断図(大木戸)	10	1	
仮設図(大木戸)	11	1	
舗装本復旧図(大木戸)	12	1	
0号マンホール標準図(大木戸)	13	1	
計	全21葉		

- 6 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。
- 7 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。
- 8 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン(総合版)」(福島県土木部)を活用すること。  
技術管理課ホームページ参照

南相馬市

第1章 一般共通事項

- 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- |              |                            |   |                                       |
|--------------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林  | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 2) 鳥獣保護区域    | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 4) 鉄道近接区域    | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 5) その他       | <input type="checkbox"/> 有 | ・ | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |

- 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 有 ・ 無  
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

- 4 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

第2章 フレックス工事

（詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。

第3章 準備期間確保工事

（詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（ 日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。

第4章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと）

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

第5章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は県技術管理課ホームページを参照のこと）

□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: \_\_\_\_\_%

現場管理費(率分)に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: \_\_\_\_\_%

□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用)の割合: \_\_\_\_\_%

現場管理費(率分)に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課)の割合: \_\_\_\_\_%

第6章 快適トイレの設置

(本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境(工事期間、周辺環境、労働者配置状況等)を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第7章 週休2日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」に定める工事のうち、としている箇所の対象工事である。

「週休2日確保モデル工事(発注者指定型)」 月単位 通期

「週休2日確保交替制工事(発注者指定型)」 月単位 通期

「完全週休2日モデル工事(発注者指定型)」

なお、「週休2日確保モデル工事(発注者指定型)」及び「週休2日確保交替制工事(発注者指定型)」において、受注者が「月単位の4週8休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第8章 建設キャリアアップシステム活用工事

(本章はすべての工事に該当する)

1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

(なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)

第9章 ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

第10章 総 則

1 施工計画書

工程管理はバーチャート又はネットワークにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

2 工事用地等の使用

1) \_\_\_\_\_作業に係るヤードとして、別添「\_\_\_\_\_図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

2) 使用にあたっての条件、制限等

3 関連工事：無し

1) 工事名：

2) 施工箇所：

4) 注意・指示事項：

4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目：\_\_\_\_\_ 数量：\_\_\_\_\_

引渡時期：\_\_\_\_\_

引渡場所：\_\_\_\_\_

5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目：\_\_\_\_\_

引渡時期：\_\_\_\_\_

引渡場所：\_\_\_\_\_

2) 従来施設の撤去により発生した\_\_\_\_\_は、\_\_\_\_\_材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

6 建設副産物処理

1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指

定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設
アスファルト合材	(再資源化・ <b>中間</b> ・最終)施設へ搬入	加藤道路(株)
汚泥	(再資源化・ <b>中間</b> ・最終)施設へ搬入	(株)モンマ
無筋コンクリート	(再資源化・ <b>中間</b> ・最終)施設へ搬入	加藤建材工業(株)

積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事(工種)の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、～に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事(工種)	実施時期	備考(具体的な工種等)
竣工検査時に確認困難な工事(工種)(足場、仮設を撤去すると現場に行けなくなる等。)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・対象工種が完成してから足場、仮設等を撤去するまでの間。	
不可視部の工事(工種)で2)に示すもの	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・不可視部の施工が完了、又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、配筋が完了、又は概ね完了した時。	2)に示す工事(工種)
工期が1年以上となる工事。	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・協議による。	
その他、発注者が必要とする工事(工種)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事(工種)

注1) 監督員は、有無に 印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) 不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

- 杭基礎、場所打杭、深礎杭、ケーソン基礎、地盤改良  
捨石均し、被覆・根固め均し、井筒潜函基礎、山腹基礎床掘  
上層路盤(1,000m<sup>2</sup>以上の工事)

- 現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
- 橋台・橋脚、現場制作 P C 橋、床版
- 水門・樋門
- ブロック製作、ケーソン製作
- 覆工 Co の前段工事
- その他【    】

3 ) その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。

- 桁の仮組立
- 水門扉、可動堰、スノーシェッド、ポンプ施設、除塵機、棧橋
- 堰堤（Co、盛土）
- 堰（工場制作）、ラバーダム
- 地盤変動等の影響が予想される掘削
- 仮橋、路面覆工（一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの）
- 仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
- その他【    】

☑ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考
資材検収(寸法、数量等)	各種資材	検収時	
土留設置(深さ、幅、建込状況)	スパンにつき 1 箇所	土留設置完了時	
土工・掘削(深さ、幅、床付け状況)	スパンにつき 1 箇所	掘削完了時	
基礎工・砕石基礎(厚さ、幅)	スパンにつき 1 箇所	砕石基礎完了時	
本管布設工(管底高、中心線の偏位)	スパンにつき 1 箇所	本管布設完了時	
取付管布設工(支管取付状況)	スパンにつき 1 箇所	取付管布設完了時	
土工・埋戻(基準高(下がり)、幅)	スパンにつき 1 箇所		
下層路盤工 (基準高(下がり)、厚さ、幅)	スパンにつき 1 箇所	下層路盤完了時	
上層路盤工 (基準高(下がり)、厚さ、幅)	スパンにつき 1 箇所	上層路盤完了時	
マンホール設置工 (深さ、天端高、可とう継手取付状況)	マンホール毎	マンホール設置完了時	
本管カメラ調査	全スパン	工事完成時	

☑ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

☑ 1 ) 出来形管理

工種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
本管布設工	管底高、中心線の偏位	本管 1 本につき 1 回	

## □ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

## ☑ 3) 写真管理

工種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度
取付管布設工	支管取付状況	1箇所につき1回	1箇所毎
取付管布設工	取付管布設状況	1箇所につき1回	1箇所毎
取付管布設工	管延長測定状況	1箇所につき1回	1箇所毎

## □ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘要

## ☑ 11 用地取得及び支障物件

## □ 1) 工事区域内的の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了 )

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

## ☑ 2) 工事支障物件： □ 有 ・ ☑ 無

【支障物件移転予定時期】 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

## ☑ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、当月末に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

## ☑ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は起終点に 2人 配置するものとし、取付管施工時を含め 76人 を配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

## ☑ 14 作業工程

1) 全ての作業は、昼間作業とし、時間帯は 8 時 ~ 17 時までとする。

2) 現道の使用規制について

現道は、片側交互通行及び通行止めにより本工事を施工するものとする

15 仮設

1) 指定仮設の有無  有

2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考
建込簡易土留	H = 1.50m	建込簡易土留工図	
建込簡易土留	H = 2.00m	建込簡易土留工図	
建込簡易土留	H = 2.50m	建込簡易土留工図	

3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： \_\_\_\_\_ 数量等： \_\_\_\_\_

存置期間： \_\_\_\_\_

16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	( )	用水・電力等の供給設備 緑化・花壇 ライトアップ施設 見学路及び椅子の設置 昇降設備の充実 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	( )	現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 労働者宿舍の快適化 デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 現場休憩所の快適化 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	( )	工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 盗難防止対策(警報器等) 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	( )	完成予想図 工法説明図 工事工程表 デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 パンフレット・工法説明ビデオ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 社会貢献

17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工種	工法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工種	工法	検体数	備考
		検体	
		検体	
		検体	

☑第11章 材 料

☑1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

☑2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考
再生骨材	RC-40	基礎工、下層路盤工	
再生アスファルト材	密粒度 As13	表層工	

再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験( )

				確認資料・見本 ・試験( )
				確認資料・見本 ・試験( )

備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

## ☑第12章 一般施工

### ☑1 建設発生土の処理

- ☑1) 他工事への流用:  無

工事名: \_\_\_\_\_ 路河川名: \_\_\_\_\_  
 施工場所: \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内  
 運搬距離 \_\_\_\_\_ km

- ☑2) 発生処理 (小川町工区: 374.6 m<sup>3</sup>、本陣前工区他: 109.1 m<sup>3</sup>)

受入場所: 南相馬市鹿島区南右田 字二ツ沼 地内

運搬距離 8.5 km (小川町工区)、12.0km (本陣前工区他)

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

### ☑2 他工事からの流用土

- ☑1) 他工事からの流用:  無

工事名: \_\_\_\_\_ 路河川名: \_\_\_\_\_  
 指定・施工場所: \_\_\_\_\_ 市・郡 \_\_\_\_\_ 町・村 大字 \_\_\_\_\_ 字 \_\_\_\_\_ 地内  
 運搬の有無:  有 ・  無 ( \_\_\_\_\_ km )  
 品質: \_\_\_\_\_  
 品質の確認試験( \_\_\_\_\_ )については、 \_\_\_\_\_ で実施

☑3 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	☑ 普通ポルトランドセメント
	☑高炉セメントB種 <sup>1)</sup> □ 混合セメントB種 □フライアッシュセメントB種 □シリカセメントB種
	□ 早強ポルトランドセメント
気象条件	□ 暑中コンクリート(日平均気温が25 を超える場合)
	□ 寒中コンクリート(日平均気温が4 以下になる場合) □連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 水で飽和される部分 <sup>2)</sup> □普通の露出状態

- 1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

- 2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される

□第13章 その他施工

□1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

- 4 ポリマー改質 型アスファルト混合物の使用 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「 」）

道路区分	舗装計画 (単位1日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位1ミメートルにつき回)	該当欄
第1種、第2種	3,000 以上	3,000	
第3種第1級及び第2級	3,000 未満	1,500	
第4種第1級			
その他		500	
	交差点等耐流動対策混合物として使用	1,500	

- 5 植栽工 植栽に係る直接工事費が50万円以上となる工事の場合に記載  
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。  
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

- 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

- 第14章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編 」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の△印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

- 1 工事を行う基本方針（指針P13）

**基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設**

- 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- 右利き、左利きに対応した施設

- 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- プライバシーに配慮された施設
- 天候や季節に左右されない施設
- 疲れたときに休むことができる施設

**基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設**

- 使い方を直感的に理解できる施設
- 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- 必要な情報が容易にわかる施設

**基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設**

- 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- 危険な部分が防護されている施設
- 四季を通じて安全な施設
- 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

**基本方針4 さりげなく 美しい 施設**

- 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

**基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設**

- できる限り同じ手段で利用できる施設
- 利用者に応じた使い方が選べる施設
- 利用者のペースに合わせることができる施設
- 情報がその重要さに応じて提供される施設
- 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

- 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所
- 
-

□第15章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。  
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
  - ・道路構造物の記録保存資料
- 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。  
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
  - ・道路舗装構成等の記録保存資料

□第16章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第17章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区： 工区（施工箇所 ）、 工区（施工箇所 ）、  
工区（施工箇所 ）（ホームページではこれらを対象地区という）  
（なお、積算上の親工区は、 工区（施工箇所 ）とする。）

□第18章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第19章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は（ 受注者希望型 ・ 発注者指定型 ）である。
- 2 ICT活用工事（土工）  
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（土工）」の対象工事である。
- 3 ICT活用工事（舗装工）  
本工事は、「福島県土木部ICT活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事（舗装工）」の対象工事である。
- 4 ICT活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(浚渫工(港湾))」の対象工事である。

□5 ICT活用工事(土工1,000m<sup>3</sup>未満)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工1,000m<sup>3</sup>未満)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工1,000m<sup>3</sup>未満)」の対象工事である。

□6 ICT活用工事(小規模土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(小規模土工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(小規模土工)」の対象工事である。

☑第20章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第21章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☑第22章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

)作業不能日数：7日間

)上記)は、環境省が公表する東北地方福島(相馬)地点におけるWBGT値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和2年～6年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したものの。

)気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方福島(相馬)地点におけるWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したものの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第23章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類(証券等の写し)を提出しなければならない。

## 第24章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

### 1 異常気象時等の対象

#### (1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

#### (2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

### 2 パトロール等の実施及び報告の内容について

作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。

天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。

警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。

異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員(連絡が取れない場合は、係長又は課長)に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、FAX又はメールする。

### 3 報告期限について

#### (1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

#### (2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

(別紙様式)

建設事務所 部 課 行 (FAX:024- - )

施工に応じた点検項目を設定すること。  
 「路面の凹凸」  
 「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

## 異常気象時等現場点検結果報告書(例)

工事名	工第 - 4 1 3 0 0 - 号		工事
場所	市		地内
請負者	(株)		
現場代理人			
点検日時 (24時間表示)	開始	令和 年 月 日 時 分	
	終了	令和 年 月 日 時 分	
点検項目	異常の有無		
現場内の状況			
・法面の崩壊	無し		
・法面の亀裂	有り(延長00m、法長00m)		
・法面からの湧水	無し		
・路面の陥没	無し		
・仮設の設置状況	無し		
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し		
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し		
・河川、水路の水位の上昇状況	無し		
・土石流の発生	無し		
・地すべりの発生	無し		
現場周辺の状況			
・法面の状況	無し		
・路面の状況	無し		
・流末排水の状況	無し		
・雨量計の読み取り	000 mm		
・土石流危険渓流の状況	無し		
・砂防指定地の状況	無し		
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し		
・地すべり危険区域の状況	無し		
・その他異常の有無	無し		
処置内容			
・No.0～No.10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。			

## 第25章 再生資源利用計画書

### (本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 第26章 再生資源利用促進計画書

### (本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

### □第27章 三者協議

本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

### □第28章 国土強靱化事業の取組に関する広報

本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

## 工事名標示板のイメージ (例)

<b>ご協力をお願いします</b>
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています
<b>いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事</b>
<b>令和〇年〇月〇日まで</b> <b>時間帯〇:〇〇~〇:〇〇</b>
<b>河川(交付)工事(開削)</b>
<b>発注者</b> 福島県〇〇建設事務所 〇〇課 <b>施工者</b> 〇〇〇〇建設株式会社 <b>電話</b> 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

### ☑第29章 その他

工事完成後に本管カメラ調査を監督員立会のもと実施し、本管内部及び取付管接続部の状況について動画及び写真撮影を行い、適正に施工されていること確認し、発注者へ調査報告書を提出すること。なお、本管カメラ調査にかかる費用は、共通仮設費の技術管理費に積上げ計上している。

---

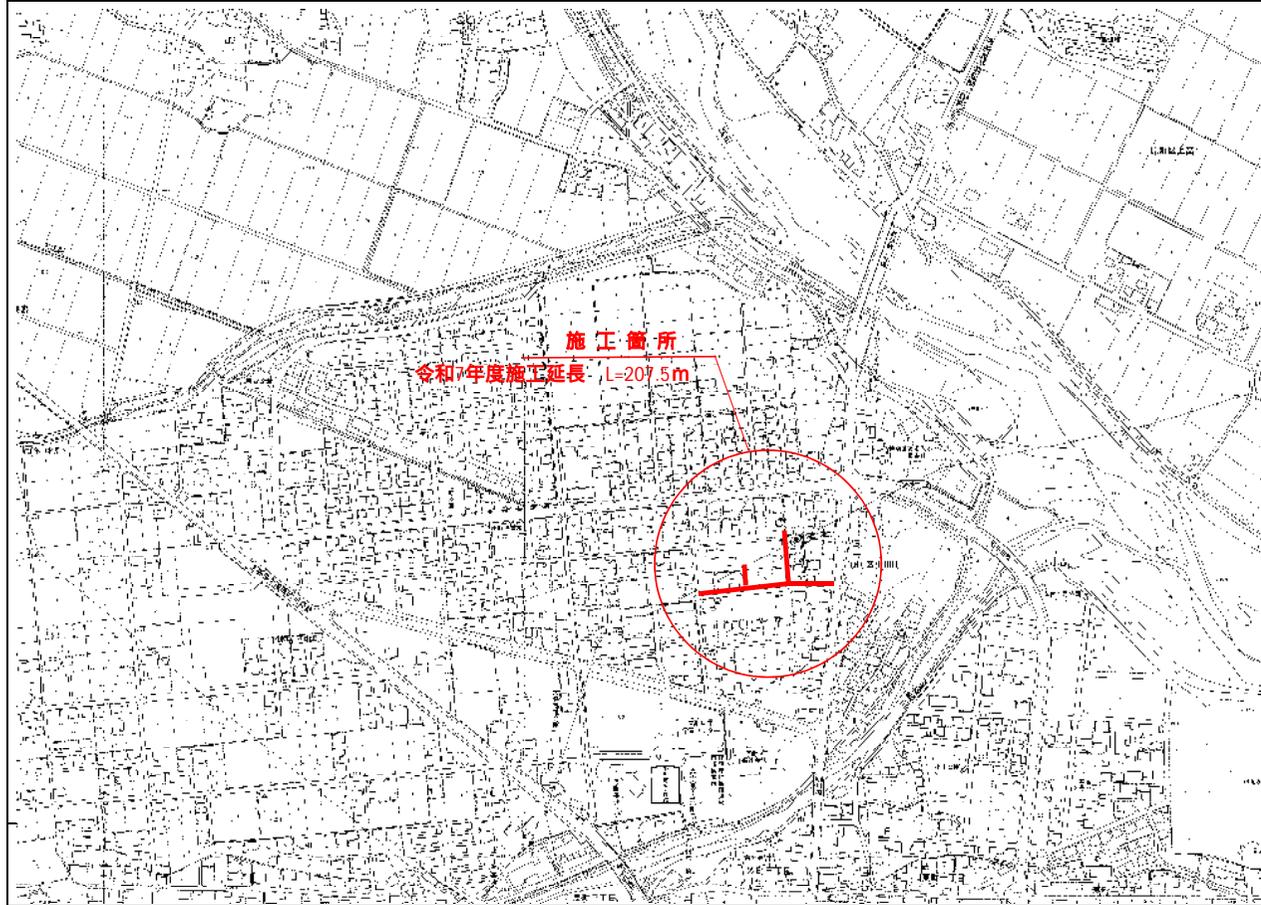
---

---

---

# 位置図

南相馬市原町区上波佐字小川町 地内

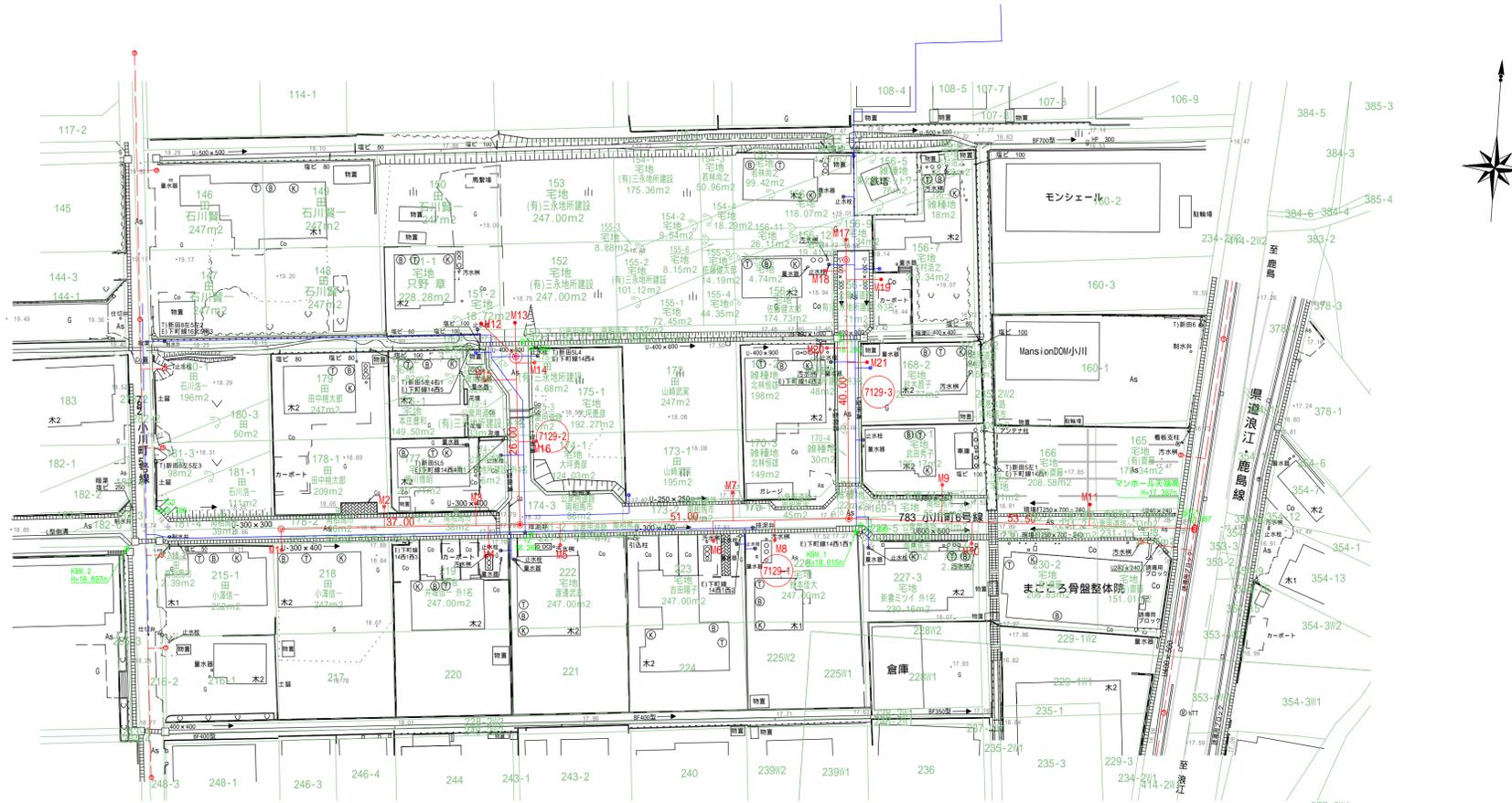


令和7年度				
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内				
原町区下水管渠築造第3工区(小川町工区)工事				
位置図				
縮尺		図面全8葉の1		
測量	株式会社日建	R6年11月 日	主任 技術者	
設計	株式会社日建	R6年11月 日	管理 技術者	
南 相 馬 市				

# 平面図

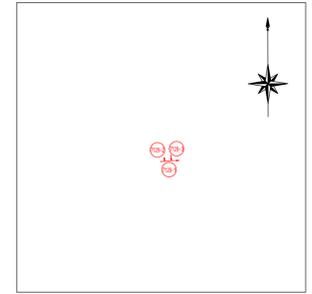
S=1:500

所在：南相馬市原町区小川町 地内



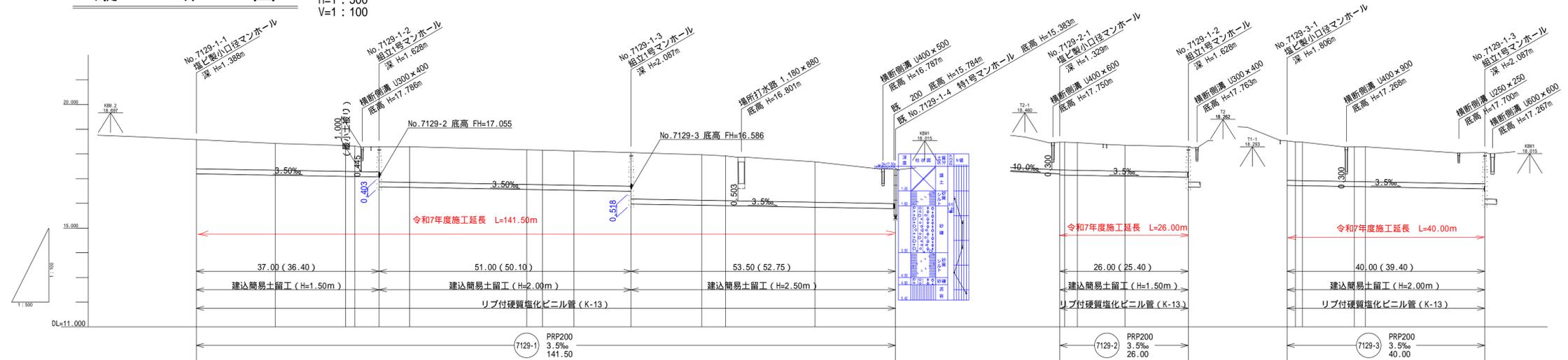
## 位置図

S = 1 : 25,000



## 縦断図

H=1:500  
V=1:100



測点	測点距離	追加距離	管底高	土被り	掘削深	地盤高
7129-1-1 (M1)	0.000	0.000	17.192	1.185	1.491	18.580
M2	16.000	16.000	17.137			18.424
M3	30.201	30.201	17.087			18.337
M4	32.097	32.097	17.089			18.311
7129-1-2	37.000	37.000	17.065	1.022	1.328	18.290
M5	43.175	43.175	16.642	1.425	1.731	18.292
M6	66.891	66.891	16.559			18.164
M7	70.042	70.042	16.548			18.154
M8	76.439	76.439	16.526			18.118
7129-1-3	88.000	88.000	16.487	1.366	1.672	18.056
M9	102.283	102.283	15.921	1.884	2.190	17.964
M10	107.112	107.112	15.904			17.921
M11	125.223	125.223	15.840			17.678
7129-1-4	53.500	53.500	15.784	1.391	1.697	17.378
M12	0.000	0.000	17.144			18.472
M13	1.000	1.000	17.141			18.475
M14	3.557	3.557	17.132			18.457
M15	13.164	13.164	17.098			18.363
7129-1-2	26.000	26.000	17.065	1.032	1.338	18.290
M16	0.000	0.000	16.662	1.425	1.731	18.290
M17	0.000	0.000	16.724			18.530
M18	1.688	1.688	16.719			18.487
M19	3.082	3.082	16.714			18.478
M20	13.599	13.599	16.677			18.291
M21	15.863	15.863	16.669			18.289
7129-1-3	40.000	40.000	16.586	1.267	1.573	18.056
M22	0.000	0.000	15.989	1.884	2.190	17.921

## 凡例

記号	名称
⑩	PRP200 3.5% 207.50
⑩	管径配長
○	1号マンホール (内径90cm)
○	小口径マンホール (内径30cm)
○	既設構内マンホール (内径90 x 60cm)
●	汚水樹 (鉄蓋)・取付管
⊙	汚水樹 (塩ビ蓋)・取付管

路線番号	
7129-1	7129-2
7129-3	

世界測地系(測地成果2011)  
標高は、マンホール天端高 H=17.378mを基準とする

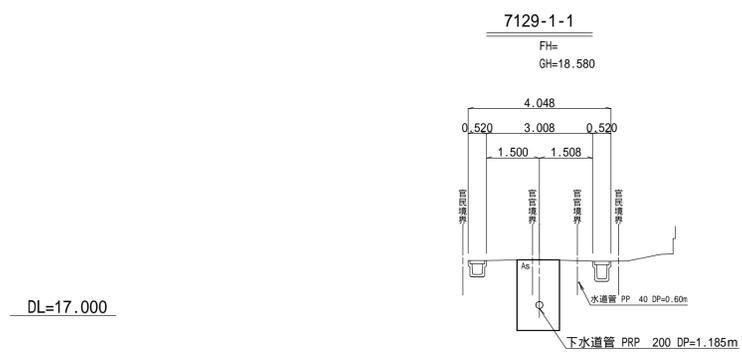
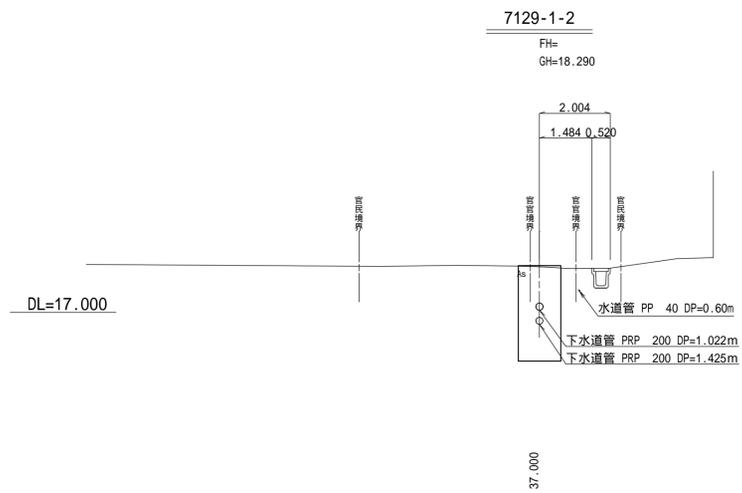
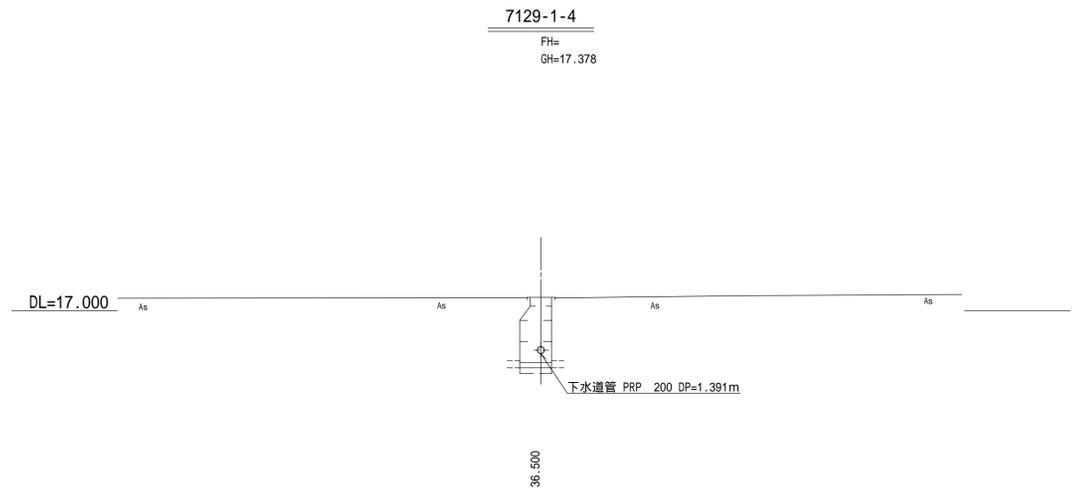
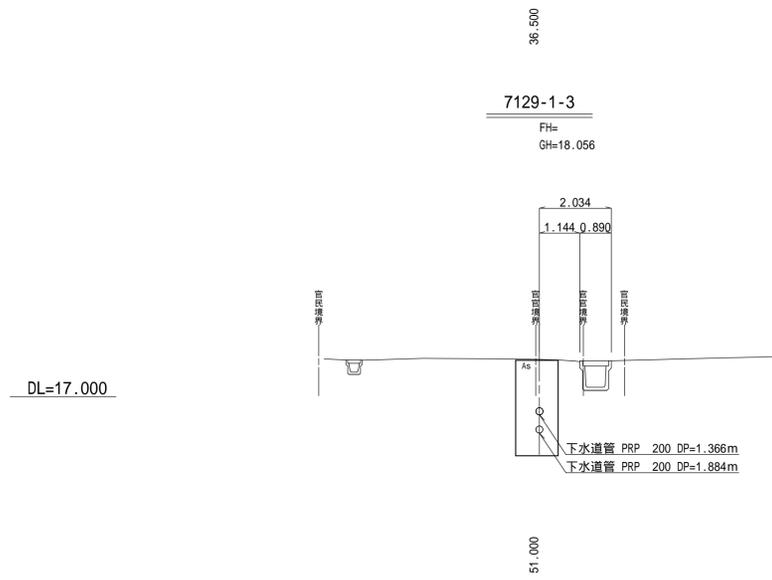
令和7年度  
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内  
原町区下水道築造第3工区(小川町工区)工事

## 平面・縦断図

縮尺	S=1:500	図面全	8	葉の2
測量	株式会社 日建	R6年 月 日	主任技師	
設計	株式会社 日建	R6年 月 日	管理技師	

南相馬市

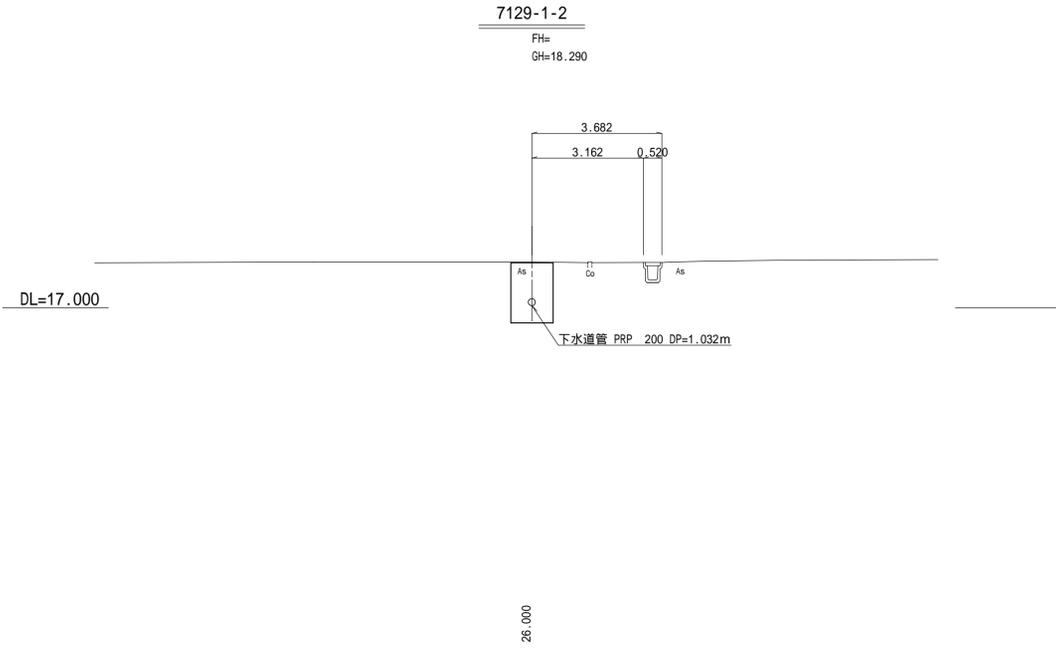
横断図  
S=1:100  
(7129-1号路線)



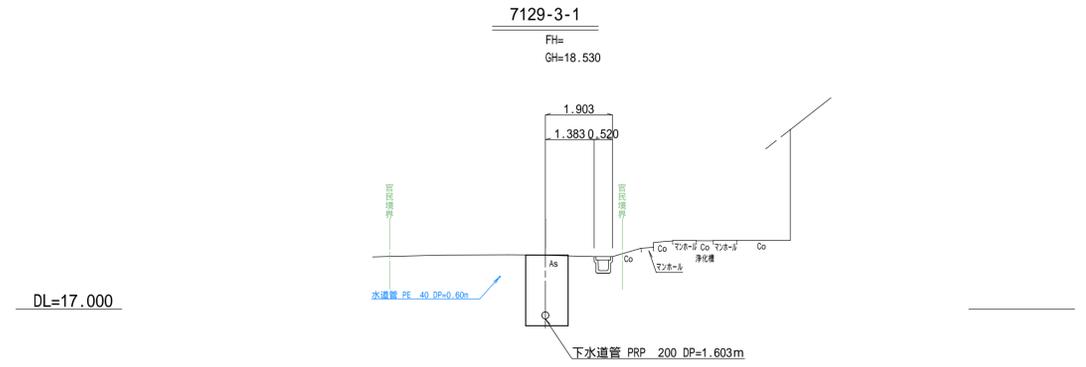
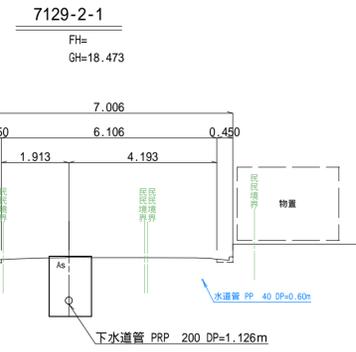
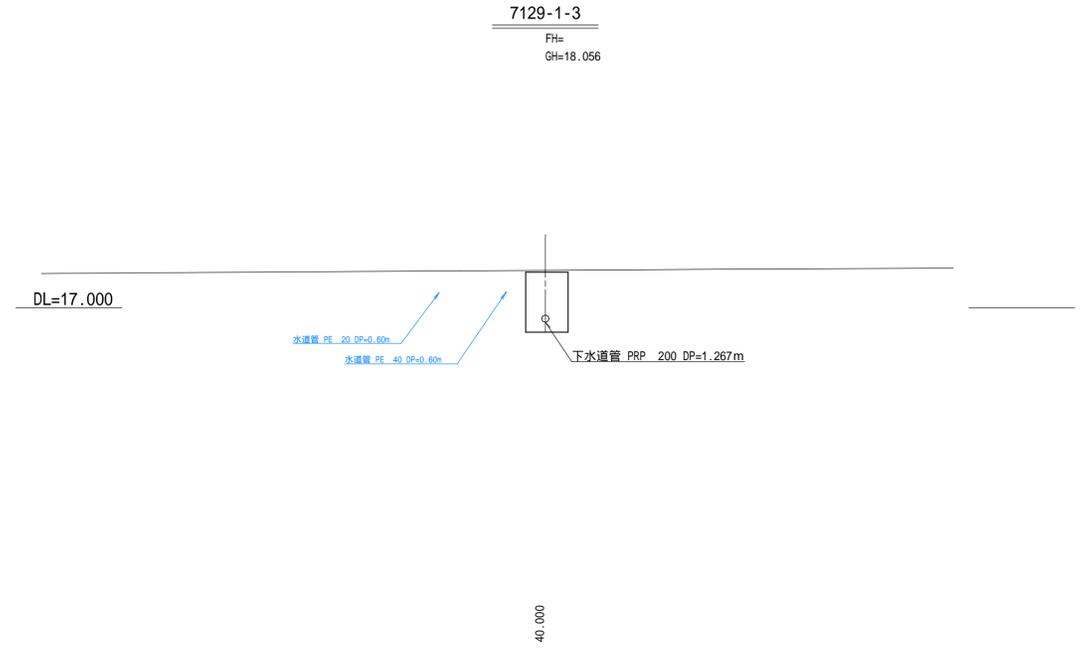
7129-1号路線

令和7年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水道築造第3工区(小川町工区)工事			
横断図(1/2)			
縮尺	S=1:100	図面全	8 葉の3
測量	株式会社 日建	年月日	主任 技術者
設計	株式会社 日建	年月日	管理 技術者
南 相 馬 市			

横断図  
S=1:100  
(7129-2号路線)



横断図  
S=1:100  
(7129-3号路線)



7129-2号路線・7129-3号路線

令和7年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(小川町工区)工事			
横断図 (2/2)			
縮尺	S=1:100	図面全	8 葉の 4
測量	株式会社 日建	℞年 月 日	主任 技師
設計	株式会社 日建	℞年 月 日	管理 技師
南 相 馬 市			

# 標準土工図

S = 1 : 20

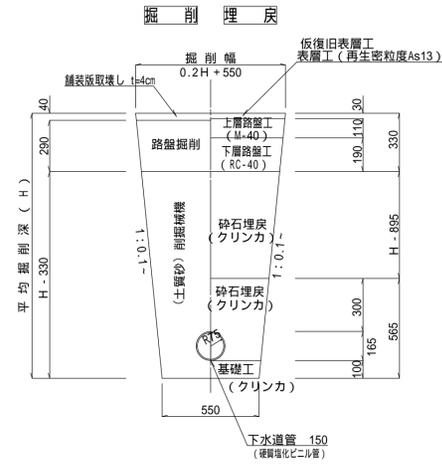
## ( 本 管 )

市道 小川町 6 号線・位置指定道路



## ( 取 付 管 )

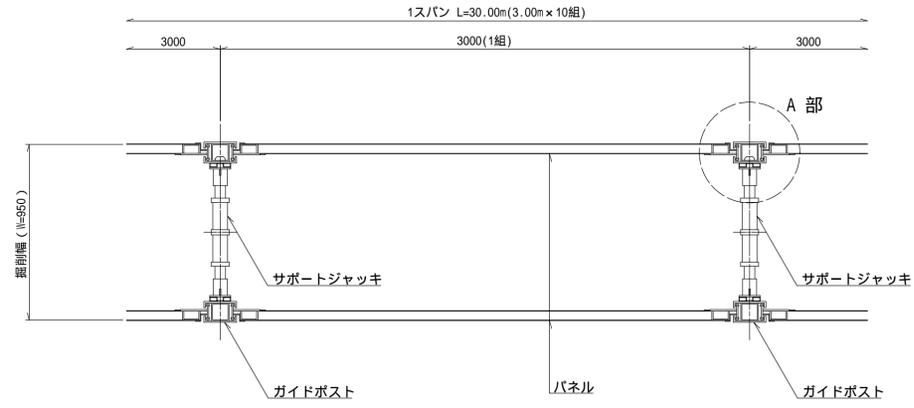
市道 小川町 6 号線・位置指定道路



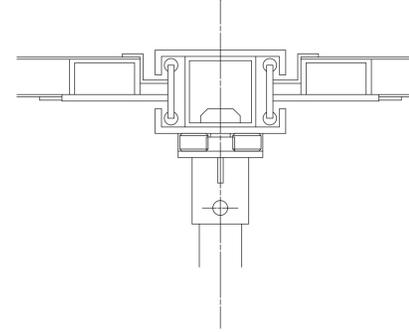
令和 7 年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水道渠築造第3工区 (小川町工区) 工事			
標準土工図			
縮尺	S=1:20	図面全	8 葉の 5
測量		年 月 日	主 任 技 術 者
設計	株式会社 日建	年 月 日	管 理 技 術 者
南 相 馬 市			

# 建込簡易土留工

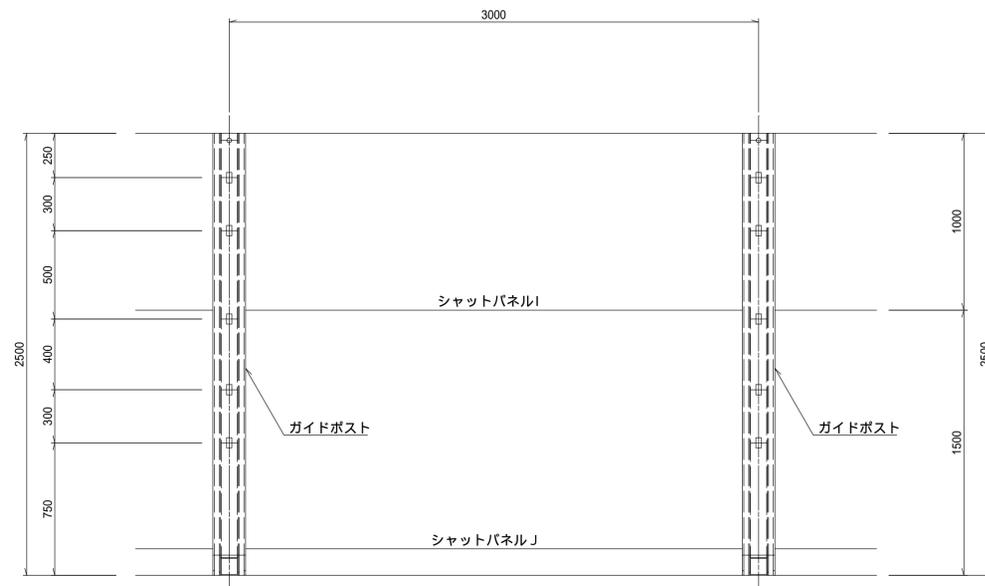
平面図 S = 1 : 20



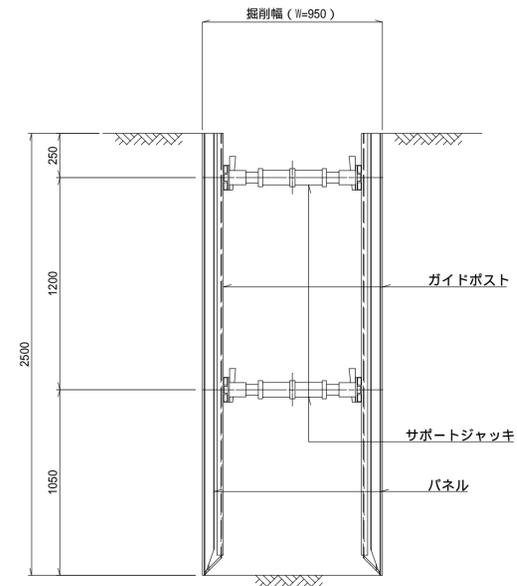
A部詳細図 S = 1 : 5



側面図 S = 1 : 20



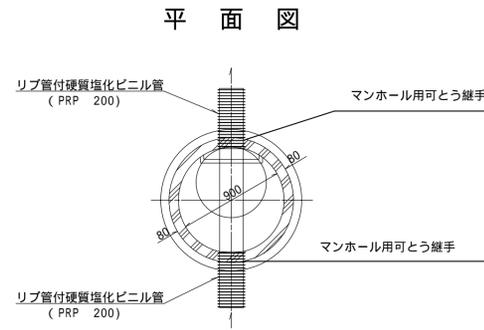
断面図 S = 1 : 20



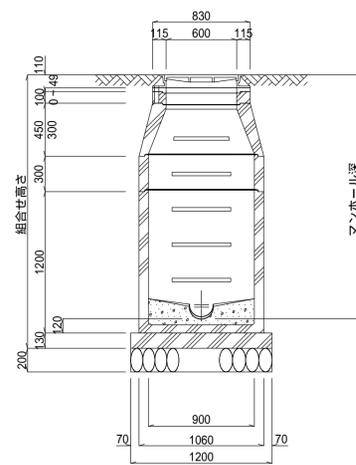
令和7年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(小川町工区)工事			
建込簡易土留工図			
縮尺	図示	図面全	8 葉の6
測量		年月日	主任 技術者
設計	株式会社 日建	16年1月 日	管理 技術者
南 相 馬 市			

### 組立式1号マンホール標準図

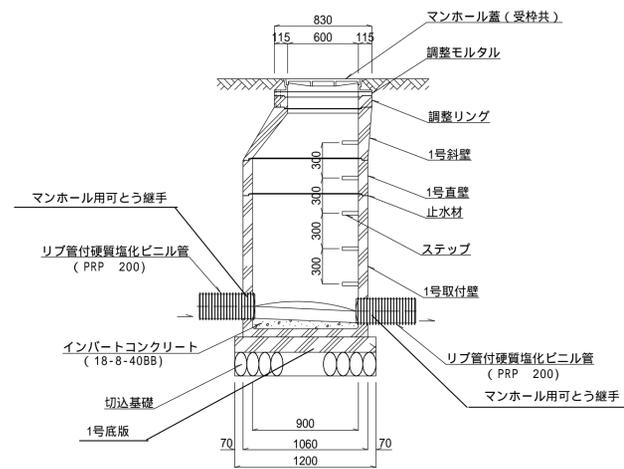
S = 1 : 30



縦断面図

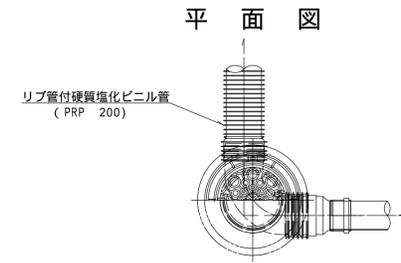


横断面図

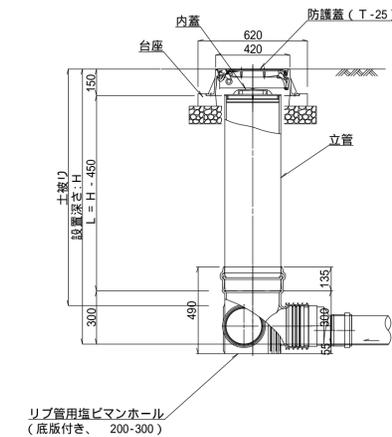


### 塩ビ製小口径マンホール標準図

S = 1 : 20



横断面図

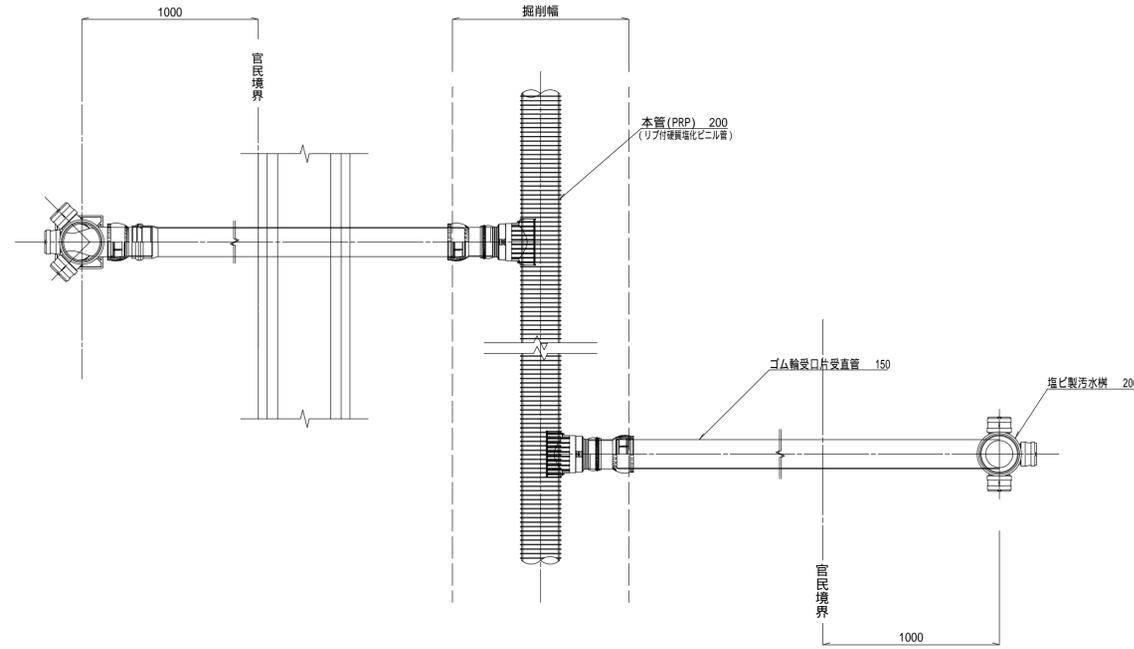


令和7年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(小川町工区)工事			
1号・小型マンホール標準図			
縮尺	S=1:20	図面全	8 葉の 7
測量		年月日	主任 技術者
設計	株式会社 日建	年月日	管理 技術者
南 相 馬 市			

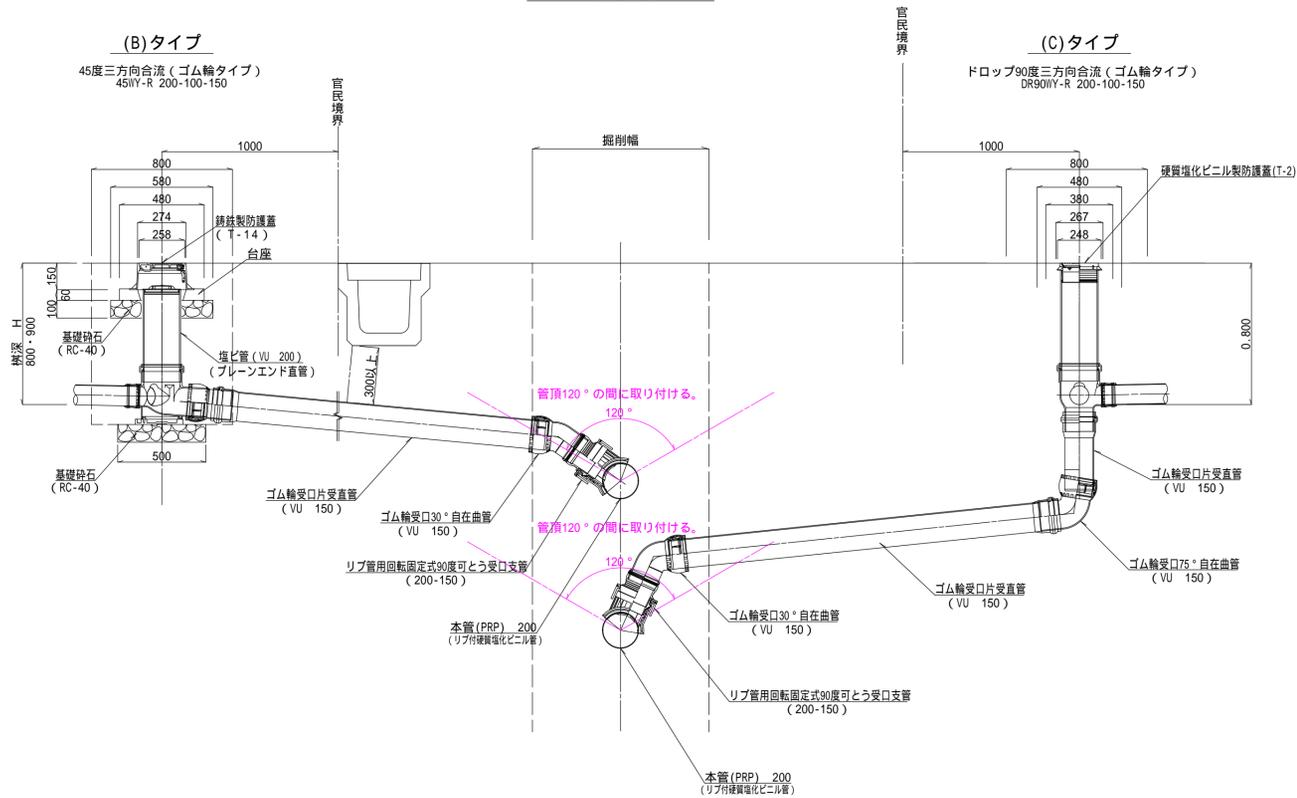
# 取付管標準図

S=1:20

平面図



断面図

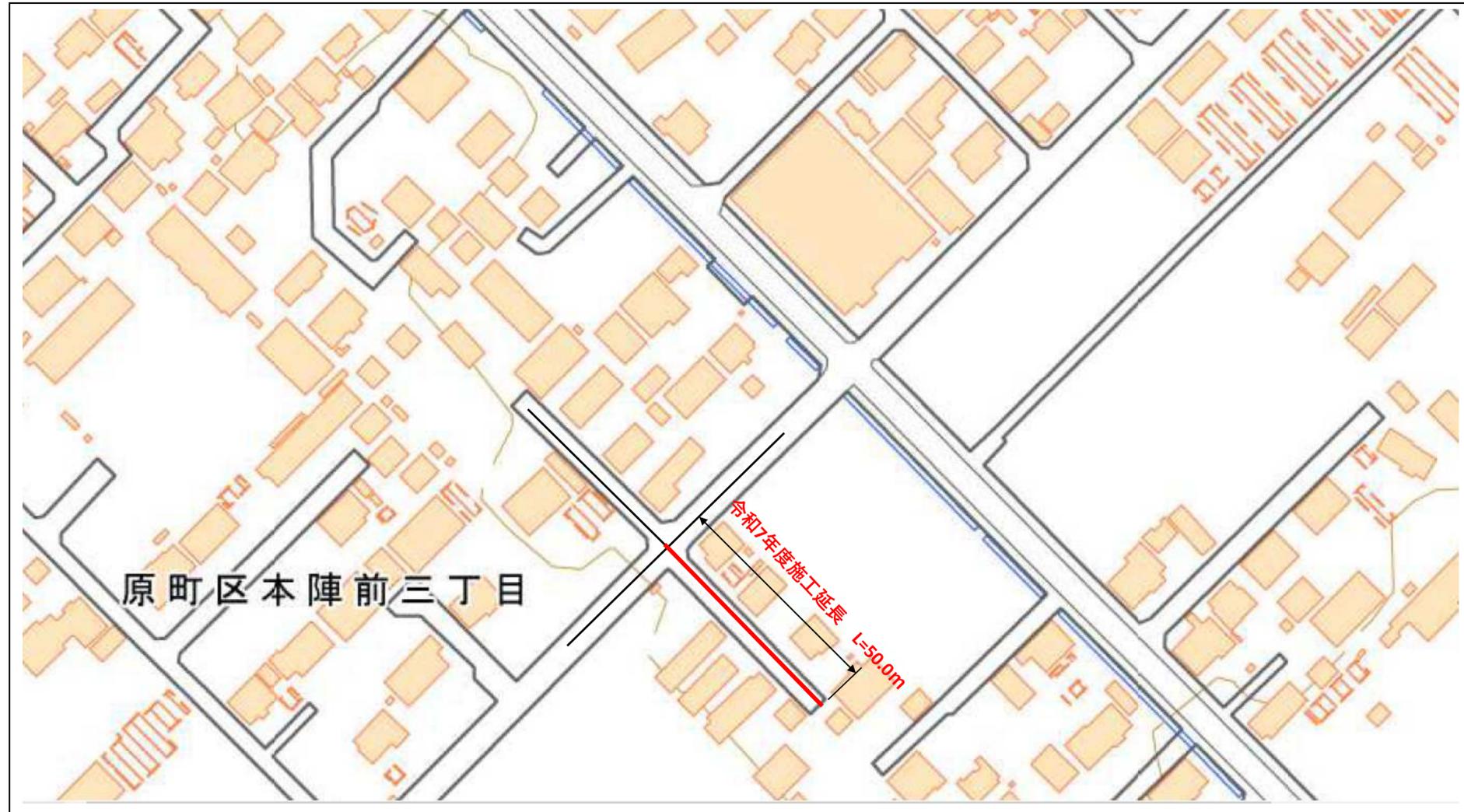


凡 例

記号	汚水樹種別
(A)	横型45°三方向合流樹+塩ビ製蓋
(B)	横型45°三方向合流樹+铸铁製防護蓋
(C)	縦型90°三方向合流ドロップ樹+塩ビ製蓋
(D)	縦型90°三方向合流ドロップ樹+铸铁製防護蓋

令和7年度			
市道 小川町6号線 南相馬市原町区小川町 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(小川町工区)工事			
取付管標準図			
縮尺	S=1:20	図面全	8 葉の 8
測量		年月日	主任 技術者
設計	株式会社 日建	年月日	管理 技術者
南 相 馬 市			

位 置 図

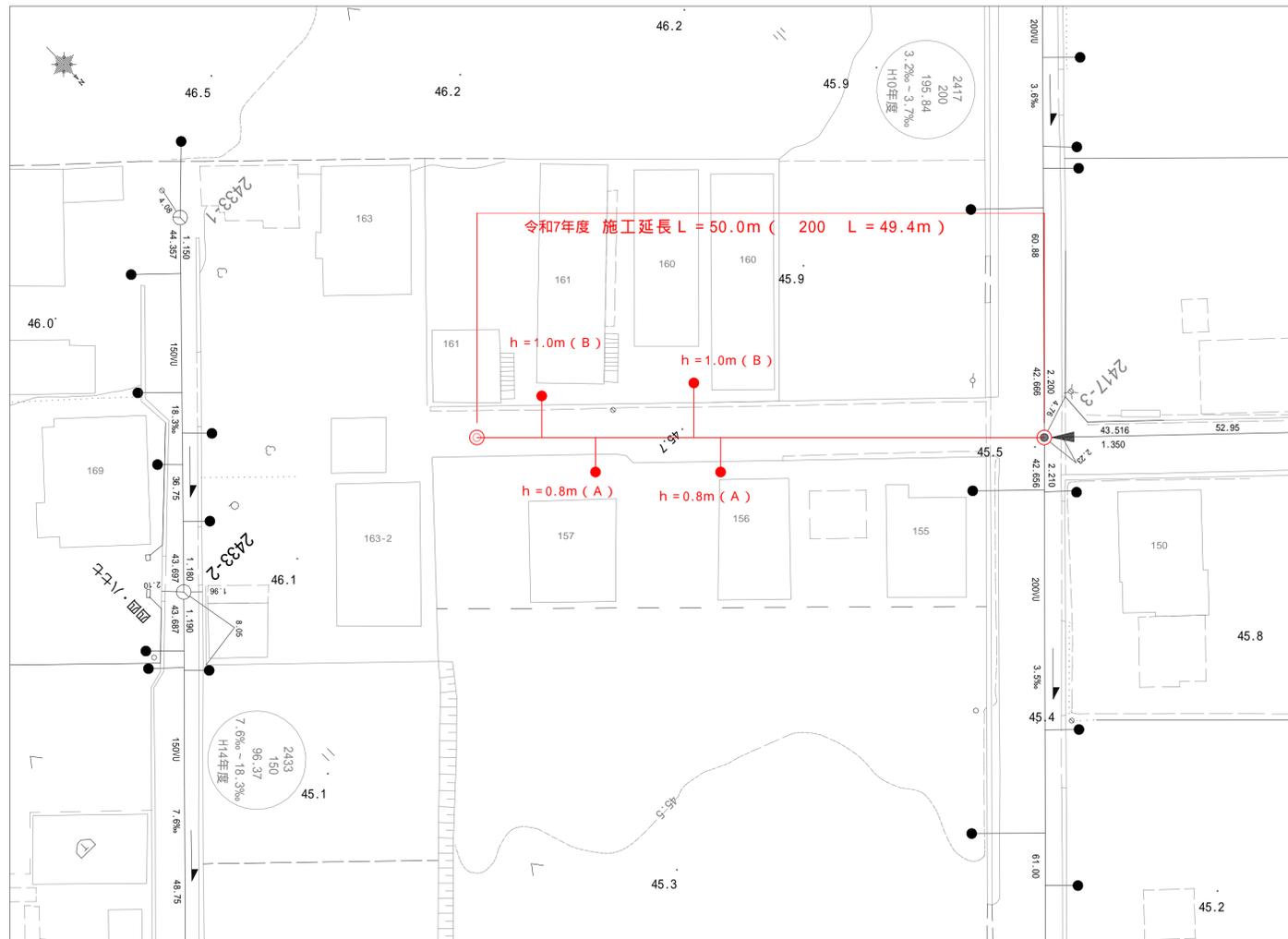


本 陣 前 工 区

令 和 7 年 度			
南相馬市原町区本陣前3丁目 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
位 置 図			
縮 尺		図面番号	1/13
測 量		主 任 技 術 者	
設 計		管 理 技 術 者	
南 相 馬 市			

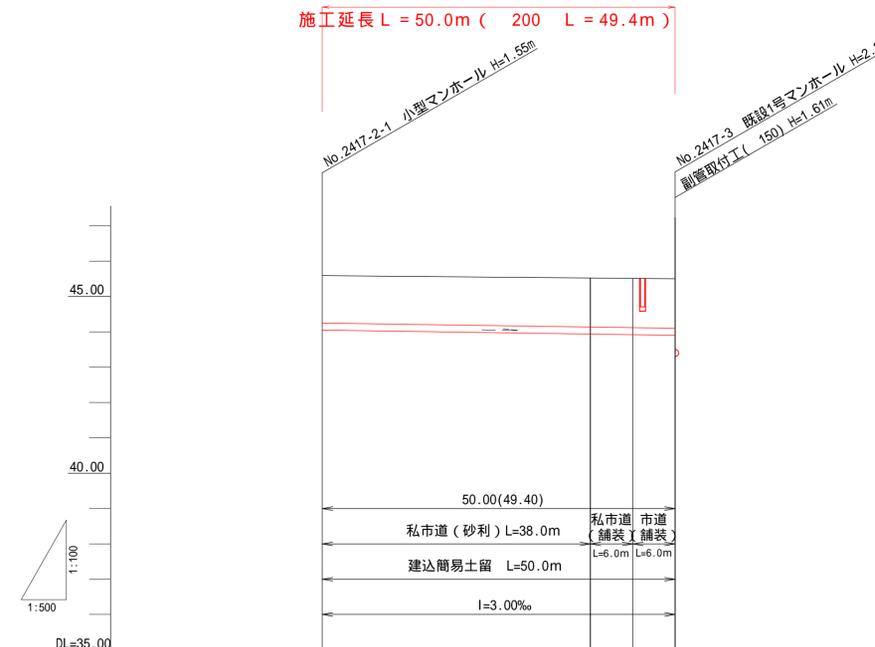
平面図

S=1:250



縦断面図

V=1:100  
H=1:500



地盤高	45.59	45.52	45.51	45.50
掘削深	1.66	1.71	1.71	1.72
土留り	1.34	1.39	1.39	1.40
管底高	44.042	43.922	43.912	43.892
追加距離	0.00	38.00	44.00	50.00
単距離	0.00	38.00	6.00	6.00
測点	No.0	+38.00	+44.00	No.1

凡例

記号	名称
⊙150 I=2.8‰ L=20.00m	管径 延長
⊙	1号マンホール(内径90cm)
⊗	0号マンホール(内径75cm)
⊙	小口径埋込管(内径30cm)
—	汚水桝・取付管

令和7年度

南相馬市原町区本陣前三丁目地内外

原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事

平面・縦断

縮尺	図示	図面番号	2 / 13
測量		年月日	主任 技術者
設計		年月日	管理 技術者

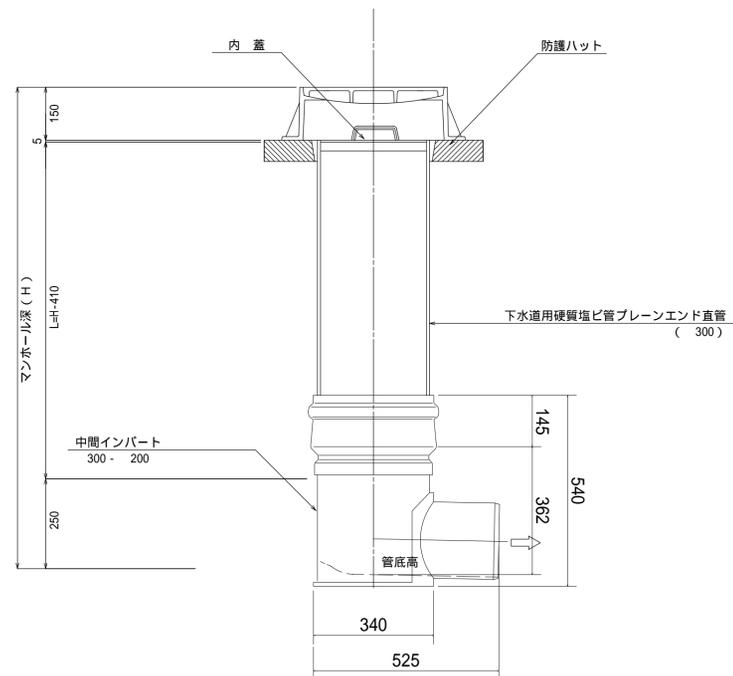
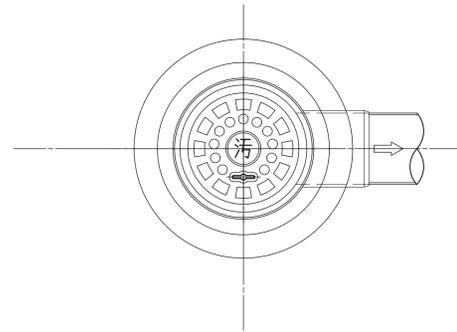
南相馬市

# 小型マンホール構造図

S=1:10

( 300・塩ビ製 )

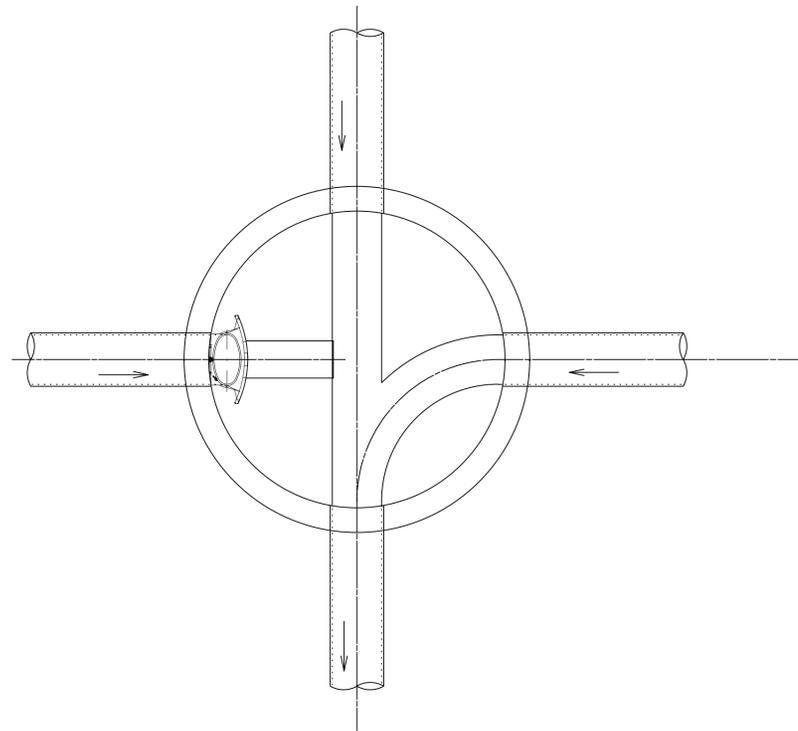
## 中間点部



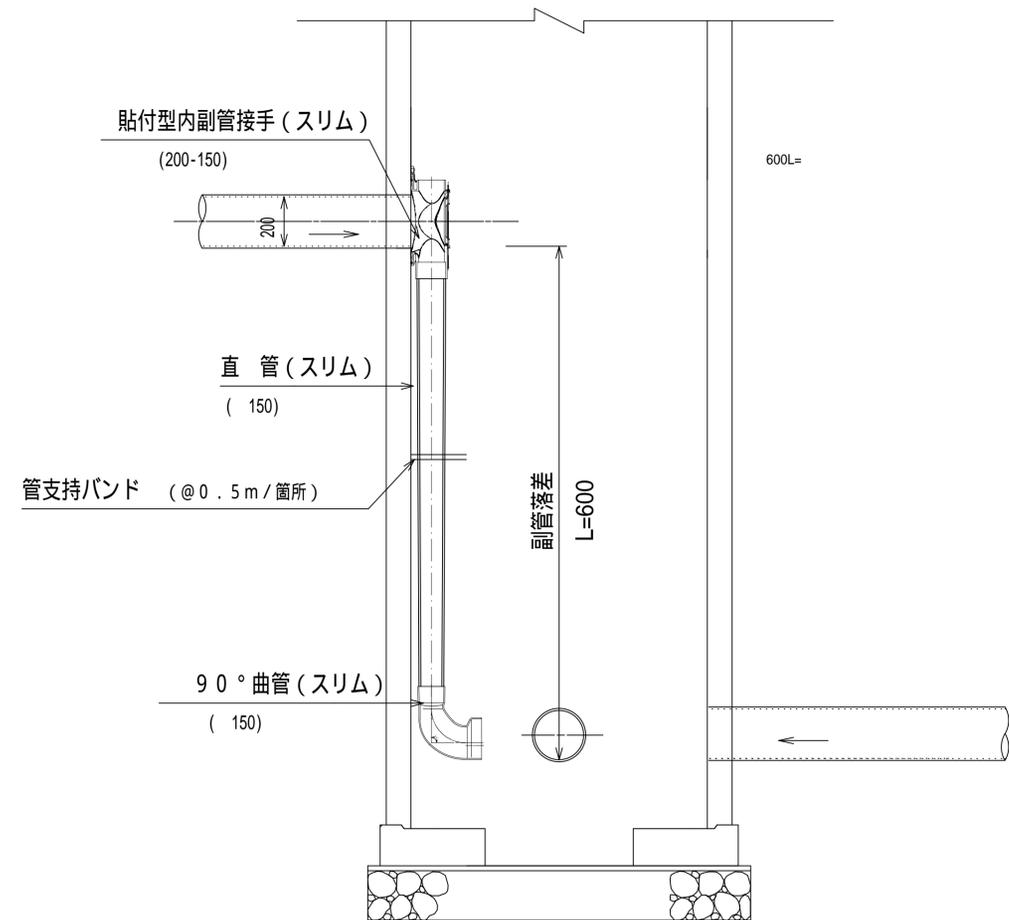
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
小型マンホール標準図			
縮尺	図示	図面番号	3 / 13
測量		年月日	主任 技術者
設計		年月日	管理 技術者
南相馬市			

内副管標準構造図 (200-200)

平面図



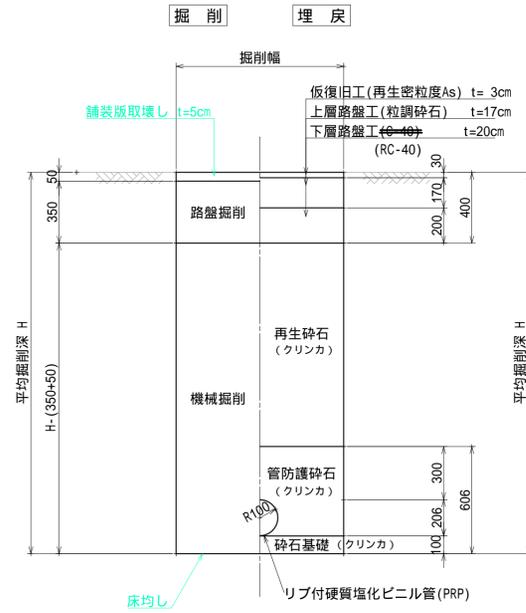
断面図



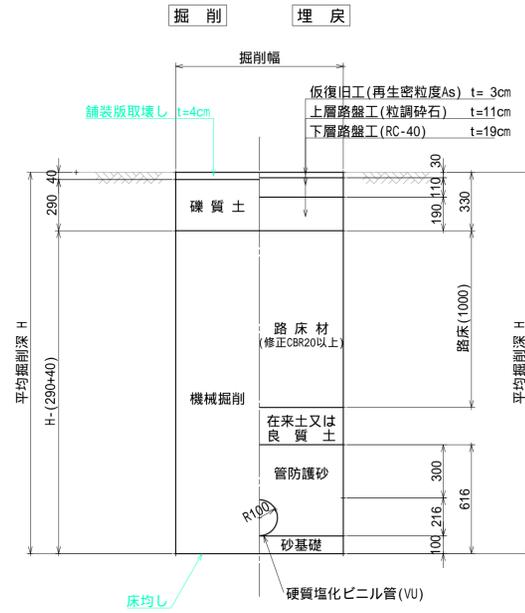
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
内副管標準構造図			
縮尺	図示	図面番号	4 / 13
測量		年月日 主任 技術者	
設計		年月日 管理 技術者	
南相馬市			

## 車道アスファルト舗装部

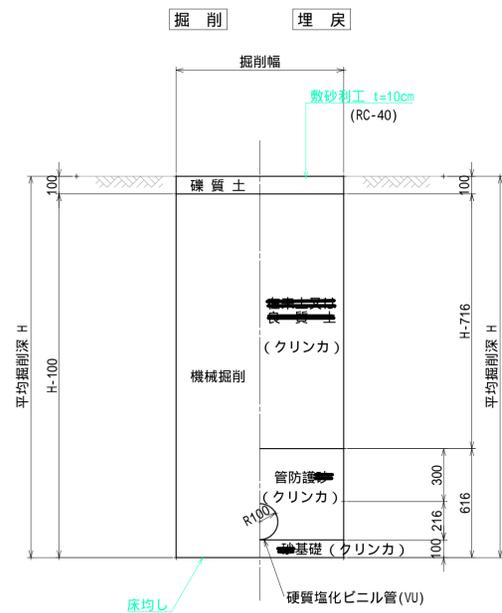
(市道部)



(その他道路部)



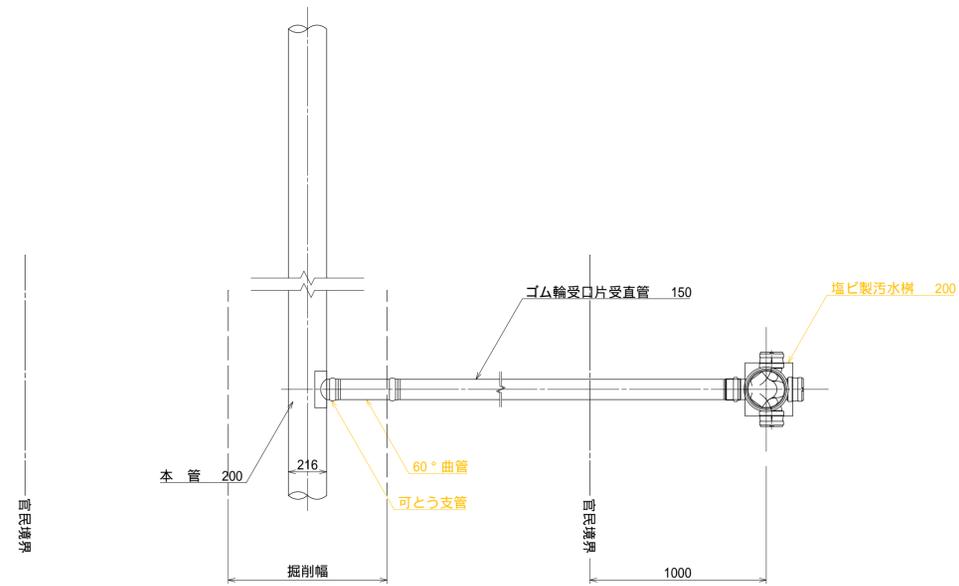
## 砂利道部



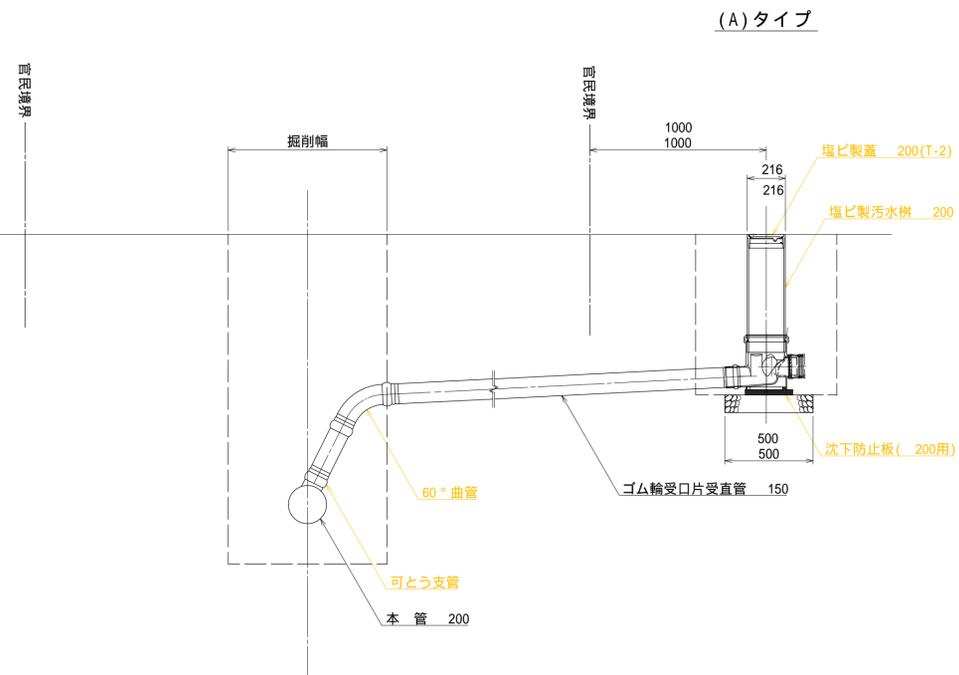
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
本管土工図			
縮尺	図示	図面番号	5 / 13
測量		年月日 主任 技術者	
設計		年月日 管理 技術者	
南相馬市			

# 取付管標準図 S=1:20

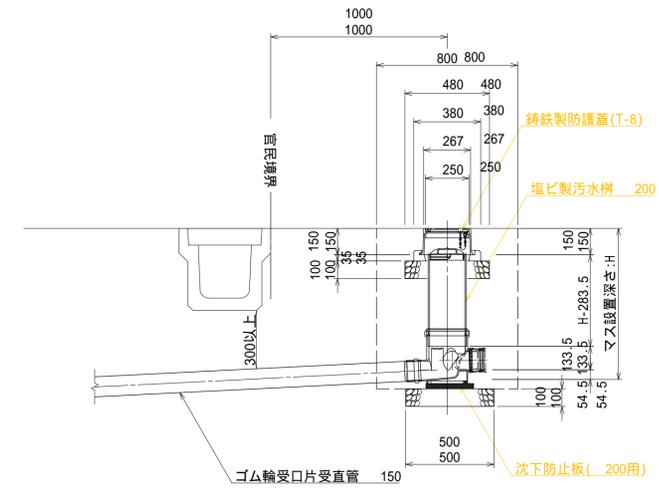
平面図



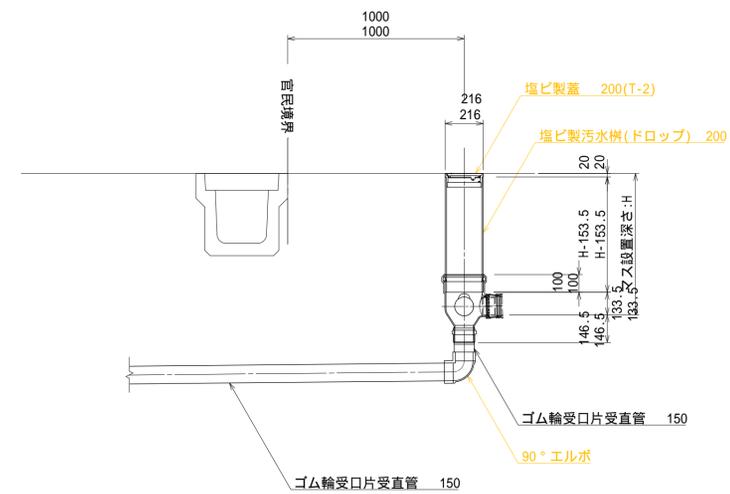
断面図



(B)タイプ



(C)タイプ



凡例

記号	汚水樹種別
(A)	横型90°三方向合流樹 + 塩ビ製蓋
(B)	横型90°三方向合流樹 + 铸铁製防護蓋
(C)	縦型90°三方向合流ドロップ樹 + 塩ビ製蓋
(D)	縦型90°三方向合流ドロップ樹 + 铸铁製防護蓋

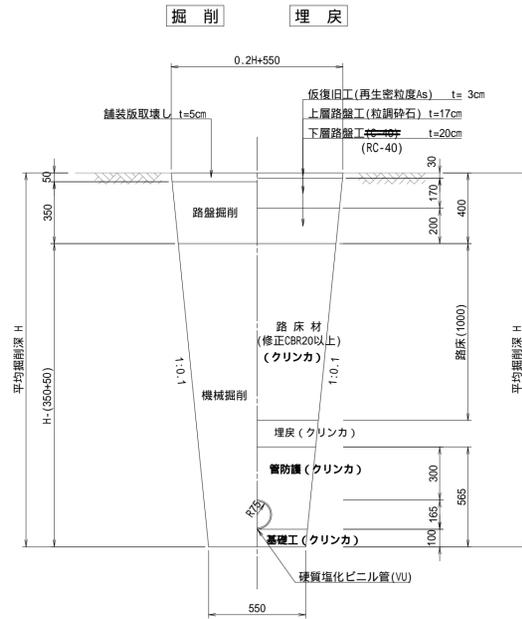
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
取付管標準図			
縮尺	図示	図面番号	6 / 13
測量		年月日	主任技術者
設計		年月日	管理技術者
南相馬市			

# 取付管土工図

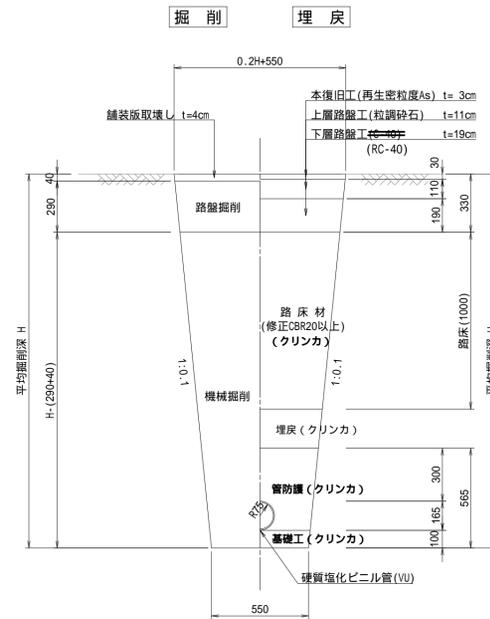
S=1:20

## アスファルト舗装部

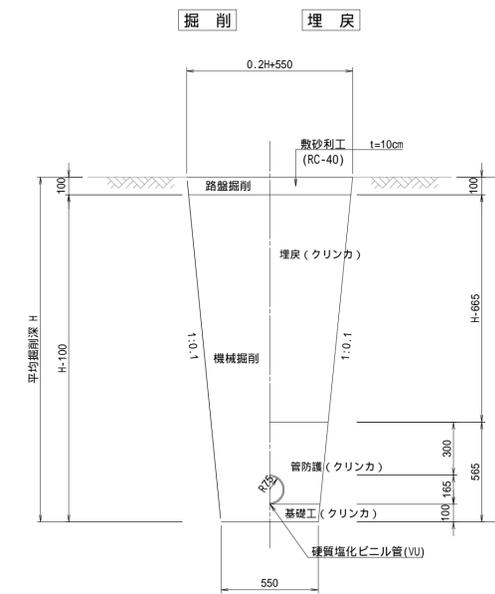
(市道部)



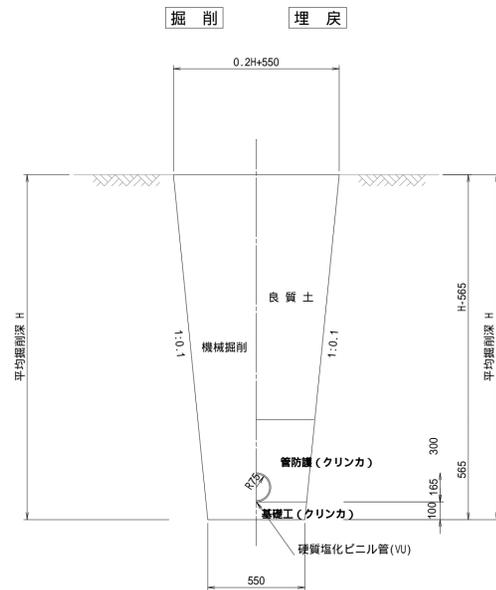
(その他道路部)



## 砂利道部



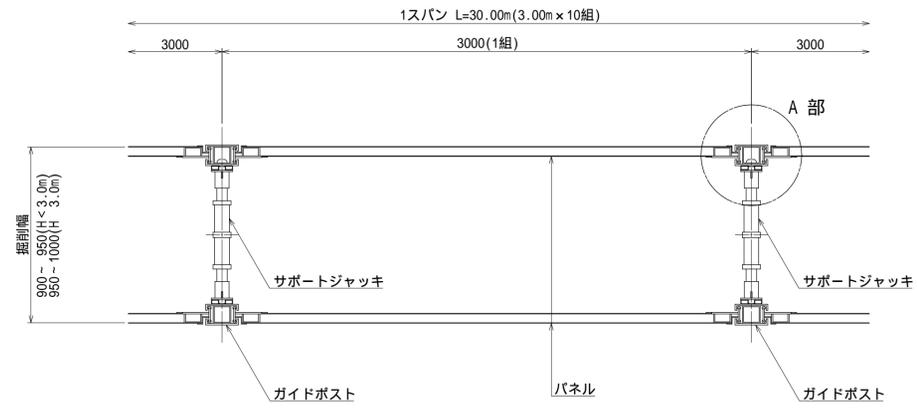
## 道路部以外



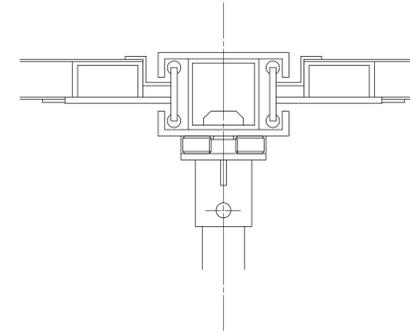
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区(本陣前工区)工事			
取付管土工図			
縮尺	図示	図面番号	7 / 13
測量		年月日	主任 技術者
設計		年月日	管理 技術者
南相馬市			

# 建込簡易土留工図 S=1:20

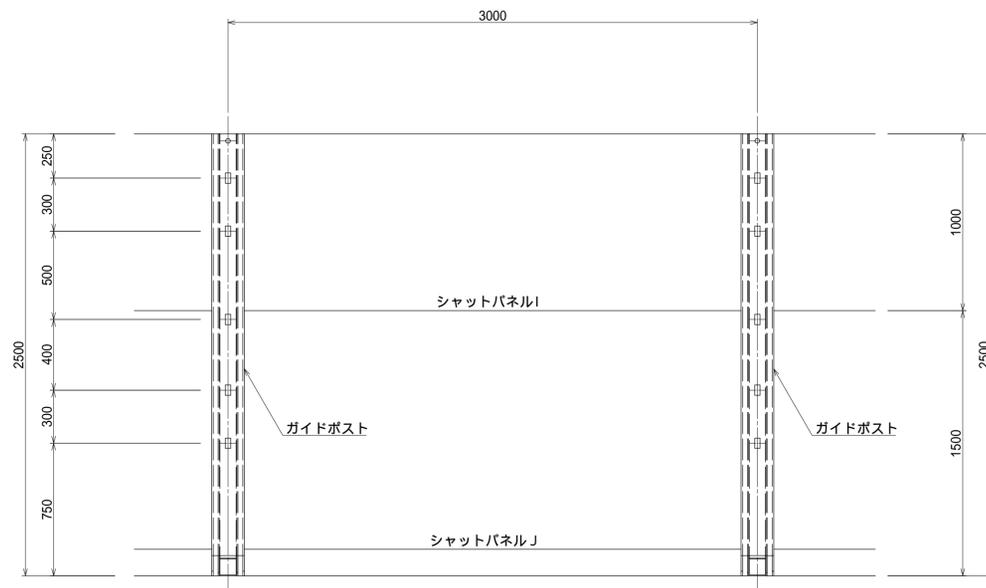
平面図



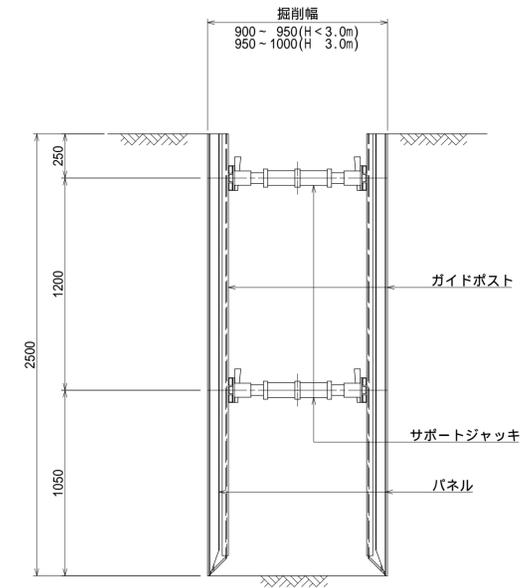
A部詳細図



側面図



断面図



令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3区工事(本陣前・大木戸)			
建込簡易土留工図			
縮尺	図示	図面番号	8/13
測量		年月日	主任 技術者
設計		年月日	管理 技術者
南相馬市			

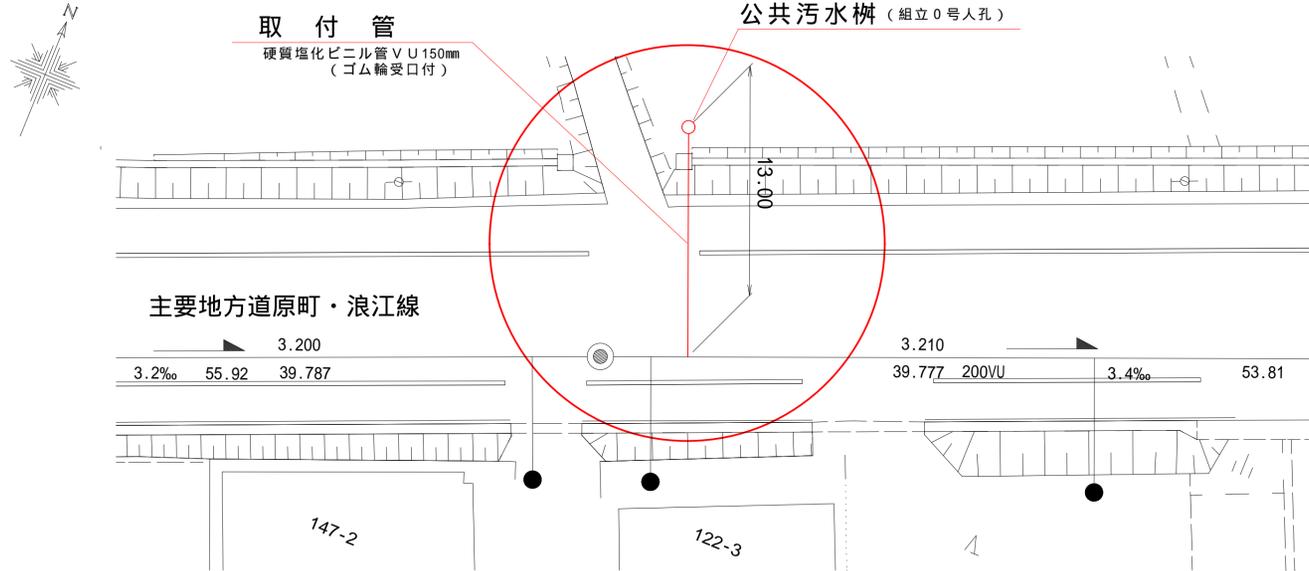
# 位 置 図



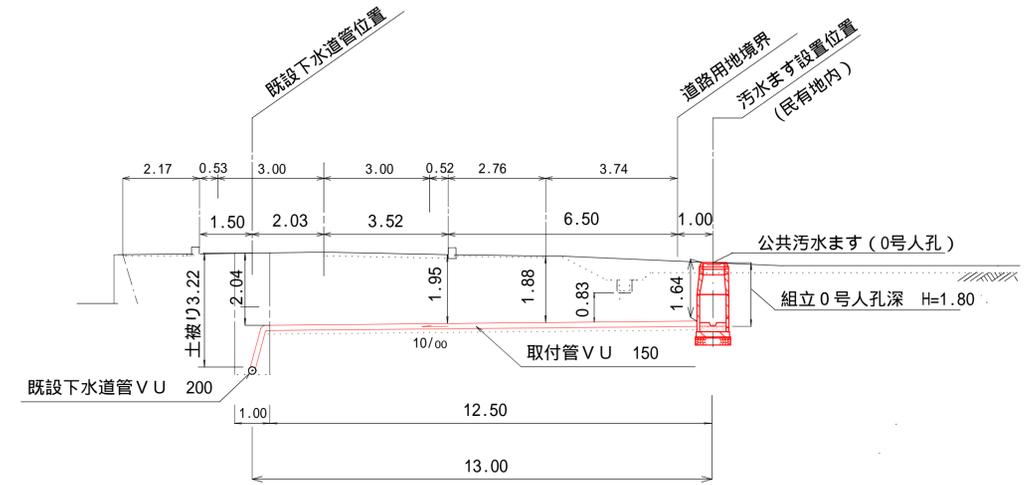
大 木 戸 工 区

令和7年度			
南相馬市原町区大木戸 地内			
原町区下水管渠築造第3工区(大木戸工区)工事			
位 置 図			
縮尺		図面番号	9/13
測量		主任 技術者	
設計		管 理 技術者	
南 相 馬 市			

# 平面図 S=1:250



# 横断図 S=1:100

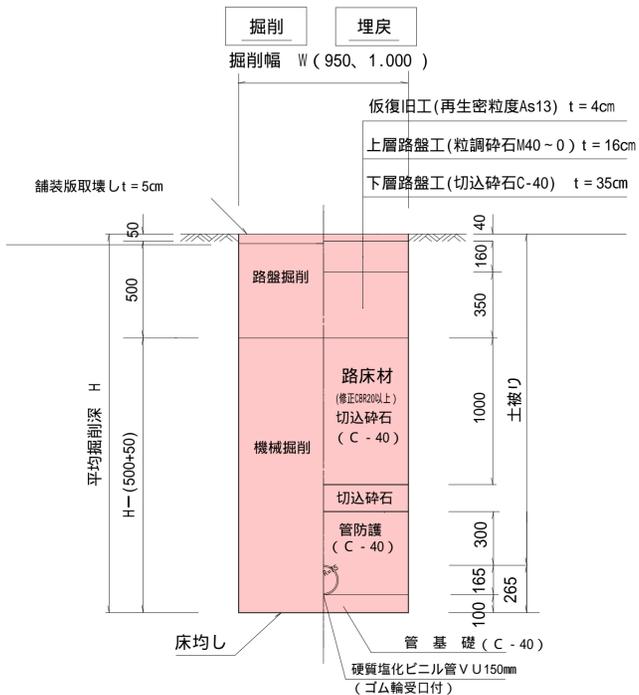


平均掘削深

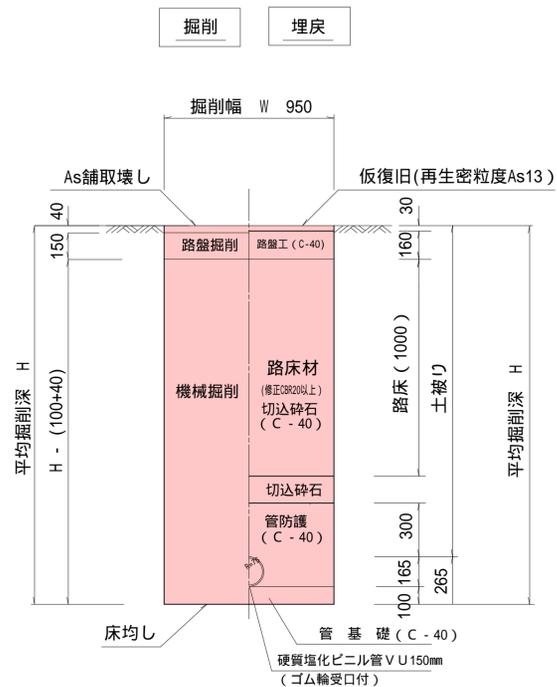
歩車道別	算式	平均掘削深 H
車道(A)	$1/2(1.95+2.04)+0.265$	2.26
車道(B)	$3.22+0.108$	3.33
歩道	$1/2(1.88+1.95)+0.265$	2.18
舗装部以外	$1/2(1.64+1.88)+0.265$	2.03

# 県道取付管 土工標準図 S=1:20

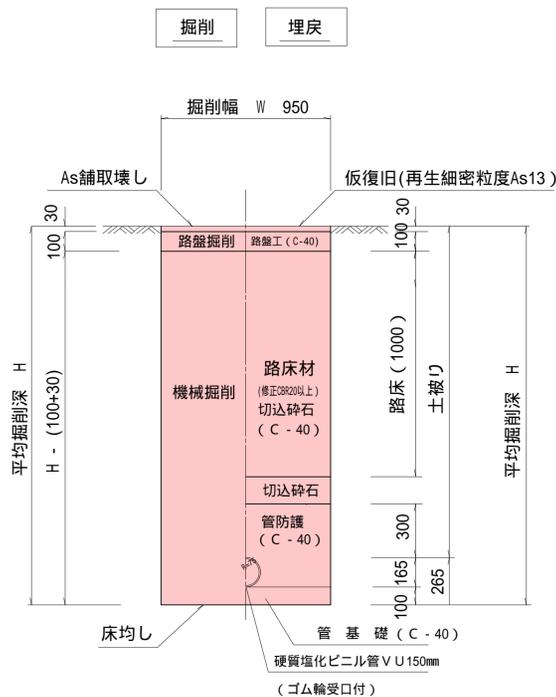
## 車道部



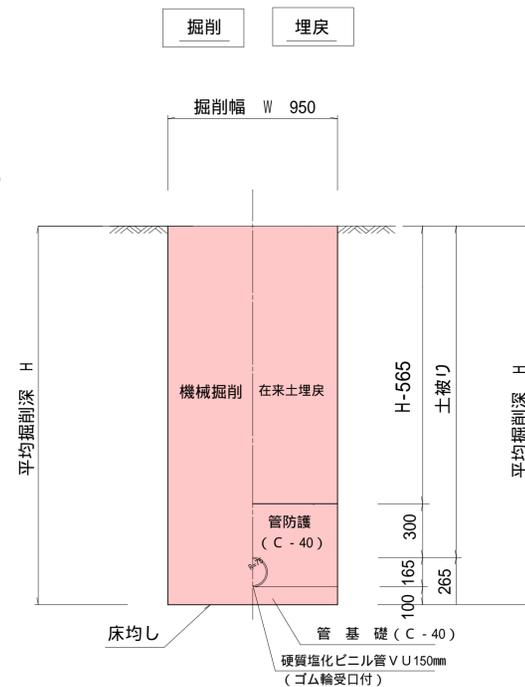
## 歩道部(乗入部)



## 歩道部



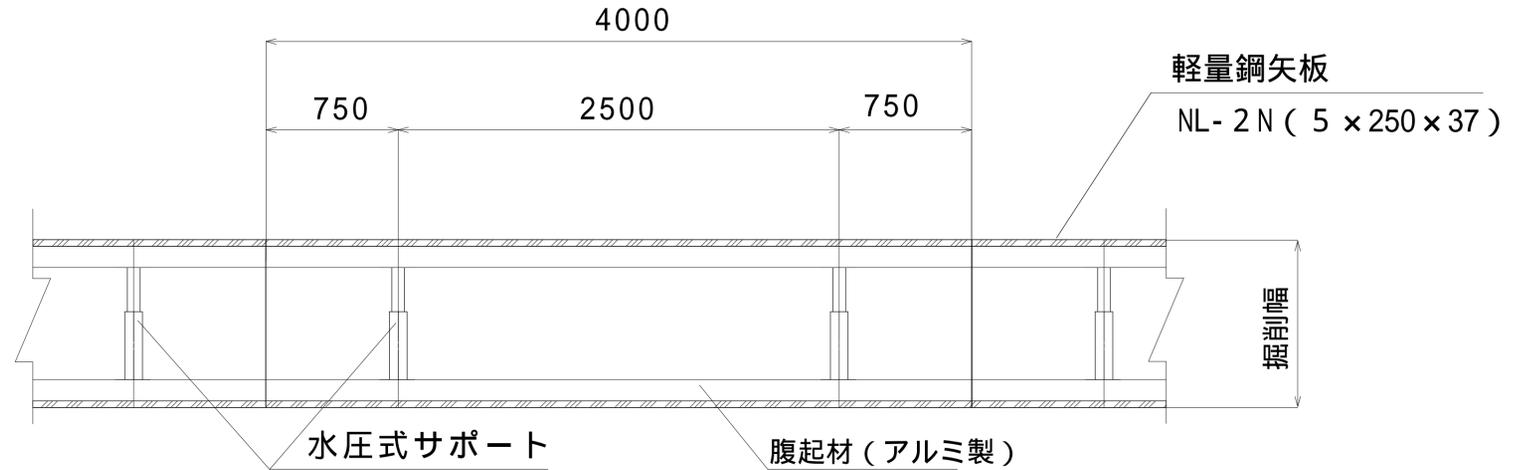
## 舗装部以外



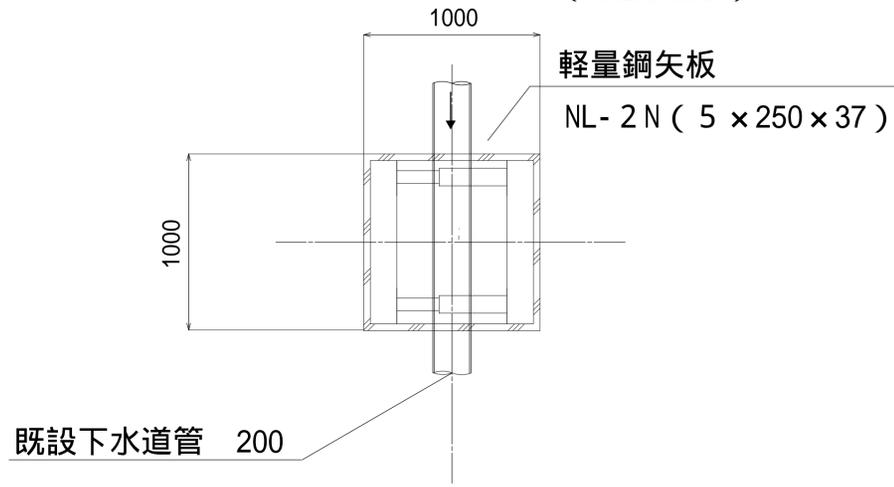
令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水道築造第3工区工事			
平面図・横断図・標準土工図(大木戸地区)			
縮尺	図示	図面番号	10/13
測量	年月日	主任技術者	
設計	年月日	管理技術者	
南相馬市			

# 仮設工

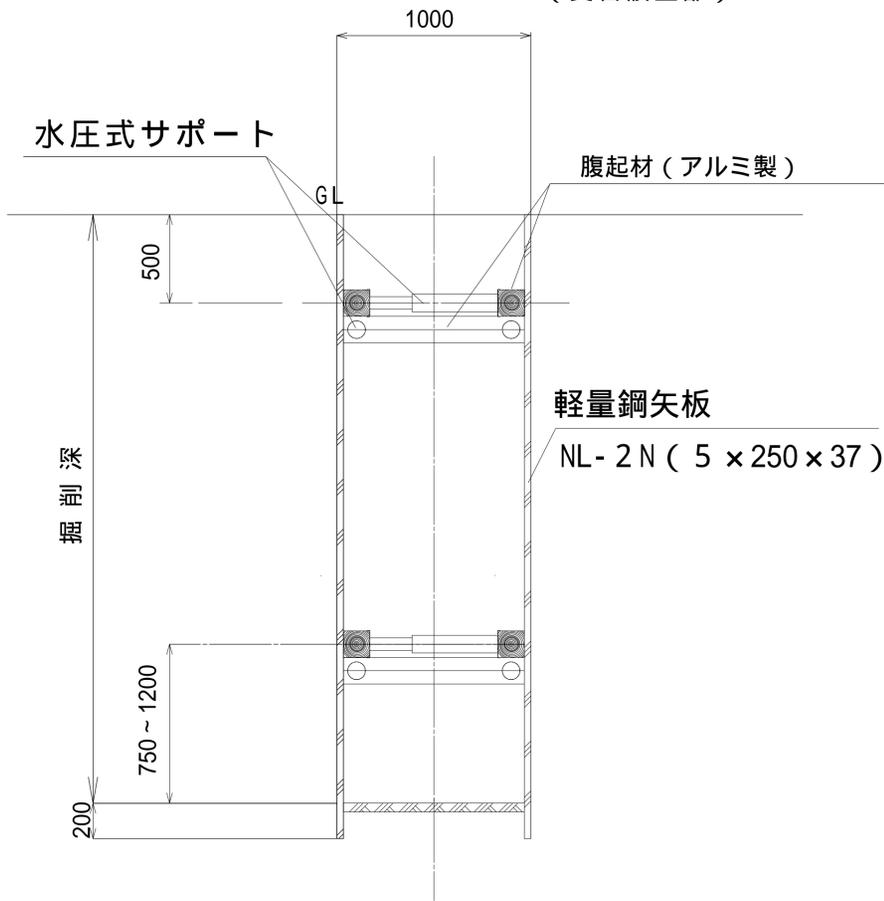
軽量鋼矢板土留工 (参考図)



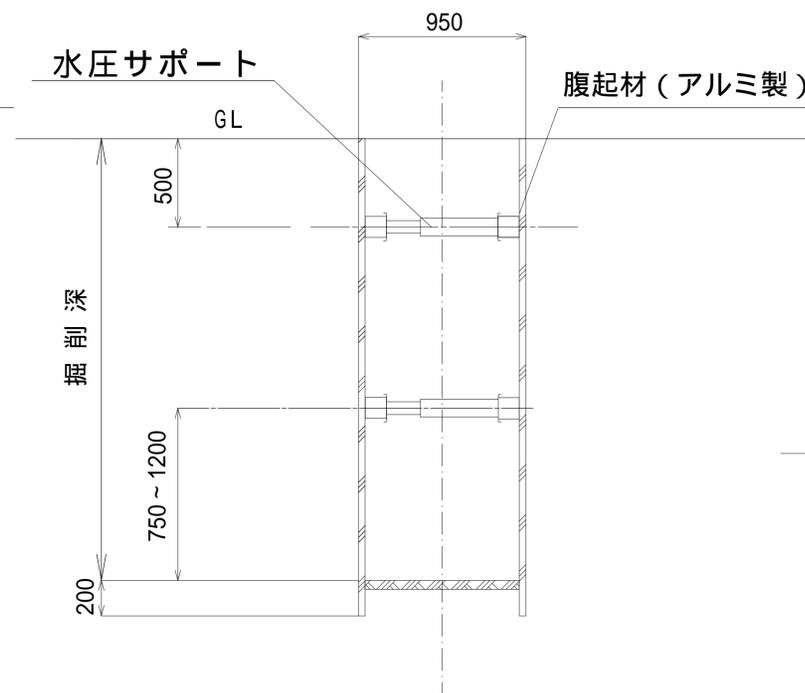
本管部 土留工 S=1:20  
(支管設置部)



本管部 断面図 S=1:20  
(支管設置部)



取付管 土留工断面図 S=1:20

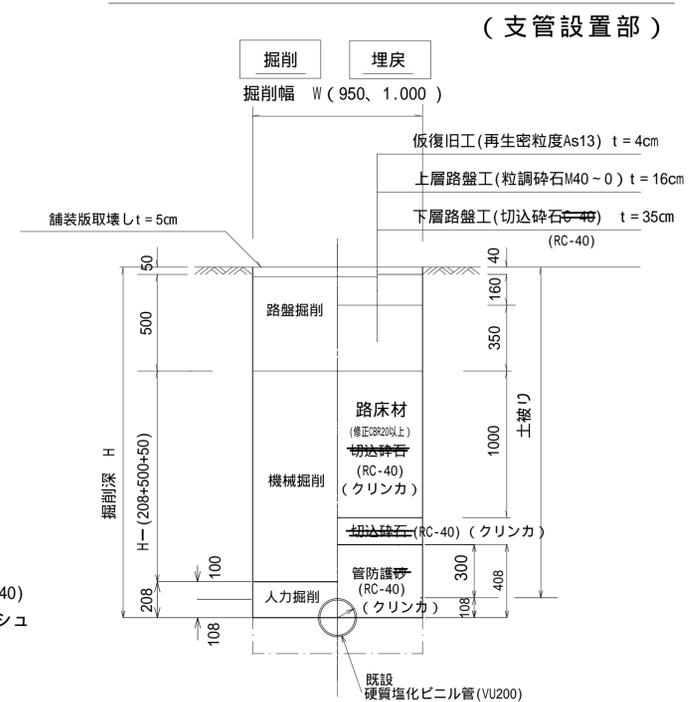


埋戻材料 本管部：再生砕石 (RC-40)  
取付管部：クリンカアッシュ

土留工使用区分

掘削深 H (m)	矢板長 L (m)	支保材		
		段	腹起し材	切梁材
1.5 < H 1.8	2.0	1	アルミ製 厚11cm ~ 12cm 断面係数 120m <sup>3</sup> 以上	水圧式サポート  許容軸力 75 kN以上
1.8 < H 2.0	2.5	1		
2.0 < H 2.3	2.5	2		
2.3 < H 2.8	3.0	2		
2.8 < H 3.3	3.5	2		
3.3 < H 3.5	4.0	2		
3.5 < H 3.8	4.0	3		

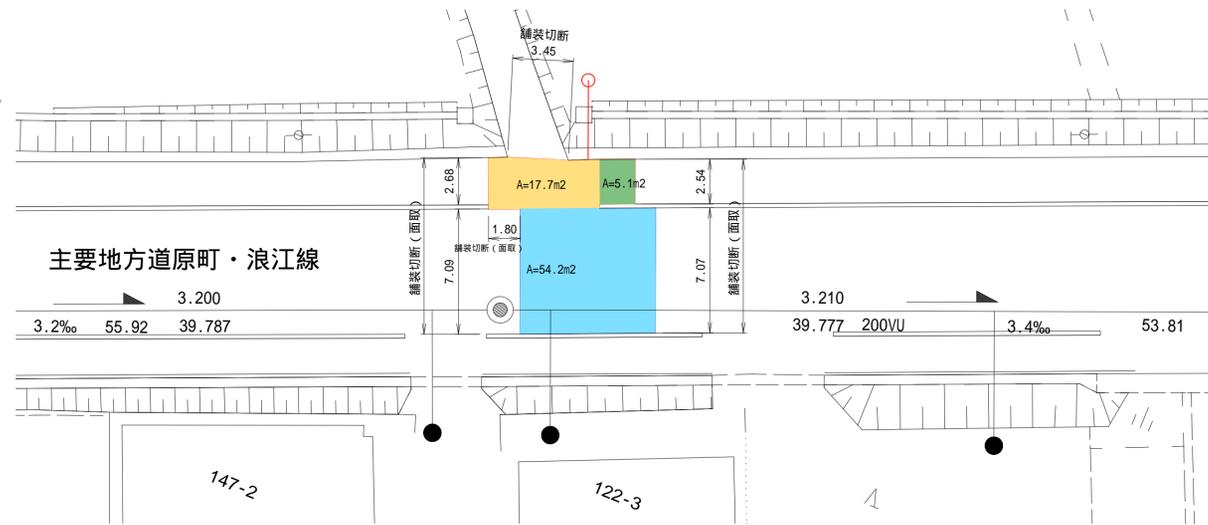
県道車道土工図 S=1:20



令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水道渠築造第3工区工事			
仮設工図 (大木戸地区)			
縮尺	図示	図面番号	11 / 13
測量	年月日	主任技術者	
設計	年月日	管理技術者	
南相馬市			

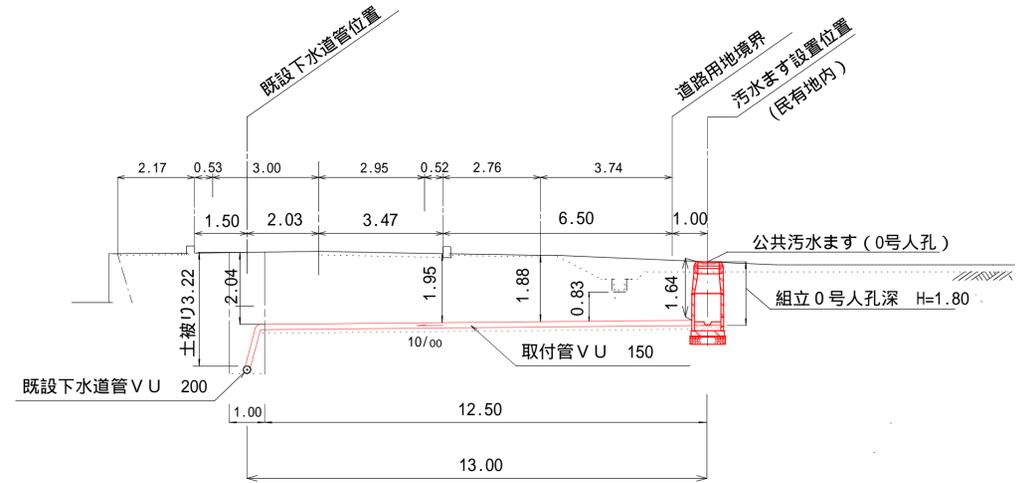
# 舗装本復旧平面図

S=1:200



# 横断図

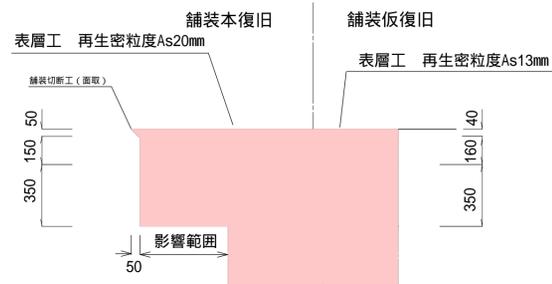
S=1:100



# 舗装本復旧断面図

S=1:20

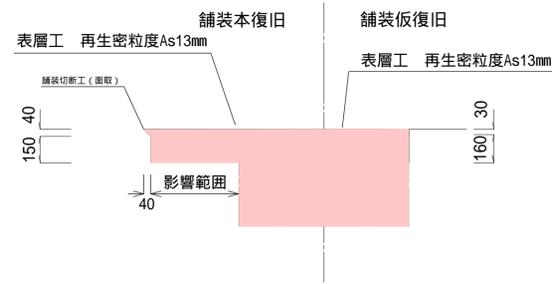
## 車道部



## 車道

舗装面積  
54.2m<sup>2</sup>

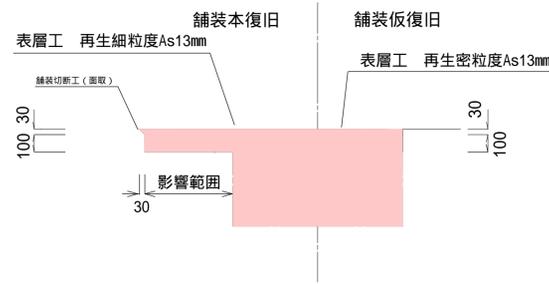
## 歩道部(乗入部)



## 歩道部 (乗入部)

舗装面積  
17.7m<sup>2</sup>

## 歩道部

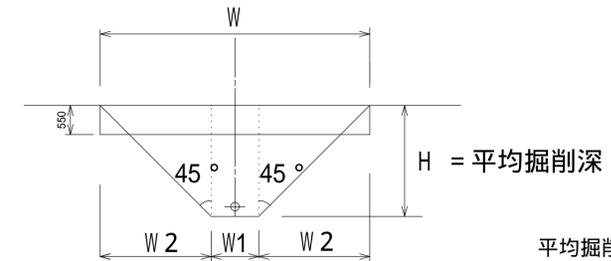


## 歩道部

舗装面積  
5.1m<sup>2</sup>

## 車道掘削影響幅

$$W=W1+W2 \times 2$$



$$W(A) = 0.95 + 2.26 \times 2 = 5.47m$$

$$W(B) = 1.00 + 3.33 \times 2 = 7.66m$$

$$W2(A) = 2.26$$

$$W2(B) = 3.33$$

## 平均掘削深

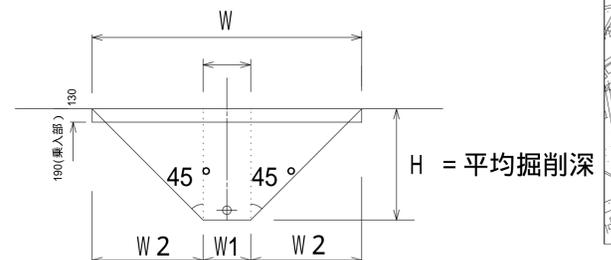
歩車道別	算式	平均掘削深 H
車道(A)	$1/2(1.95+2.04)+0.265$	2.26
車道(B)	$3.22+0.108$	3.33
歩道	$1/2(1.88+1.95)+0.265$	2.18
舗装部以外	$1/2(1.64+1.88)+0.265$	2.03

## 位置図



## 歩道掘削影響幅

$$W=W1+W2 \times 2$$



$$W = 0.95 + 2.18 \times 2 = 5.31m$$

$$W2=2.18$$

## 区画線

白線(中央線) 幅15cm 5.00m  
白線(外側線) 幅15cm 7.66X2=15.32m

計 20.32m

令和7年度

南相馬市原町区本陣前三丁目地内外

原町区下水道築造第3工区工事

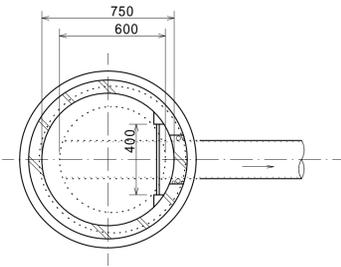
舗装本復旧図(大木戸地区)

縮尺	図示	図面番号	12 / 13
測量		年月日 主任技術者	
設計		年月日 管理技術者	

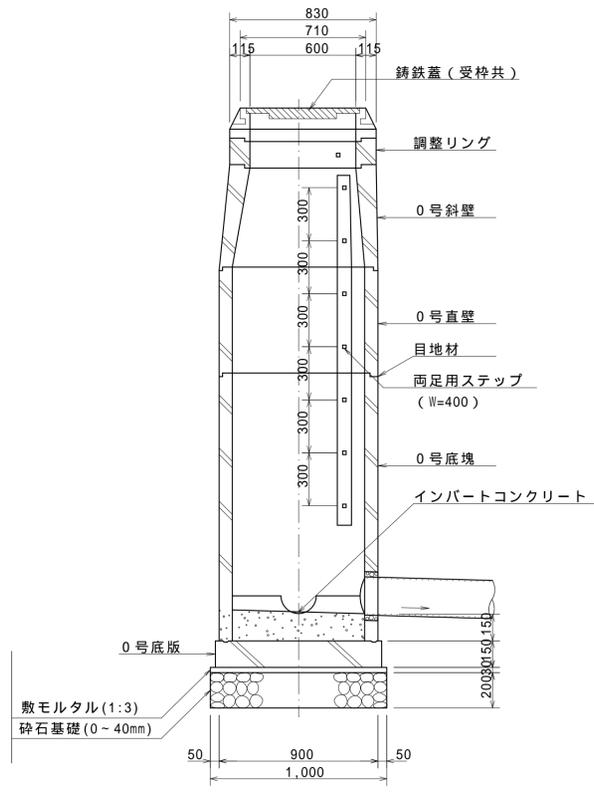
南相馬市

# 0号マンホール標準構造図 S = 1:20

平面図

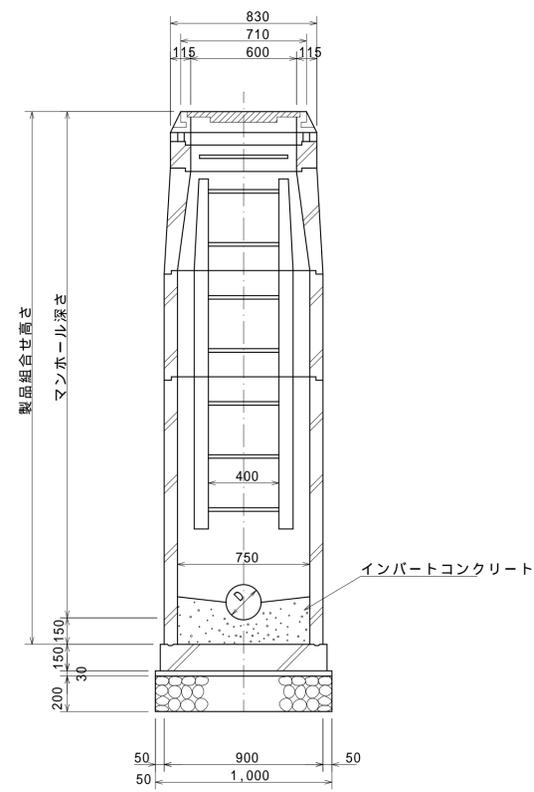


縦断面図



目地厚は10mmとする。

横断面図



令和7年度			
南相馬市原町区本陣前三丁目地内外			
原町区下水管渠築造第3工区工事			
0号マンホール標準構造図 (大木戸地区)			
縮尺	図示	図面番号	13 / 13
測量		年月日	主任技術者
設計		年月日	管理技術者
南相馬市			



採用単価表(物価資料比較表)

建設物価: 1,324  
積算資料: 1,534

6月号  
6月号

照査技術者確認  
管理技術者確認

番号	登録番号	名称・規格	単位	県単・特別調査・見積	建設物価	積算資料	採用値	採用種別	掲載頁	規格・詳細記載項目	摘要
1	F0001	内副管マンホール継手(スリム) 1号 200×150金具	個	70,540			70,540				見積り
2	F0002	内副管マンホール接手用立管(スリム) 150 L=1000	個	11,660			11,660				見積り
3	F0003	内副管マンホール接手用エルボ(スリム) 150	個	5,970			5,970				見積り
4	F0004	内副管固定バンド	個	12,620			12,620				見積り
5	F0005	鋳鉄製防護蓋(市章有り) T24 300	個	36,800			36,800				見積り
6	F0006	本管部建込簡易土留	式						建P. 819		
		賃料						積P. 297			
		整備費						建P. 819		別紙計算書参照	
7	F0007	軽量鋼矢板土留	式						建P. 810		
		賃料						積P. 297			
		整備費						建P. 819		別紙計算書参照	
8	F0008	取付管部建込簡易土留	式						建P. 819		
		賃料						積P. 286			
		整備費						建P. 819		別紙計算書参照	
9	F0009	取付管壁(底ナシ) 0号 H=1200	個							県農林土木事業原単価	
10	F0010	廃材処理費(汚泥)	t								県建設副産物処理料金
11	F0011	アスファルト廃材処理費	t								県建設副産物処理料金
12	F0012	本管テレビカメラ搭載車損料 (展開図化式、小中口径管)	時間								日本建設機械協会 (建設機械損料表)
11	F2103	特殊調整モルタル	箇所	15,500			15,500				見積り
13	F2211	鋳鉄製防護蓋(市章有り) T8 200	個	20,700			20,700				見積り